

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信	関連する資格		

授業概要

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下の二点を支軸にして講義を展開する。

- (1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。
- (2) ものごとを広く（多面的に）深く（根源的に）考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

ナンバリング(B1101)

- (1) 哲学の根本問題について考えてみる。
- (2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト（pp. 1-2）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
2) 人間と哲学(1)： 知・行・信 【予習】テキスト（p. 3）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
3) 人間と哲学(2)： 知・行・信と人間 【予習】テキスト（p. 4）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
4) 理性の運命(1)： 自覚 【予習】テキスト（pp. 5-6）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
5) 理性の運命(2)： 自覚と形而上学 【予習】テキスト（p. 7）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
6) 哲学の方法(1)： 超越論的論理学 【予習】テキスト（p. 8）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
7) 哲学の方法(2)： 超越論的演繹 【予習】テキスト（pp. 9-10）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
8) 哲学の方法(3)： コペルニクスの転回 【予習】テキスト（p. 11）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
9) 哲学の対象(1)： 現象と物自体 【予習】テキスト（p. 12）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
10) 哲学の対象(2)： 自由の可能性 【予習】テキスト（pp. 13-14）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
11) 哲学の対象(3)： 道徳の可能性 【予習】テキスト（p. 15）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
12) 歴史と人間(1)： 人間の使命 【予習】テキスト（p. 16）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
13) 歴史と人間(2)： 精神の自由 【予習】テキスト（pp. 17-18）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
14) 世界と人間： 永遠平和の可能性 【予習】テキスト（p. 19）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
15) 総括： 講義全体のまとめ 【予習】テキスト（p. 20）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）	テキスト音読 質疑応答
授業外学習	
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読（予習）・再読（復習）する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： カント『啓蒙とは何か 他四篇』（岩波文庫）、岩波書店、1974年（改訳）	人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック

テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。

備考

期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	人間らしさとは何か			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	溝田 順子	関連する資格		

授業概要

人類の誕生から人間社会の形成に至るまでの過程を学び、人間の「いのち」がどのように育まれてきたか、人間らしさとは何かを学ぶ。
 それぞれの発達段階における心身機能の変化や多発する疾患、老化に伴う機能低下が及ぼす生活について理解する。
 また、人の生涯を「生老病死」の思想からとらえ、医療が人々の生涯を通じて人間形成にどのように関わるべきかを学習する。

到達目標

ナンバリング(B1102)

- ・人の誕生を説明できる
- ・人の成長・発達について理解できる
- ・老化に伴う生活の変化と、高齢者に多い疾患について説明できる
- ・人間らしさについて自分の考えをまとめることができ、人間をめぐる課題を討議できる

成績評価方法

授業時随時行う小レポート・小テストおよび期末試験の総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 成長発達とは何か 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	小レポート
2) 人間とは何か 人間らしさとは 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	小レポート
3) 人間の体の構造と機能 - 1 【予習】配付資料を見ておく（60分） 【復習】小テスト（30分）	小テスト
4) 人間の体の構造と機能 - 2 【予習】配付資料を見ておく（60分） 【復習】小テスト（30分）	小テスト
5) 人間の健康・病気・発達 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	小レポート
6) 乳幼児期の発達と機能 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	グループワーク 乳児期を取り巻く環境
7) 学童期の発達と心身機能、多い疾患 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	グループワーク 学童期を取り巻く環境と支援
8) 思春期・青年期の発達と心身機能 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	小レポート
9) 思春期・青年期に多発する疾患 【予習】各自作成したレポートを見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	小レポート
10) 成人期の発達と心身機能 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	小レポート
11) 成人期に多発する疾患 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	グループワーク 成人期における環境
12) 老年期の心身機能と特徴 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	小レポート
13) 老化に伴う生活上の変化と対応 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	グループワーク 老年期における環境
14) 老年期に多い疾患 【予習】配付資料を見ておく（30分） 【復習】小レポート作成（30分）	小レポート
15) 人の発達と課題 【予習】各自作成したレポートを見ておく（30分） 【復習】レポート作成（60分）	レポート
授業外学習	
6)7)9)11)13)では、各発達段階における課題とは何か、授業内容を基に自分の意見を小レポートにまとめ提出する。 3)4)では、授業で講義した内容を小テストをする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
配付資料 参考図書 新看護学15（精神看護） 医学書院 発達と老化の理解 中央法規	人体の構造と機能（看護）

課題に対するフィードバック

小テストは解答と説明を行う。レポートについては翌週コメント記載し返却する。またグループワークに活用する

備考

科目名	日本語論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

本授業は、私たちが日常使用している日本語を客観的に観察することを目的とする。
 具体的には、以下の2つの事柄を扱う。まず、日本語の様々な姿（言語の仕組み・運用）を観察する。私たちはどうやってしゃべっているか、聞いているか、書いているか、について言語データを具体的に分析していく。単純な問題のように見えて、非常に多様な問題が含まれていることを考察する。次に、言語の問題は、政治・医療・災害など、様々な社会問題等とも関連している。そのような問題が日本語にどのような影響を与えているか、また日本語がそのような問題にどのように貢献できるか、について考察する。

到達目標

- ナンバリング (B1103)
- 身近な日本語を客観的に観察することができる。
 - 日本語の不思議さや面白さに気づき、自らの視点で考えることができる。
 - 日本語について多角的に考察する態度を養う。

成績評価方法

出席を含む授業態度、リフレクションシート、定期試験（レポート）

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート							40	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 導入：日本語とは？ 日本語論とは？ 【復習】「日本語」とは何か、日本語を研究するとはどういうことかについて振り返る(30分)。	リフレクションシート(1)
2) 日本語の様々な姿 【復習】地理的・社会的なバリエーションを探してみる(30分)。	リフレクションシート(2)
3) 私たちはどうやってしゃべっているか(1)：呼びかけ語 【復習】家庭内あるいは友人同士など、様々な場面での呼びかけ語を考えてみる(30分)。	リフレクションシート(3)
4) 私たちはどうやってしゃべっているか(2)：役割語 【復習】誰が、どのような場面で、どのような役割語をしゃべっているかについて考えてみる(30分)。	リフレクションシート(4)
5) 私たちはどうやってしゃべっているか(3)：ことばの乱れ？ 【復習】若年層の言葉は本当に乱れているのか、自分や身の回りの言葉を振り返る(30分)。	リフレクションシート(5)
6) 私たちはどうやってしゃべっているか(4)：ちゃんとしゃべってる？ 【復習】不必要に聞こえるものでも、必要なものがあることを再確認する(30分)。	リフレクションシート(6)
7) 私たちはどうやってしゃべっているか(5)：氏名表記紹介 【復習】意外なところに規則性があるということを再認識する(30分)。	リフレクションシート(7)
8) 私たちはどうやって聞いているか(1)：聞き間違い 【復習】エラーを自分の問題として考えてみる(30分)。	リフレクションシート(8)
9) 私たちはどうやって聞いているか(2)：伝言ゲーム 【復習】エラーは避けられないのか、どのように伝播するのかについて振り返ってみる(30分)。	リフレクションシート(9)
10) 私たちはどうやって書いているか：様々な記号たち 【復習】身の回りの書き言葉をチェックしてみる(30分)。	リフレクションシート(10)
11) 私たちはどうやって見ているか：言語景観 【復習】身の回りの言語景観を探してみる(30分)。	リフレクションシート(11)
12) 日本語と社会(1)：ことばの忌まわしい歴史 【復習】他にも負の歴史がないか考察してみる(30分)。	リフレクションシート(12)
13) 日本語と社会(2)：災害とことば 【復習】災害が起こったとき、どのような言葉の問題が生じるかについて振り返ってみる(30分)。	リフレクションシート(13)
14) 日本語と社会(3)：医療とことば 【復習】医療に対し、どのような貢献が可能か考察してみる(30分)。	リフレクションシート(14)
15) 総括 【復習】日本語の問題は多種多様な分野と繋がっていることを再認識する(30分)。	
授業外学習	
毎回の授業終了後に、各自授業内容を振り返っておいてもらいたい。その作業へ思考がスムーズに流れるようにするため、各授業の末尾に、授業内容に関するリフレクションシートを作成する時間を取る。リフレクションシートの使用方法等については、授業内で指示する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは特になし。資料は適宜プリントを配布する。参考書は授業中に適宜指示する。	

課題に対するフィードバック

各授業の終わりに、リフレクションシートに記入・提出してもらおう。リフレクションシートは、内容をチェックして翌週返却する。その際、それに個別に書き込みをしたり、全体に対してコメントをする等の形でフィードバックする。

備考

科目名	日本語の実践			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	武市 眞弘	関連する資格		

授業概要

本授業は、社会で通用する日本語コミュニケーション能力をはじめ、文章作成能力を育成することを目的とする。敬語や俗語、文のねじれなどの表現の技術に加えて、手紙や報告書、ビジネス文書、論文といったさまざまな文体を実践的に習得する。授業では、悪文の例や敬語の添削問題など、表現に関する練習問題も数多く取り入れ、同時に論理的な文章の書き方も繰り返し訓練する。

到達目標

ナンバリング(B1201)

日常生活で使用する文体から大学生活の中で必要な論文の文体まで自由に使い分けられるようになる。

成績評価方法

出・欠席、授業時間内での評価、小試験の成績、学期末テストの得点の総和。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 日本語・漢語・カタカナ語 *漢字音, 日本漢語など 【予習】p1-4 (40分) 【復習】象形・指事・会意・形声の意味を調べる (30分)	
2) 同音・同訓異義語, ABC略語, 助数詞 【予習】p5-8 (50分) 【復習】ステップ1~3 (p1-5)を調べる (20分)	
3) 漢語・四字熟語, 外来語 【予習】p13-17を読んでおく (40分) 【復習】ステップ1~3 (p6-8)を調べる (40分)	小テスト (p1-4)
4) 主述の対応, 修飾・被修飾の関係など 【予習】p17-21を読んでおく (50分) 【復習】p14の§2の正解をノートに整理する (20分)	小テスト (p6-8)
5) 日本語の構文法と助詞 【予習】p. 25-29を読んでおく (40分) 【復習】p13-19の文法知識をマスターする。(40分)	
6) 話の展開: 序論・本論・結論 【予習】p29-34を読み, 説明の練習をする (40分) 【復習】p25とp78とを見比べて理解する (40分)	小テスト (p9-11)
7) 説明の順序: 巨視的から微視的へ 【予習】p35-39を読んでおく (50分) 【復習】p31, p34の空間説明の仕方を考える。(20分)	小テスト (p12-17)
8) 敬語の種類, 敬意の伝わる表現 【予習】p39-45を読み, ステップの問題を解いておく (50分) 【復習】p35-37の問題を整理する。(20分)	
9) 敬語の誤用と訂正 【予習】p46-50を読んでおく (40分) 【復習】p37-43の問題を整理する (40分)	
10) 文章表現法: ()要約, ()論作文 【予習】p50-61を読んでおく (50分) 【復習】p47-48の問題を400字にまとめる (20分)	小テスト (p23)
11) 文章表現法: ()手紙, ()案内文, ()ビジネス文書 【予習】p62-75 (40分) 【復習】p52の「お手紙文例集」を検索する (40分)	小テスト (p24)
12) 分析と考察 ()グラフ・表の分析 【予習】p75-80 (40分) 【復習】p62-63を読み, p65-66のステップ1を解答する。(40分)	小テスト (p36-41)
13) 分析と考察 ()レポート・論文の書き方 【予習】p82-86 (40分) 【復習】p67-75のステップを解答する。(40分)	
14) 履歴書等の書き方 【復習】漢字漢語, カタカナ語, 敬語表現など (80分)	
15) まとめ (期末テストの予告) 【復習】ABC略語, 正しい文表現など (80分)	
授業外学習	
*合計7回, 授業開始時に「練習問題」の小テストを行う。そのつど辞書などで調べて予習しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト: 米田明美ほか『大学生のための日本語表現実践ノート改訂版』(2010, 風間書房) 1,000円+税	

課題に対するフィードバック

小テストおよび宿題は提出したものを点検し評価して、次回授業の初めに返すので、誤りの指摘については正解を習得してほしい。

備考

科目名	日本文化論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	後期			
担当者名	白石 義孝		関連する資格				
授業概要 「倭は 国のまほろば たたなづく 青垣 山隠れる 倭しうるはし」 現存するわが国最古の書物（歴史書）である古事記（ふることふみ）は、天武天皇の命により編纂され、8世紀初頭（飛鳥時代から奈良時代）のわが国における天皇中心の社会と世界観を形成するための思想的背景となった。 本授業では、現代でいうところの「美しい国 日本」および「クール ジャパン」の思想の原点ともいえる古事記を、難解な原典ではなく、2015年に完結するまでの32年間でコミックス全23巻にわたる大作「天上の虹」（持統天皇物語）の作者である、里中満智子氏のコミック版を読み解いて理解を深めていくこととする。 なお、授業中のプレゼンテーションの一環として、古事記がアニメ化された場合のアフレコを想定した音読を実施する。							
到達目標 B1110 1．現存するわが国最古の書物（歴史書）である古事記を読み解くことにより、古代日本（飛鳥時代）の社会と世界観について理解を深める。 2．神話に登場する神々の物語を読み、伝統的な皇室祭祀の意味、および全国各地の神社に祀られている神々との関係を理解する。 3．クールジャパンとして世界に誇るわが国のコミック文化において、巨匠と位置づけられる作家の作品のうち、歴史を扱った大作に親しむ。			成績評価方法 定期試験または期末レポート（40％）、小テスト、授業内レポート（10％）、宿題、授業外レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験（中間・期末）	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 古事記（上巻）この世の始まり・天の石屋戸 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 八俣大蛇・大穴牟遲 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 根之堅州国・大国主神 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 少名毘古那・国譲り 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 天孫降臨・木花之佐久夜毘売と石長毘売 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 山幸彦と海幸彦・豊玉毘売と玉依毘売 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 古事記（中巻）神武東征・天皇誕生・欠史八代 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 三輪山の大神主神・沙本毘売・本牟智和氣御子 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 小碓命・出雲建・倭建命 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 草薙剣・弟橘比売・倭建命の帰還 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 息長帯比売・大雀命 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 古事記（下巻）皇后石之日売・皇位継承 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) 歴史への道 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 予習：テキストの指定したページを読む（120分） 復習：最終課題を作成する（180分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト ・マンガ古典文学『古事記』（上）・（下）（里中満智子、小学館文庫） 参考書・参考資料等 ・古事記（西宮一民校注、新潮日本古典集成 新装版、新潮社） その他講義中において適宜紹介する。	現代社会の教育、ボランティアと社会

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

- ・各地の神社仏閣を訪問する際に、その歴史的背景や祀られている神仏について調べてみましょう。
- ・皇室で行われている宮中祭祀の歴史的背景と目的について調べてみましょう。

文庫版の文字が小さく、吹き出しのセリフが読みづらい場合は、文字の大きいワイド版（全2巻）をすすめる。

- ・古事記 壹(マンガ古典文学シリーズ)、小学館、ISBN: 4093621918
- ・古事記 弐(マンガ古典文学シリーズ)、小学館、ISBN: 4093621926

科目名	文学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村上 林造	関連する資格		

授業概要

日本近代文学の中からいくつか作品を取り上げ、その魅力を味わうとともに、文学作品としての価値について考える。また、文学作品を通じて、人の人生や生き方、考え方などを学び、豊かな感性を磨く。

到達目標

ナンバリング(B1104)

文学作品を深く味わう感性を養い、人間の生き方とあり方について深く考える力を培う。自分の意見を他者の前で発言するとともに、他者の意見を聞いて理解し、対話的關係を作る力を養う。

成績評価方法

出席 = 原則全回出席（真にやむを得ない場合以外は欠席を認めない）
 毎時間授業前レポート、授業後レポートを求め、未提出3回で欠格。その他、隔週で作文課題をだし、作文提出を求める。授業は自由討議の形式であるから、授業での発言は、非常に重要な評価対象となる。最終レポートは非常に字数が多いから、その執筆にはかなりの労力と気力が必要。授業前レポート15回、授業後レポート15回、作文課題7回のほか大量字数の最終レポートという、非常に重い課題を求められる授業であることをよく考慮し、その覚悟をもって受講を決心していただきたい。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート							30	
授業態度・授業参加度							20	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 予習：次の時間に扱う作品を読み、自分の解釈、感想をレポートにまとめ、講師にメールで送信する（1時間）。	授業後レポート
2) 明治時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート、作文課題
3) 明治時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート
4) 明治時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート、作文課題
5) 大正時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート
6) 大正時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート、作文課題
7) 大正時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート
8) 昭和時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート、作文課題
9) 昭和時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート
10) 昭和時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート、作文課題
11) 昭和時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート
12) 平成時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート、作文課題
13) 平成時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート
14) 平成時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。【予習】次時の作品を読み、自分の解釈を予習レポートにまとめ、レポート2点を講師にメール送信する（1時間）。	授業前レポート、授業での発言、授業後レポート、作文課題
15) 平成時代の文学作品による自由討議 【復習】本時の授業を踏まえて、自分の作品解釈を復習レポートにまとめる（2時間）。	授業前レポート、授業での発言
授業外学習	
<p>毎回課題作品を事前に熟読し、作品解釈（あるいは感想）を授業前レポートとして提出する。また授業後には毎回授業後レポートを提出する。期限遅れのレポート提出は認めない。未提出3回で欠格（単位不認定）であるから、厳密に期限を守ってレポートを出すことが、単位修得の必須条件である。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎時間プリントを配布する。	なし

課題に対するフィードバック

毎時間の授業プリントに、全員のレポートを掲載し、配布する。

備考

授業にはレポートで自分の解釈を示すのはもちろん、授業中に意欲的、積極的な発言を求め、評価する。90分の授業をただ受身で聞いているだけの者は、受講を遠慮していただきたい。（もちろん、授業中の居眠りやスマホいじり、内職等は厳禁である。）

科目名	心の科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	森本 裕子、榎本 俊哉、小山 典子、木元 卓也	関連する資格		

授業概要

看護・保健領域の専門職として働くにあたり、臨床現場で役立つであろう知識を中心に、心理学（基礎心理学・応用心理学）の基礎的知識について学ぶ。

到達目標

B1105

1. 看護・保健領域で、心理学の知見を活かし、専門的関わりの質を高める工夫をすることができる。
2. 心理的支援の理念や方法を知り、チームアプローチに活かすことができる。
3. 心理学的知見を活かした援助を行う方法を理解できる。

成績評価方法

定期試験、予習ノート、小テスト、まとめノート、受講態度で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、心理学とは何か 森本裕子 【予習】心理学とはどのようなものかを考えてくる（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
2) 学習 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
3) 感覚・知覚・認知 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
4) 記憶・思考・知能 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
5) 記憶・思考・知能 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
6) 動機・欲求・情動 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
7) 発達 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
8) 発達 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
9) 集団と社会 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
10) ストレスマネジメント 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
11) パーソナリティとアセスメント 森本裕子 【予習】授業内容についての予習ノートを作成する（30分） 【復習】授業内容についてまとめノートを作成する（30分）	小テスト
12) 心理的支援の方法と実際（医療保健領域）小山典子 【復習】医療保健領域における心理支援について概略をまとめる（60分）	小テスト
13) 心理的支援の方法と実際（福祉領域）木元卓也 【復習】虐待が与える心理的影響についてまとめる（60分）	小テスト、グループワーク
14) 心理的支援の方法と実際（教育領域）榎本俊哉 【復習】講義内容の検討とグループワークの振り返り（60分）	グループワーク
15) 心理専門職とのチームアプローチ、まとめ 森本裕子 【復習】授業全体の振り返り（60分）	小テスト
授業外学習	
第1回から第12回までは、その授業の内容についてのまとめノートと、次の授業の内容を自分なりに考えてくる予習ノートを配布しますので、必ず授業前に記入の上、参加してください。また、講義の終わりに、その講義のふりかえるため、講義のポイントをテーマとした小テストを行います。まとめノート、予習ノート、小テストを中心に復習をくり返すことにより、知識の定着を図って下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】レジュメを配布します。	コミュニケーション論

課題に対するフィードバック

授業前に、まとめノート、予習ノートを回収します。次回以降の授業で、コメントをつけて返却します。

備考

科目名	憲法・人権論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）および統治機構（国会、内閣、裁判所）について修得する。

到達目標

ナンバリング(B1106)

- 立憲主義の意義を理解する。
- 主要な人権の内容を理解する。
- 統治機構の概要を理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							65
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 憲法と国家<国家の三要素> 【予習】国家の3要素とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
2) 立憲主義の意義 <憲法とは何か> 【予習】憲法という言葉を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
3) 立憲主義の意義 <人権の種類と内容> 【予習】人権の種類とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
4) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
5) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
6) 法の下での平等 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
7) 法の下での平等 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
8) 精神的自由権 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
9) 精神的自由権 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
10) 社会権 【予習】テキストTheme11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
11) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
12) 裁判制度 【予習】テキストTheme19を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
13) 裁判制度 【予習】テキストTheme19（特に裁判員裁判）を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
14) 参政権と国会・内閣 【予習】テキストTheme16，17および18を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
15) 憲法保障<違憲審査制> 【予習】テキストTheme20を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門 [第5版]』（有斐閣、2017年）。 その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。	法学

課題に対するフィードバック

小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。

備考

科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二	関連する資格		

授業概要

社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などの基礎知識について概説する。
 法を初めて学ぶ者のために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）から実例を挙げながら、法の基本的な原理・原則および構造ならびに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を概説する。

到達目標

ナンバリング(B1107)

社会生活における法の作用や役割を理解する。
 相談援助活動と法の関わりを理解する。
 民法等の基礎的な解釈・適用能力を身につける。
 権利擁護の仕組みについて理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							67	
小テスト、授業内レポート							28	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							5	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 法学の学習方法および六法の使い方を説明する。法令の構成等について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に試してみる。
2) 近代市民社会の法の原理および構造ならびに近代憲法の意義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3) 犯罪と法(1) 刑の種類・内容、刑の適用および刑の執行等について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4) 犯罪と法(2) 犯罪の成立要件について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5) 犯罪と法(3) 罪刑法定主義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6) 犯罪と法(4) 刑事手続の概要について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7) 物の人への帰属に関する法(1) 法律行為について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8) 物の人への帰属に関する法(2) 契約自由の原則とその限界について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9) 物の人への帰属に関する法(3) 契約自由の原則とその限界について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10) 物の人への帰属に関する法(4) 時効制度および除斥期間について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11) 人に関する法と物に関する法について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12) 司法制度 裁判制度および裁判外紛争解決制度（ADR）について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13) 制定法の種類 各種制定法の意義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14) 制定法の効力 種制定法間の効力関係および制定法の適用範囲について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15) 制定法の解釈 制定法の解釈方法論および解釈技術について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習	
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『ポケット六法令和2年版』（有斐閣、2019年）。 テキストは用いないが、六法は学習に必要。受講にあたっては、『ポケット六法令和2年版』（有斐閣、2019年）を持参すること（第1回目の授業から使用する。）。	憲法・人権論

課題に対するフィードバック

小テストについて実施当日または次回の授業で解説する。

備考

科目名	現代社会の教育			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格		

授業概要

世界に先例のない少子高齢社会となったわが国において、教育を取り巻く状況も劇的に変化し続けている。本授業では、通常の教職科目ではカバーできない最新かつ重要な問題について取り上げ、みんなで考えていきたい。現時点で予定しているテーマは以下のとおりである。

- 受験と学歴の獲得をめぐる価値観について（コミック『二月の勝者』における中学受験ビジネスについて考える）
- 学歴は高ければ高いほどよいのか？（『高学歴ワーキングプア』問題について考える）
- 学校という閉鎖空間（ブラック〇〇、ハラ、ペアレント、校則という謎のルール）
- 学校で教えてくれないこと（就活、婚活、保活、終活など、活をめぐる）
- 子どもの時なりかった職業（夢をみることと現実を受け入れること）
- 学ぶことはお金になる？（教育への投資と収益について考える）
- 人生を豊かにする資格・検定（子どもの習い事から大人の趣味、ライフワークまで）
- COVID-19のパンデミックの影響で大きく変わる社会と教育
- 大学時代という限られた時間をどう使うか

毎回の授業テーマは社会情勢を踏まえて大きく変更することがある。

到達目標

B2101

1. 劇的に変化する社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる問題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解できる。
2. 少子高齢社会における学歴獲得競争の背景と構造を学び、メリットとデメリットについて議論することができる。
3. ライフ・プランニング（キャリアプランとマネープランを含む）において生涯学び続けることの意義について理解し、説明できる。

成績評価方法

定期試験または期末レポート（40%）、小テスト、授業内レポート（10%）、宿題、授業外レポート（30%）、プレゼンテーション（20%）

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40	
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10	
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20	
グループワーク		○	○		○			
演習		○	○		○			
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) COVID-19のパンデミックの影響で大きく変わる社会と教育 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 受験と学歴の獲得をめぐる価値観について 予習：テーマに関する情報収集を行う（60分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（60分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 学歴は高ければ高いほどよいのか？ 予習：テーマに関する情報収集を行う（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 新学習指導要領にみる学校教育の変化と教育ビジネス 予習：テーマに関する情報収集を行う（60分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 学校という閉鎖空間 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 学校で教えてくれないこと（就活、婚活、保活、終活など、活をめぐる） 予習：テーマに関する情報収集を行う（90分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（60分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 子どもの時なりかった職業 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 学ぶことはお金になる？ 予習：テーマに関する情報収集を行う（60分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 人生を豊か？にする資格・検定 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 人生を豊か？にする資格・検定 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 大学時代という限られた時間をどう使うか 予習：テーマに関する情報収集を行う（60分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（60分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 受験と学歴の獲得をめぐる価値観について（『二月の勝者』ドラマ化をめぐる） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) COVID-19の影響で大きく変わる社会と教育（感染拡大から半年後の現状） 予習：テーマに関する情報収集を行う（30分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（60分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 予習：テーマに関する情報収集を行う（120分） 復習：最終課題を作成する（180分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書・参考資料等 ・半径5メートルからの教育社会学（片山悠樹編、大月書店） ・二月の勝者 ～ （高瀬志帆、小学館・ビッグコミックス） ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。	教育社会学、教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談・カウンセリング、教育方法・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、学校体験活動、ボランティアと社会

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	地域社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	瀬崎 譲廣	関連する資格		

授業概要

私たちの生活は、地域で営まれます。戦後の高度経済成長は、私たちの暮らしを物質的に豊かにすると同時に、日々の暮らしの地域社会への依存度を低下させたかのように思われました。しかし、近年、防災や子育てなどの観点から地域社会への関心が高まっています。児童虐待や孤独死といった問題も、一見地域社会とは関係ないように思われますが、その背景として「都市化」などの地域社会の変容を見逃すことはできません。

また、戦後の社会変化の中で、村落社会も大きく変化しました。村落社会では高齢化が著しく進行し、村社会の機能を維持することが難しくなる「限界集落」などの問題も起きています。農業就業者の平均年齢が65歳以上になり、農業の持続可能性も、食料自給率の問題とともに、課題となっています。

この授業では、地域社会（農村・都市）を分析するための社会学の視点を学ぶとともに、今日の地域社会が抱える諸問題について紹介します。

到達目標

ナンバリング(B2501)

地域社会の特徴を社会的に理解するための視点を獲得する
戦後社会の変容と、今日の地域社会が抱える問題への理解を深める

成績評価方法

講義中に課す小レポート等および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴と、社会学の地域概念	グループワーク
2) 社会学の特徴と、社会学の地域概念 復習：小レポート（10分程度）	
3) イエとムラ 村落社会を構成する単位 復習：小レポート（10分程度）	
4) 江戸時代の農村と現代農村の連続性 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
5) ムラによる資源管理 復習：小レポート（10分程度）	
6) ムラによる資源管理 近年の都市部での獣害との関連から 復習：小レポート（10分程度）	
7) 農村の変化と過疎およびその課題 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
8) 災害と地域社会 復習：小レポート（10分程度）	
9) 災害と地域社会 復習：小レポート（10分程度）	
10) 商店街と地域社会 復習：小レポート（10分程度）	
11) 町内会と地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）	グループワーク
12) 近代家族と地域社会 復習：小レポート（10分程度）	
13) 地域社会の課題とまちづくり 復習：小レポート（10分程度）	
14) 地域社会の課題とまちづくり 復習：小レポート（10分程度）	
15) 授業全体のまとめ	
授業外学習	
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書：用いない 参考書：授業の中で適宜紹介する	

課題に対するフィードバック

小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。

備考

授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	ボランティアと社会			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	白石 義孝、伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

ボランティアの意義と実情について学び、現代社会におけるボランタリーセクターの重要性について理解することを目的とする。
 ボランティアの思想や歴史的経緯、様々な活動の実態など、基礎的な知識について概説するとともに、現代社会の状況について解説し、ボランティア活動への注目の高まり、またその行為に参加しようとするものの存在の背景を考察する。活動の実際を知ってもらうために、実際の活動を行っている方から直接話を聞く機会も設けたい。

到達目標

B1501

- ・ ボランティアについての正確な理解
- ・ ボランタリーセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚
- ・ ボランティア活動への参加

成績評価方法

定期試験・小テスト（レポートの場合あり）
 リサーチ課題
 ボランティア活動体験レポート

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート							20	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習							30	

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤・白石） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
2) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤） 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
3) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤） 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
4) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤） 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
5) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤） 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）	グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
6) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
7) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
8) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
9) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
10) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）	グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
11) パート3（参加編） 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
12) パート3（参加編） 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
13) パート3（参加編） 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
14) パート3（参加編） 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分）復習：レポート作成（120分）	ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
15) 総括（伊藤・白石） 予習：授業中に紹介した課題について事前調査する（120分） 復習：期末レポート作成（180分）	個人ワークによる全体の振り返り
授業外学習	
毎回の授業で紹介したキーワードを自筆でノートにまとめておく。 ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。（担当者の許可を得るなど）	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト 「テキスト市民活動論【第2版】」大阪ボランティア協会 ・ ボランティアに関する書籍・学術雑誌全般 ・ NPOに関する書籍・学術雑誌全般 その他、特に推奨する参考文献については講義中で適宜紹介する。	教職に関する科目、社会学に関する科目、現代社会の教育

課題に対するフィードバック

実習先での活動内容やレポート作成に関する指導を全体に対して行うとともに、個別の質問については、授業後またはメールにて対応する。

備考

- 各回の授業の構成は、基本講義と実習指導、および課題レポート作成の3つのパートからなる
- ・ 毎回パート1とパート2の基本講義を60分程度（伊藤が担当）
 - ・ 引き続きパート2とパート3の実習指導と課題レポート作成について30分程度（白石が担当）

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	山本 芳実	関連する資格		

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになってきている。本講義では、一般教養レベルの生物学の基礎的理解のために、生体の持つ機能や遺伝の仕組み、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について習得する。

到達目標

ナンバリング(B1111)

- 1、生物学における基礎的な知識を列挙できる。
- 2、様々な生命科学に関する事象を生物学の視点から考える事ができる。

成績評価方法

期末定期試験、授業内レポート、授業外レポート、授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生物学と生命科学 「予習」現代生物学の課題を考える（30分） 「復習」小レポート作成（60分）	授業外レポート課題
2) 細胞 「予習」細胞に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
3) 代謝とエネルギー代謝 「予習」代謝とエネルギー代謝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
4) 細胞分裂と多細胞生物 「予習」細胞分裂と多細胞生物に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
5) 減数分裂と遺伝 「予習」減数分裂と遺伝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
6) 遺伝と遺伝子 「予習」遺伝と遺伝子に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	グループワーク
7) 染色体と二重らせん 「予習」染色体と二重らせんに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
8) タンパク質と遺伝 「予習」タンパク質と遺伝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
9) 遺伝子のはたらき 「予習」遺伝子のはたらきに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
10) ゲノム科学とバイオテクノロジー 「予習」ゲノム科学とバイオテクノロジーに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	授業外レポート課題
11) 受精と発生 「予習」受精と発生に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
12) 発生のしくみ 「予習」発生のしくみに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください60分）	
13) 進化と系統分類学 「予習」進化と系統分類学に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください60分）	
14) 分子進化とヒトの進化 「予習」分子進化とヒトの進化に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）	
15) まとめ及び予備 「予習」疑問点があればまとめておく（30分）	
授業外学習	
授業終了後、講義ファイルのコピーを渡しますので講義資料を復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「生きもののからくりー分子から生命までー」改訂版、中村和行・山本芳実・祐村恵彦共編、培風館	

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週にコメントします。

備考

科目名	化学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	田中 経彦	関連する資格		

授業概要

生化学栄養学を学ぶ上での基礎となる有機化学、無機化学について学びを深めるとともに、さらにその知識を基盤とし未来の医療・福祉を担う人間として自然科学の立場から自ら考える力をつける。看護師、保健師が、間違いなく医療活動をしていくのに常識的な化学の基本知識を、修得する。

到達目標

ナンバリング(B1112)

化学の基礎的知識を説明できる
 無機化合物の特性を説明できる
 有機化合物の特性を説明できる
 ヒトの構成成分と反応系、疾病状態を化学的に理解し、臨床に応用する能力を身につける

成績評価方法

十分な出席回数を基に、期末試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 物質質量、溶液の濃度、希釈（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 演習問題
2) 浸透圧（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
3) 酸化、還元、燃焼、腐食（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
4) 酸、塩基、pH、緩衝液（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
5) メタン、エタン、プロパン、ブタン、ペンタン、ヘキサン（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
6) エチレン、アセチレン、ベンゼン、シクロヘキサン、有機化合物の立体構造（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
7) アルコール（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
8) アルデヒド、ケトン（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
9) カルボン酸、脂肪酸、キレート（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
10) エステル、脂肪、エーテル、ラクトン（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
11) アンモニア、アミン、アミド、アルカロイド（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
12) アミノ酸、ペプチド、不斉炭素（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
13) 糖（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
14) 放射性同位元素、物質に対する光の作用（高校の教科書で30分程度予習、演習問題で復習60分）	授業内課題 小テスト
15) まとめ。演習（疑問点がないか事前に考える。復習は1時間以上）	授業内課題 小テスト
授業外学習	
授業計画に沿って、講義を進めて行きます。授業開始時、毎回小テスト(前回講義内容)があります。講義資料、参考書等を利用し復習（30分以上目安）して下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 基礎 化学 医学書院	栄養学（生化学を含む）、生理学、薬理学薬剤学など

課題に対するフィードバック

各人が授業内課題で作成した問題は、次の週の小テストに活用し、試験後に解説を行う。待てないときは、netarouasa3years@yahoo.co.jp までメールで問い合わせる。

備考

インターネットで、NHK高校講座の化学基礎を視聴できます。解説動画等ありますので、高校の復習に利用してはいかがでしょうか？

科目名	物理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	後期			
担当者名	松本 治彦		関連する資格				
授業概要 この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。 物理学ではオートクレーブのメカニズム、点滴・輸血時の液体の比重など看護の現場で必要となる様々な事例を取り上げて物理学の理解を深め、科学的なものの考え方を身につける。 また、看護師の国家試験に出題されている物理系の問題について紹介。授業では、「物体の運動」、「運動量と仕事」、「熱と気体の運動」など物理学の基本を復習しながら「患者の移動」、「比熱の計算」、「血圧」などについて学ぶ。グループ討議を設定している。自分の意見を主張して積極的に参加する。							
到達目標 B1113 看護の現場で物理的なメカニズムを的確につかんで行動する。看護師国家試験の物理系の問題を解く。			成績評価方法 質問カードの内容、レポート、グループ討議の態度、定期試験で総合評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 物理学の概要 予習；物理学資料の全般を概観する（30分）。復習；今後受講する内容の確認をする（30分）。	
2) 2011.3.11福島原発事故特別バージョン・放射線 予習；放射線について基本的な事項を調べておく（30分）。復習；福島事故の要点を整理しておく（30分）。	
3) 物体の運動、患者の移動、トルク、作用反作用・摩擦・運動量・仕事・衝撃力・骨折・牽引 予習；トルクのことについて事前に調べておく（30分）。復習；運動の三法則について整理しておく（30分）。	
4) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議の結果、生じた疑問点の解決に使ってください（1時間）。	グループ討議、要点整理
5) 熱と気体の運動、比熱計算、氷枕、熱移動 予習；熱の移動について事前に学習しておいてください（30分）。復習；熱量の計算式を理解しておくこと（30分）。	
6) 圧力、表面張力、密度、比重 予習；圧力の全般を学習しておくこと（30分）。復習；様々な圧力の問題について理解すること（30分）。	
7) 血圧、吸引装置、酸素ポンプ、連結ピン 予習；血圧と酸素ポンプについて事前に学習しておくこと（30分）。復習；酸素ポンプに関する計算を理解しておくこと（30分）。	
8) 要点整理（グループ討議とレポート1提出準備） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決とレポート作成に使ってください。（1時間）	グループ討議、レポの要点整理
9) 比重計、オートクレーブ、水銀体温計、濃度の表し方と物質の溶け方 予習；濃度計算について事前学習しておくこと（30分）。復習；オートクレーブの役割と濃度計算をマスターしておくこと（30分）。	レポート提出
10) 熱力学、音波、浸透圧、人工透析、心拍数、サイレン 予習；救急車のサイレンと位置関係を事前に調べておくこと（30分）。復習；浸透圧について理解を深めること（30分）。	
11) ファイバースコープ、サーモグラフィ、電気 予習；ファイバースコープについて事前に調べておくこと（30分）。復習；電気メスのメカニズムについて理解しておくこと（30分）。	
12) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決のために有効に使う（1時間）。	グループ討議
13) 看護師国家試験の物理系問題の出題例 予習；過去の国家試験の問題を概観しておくこと（30分）。復習；計算問題のパターンをつかむこと（30分）。	
14) 要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決に有効に使う（1時間）。	グループ討議、要点整理
15) まとめ	
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してきてください。 講義資料を復習して下さい。看護実習の時に、物理学で学んだことを活かしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はウェブ上よりダウンロードしてください。	物理学の基礎

課題に対するフィードバック

毎回の授業後に提出する質問・感想カードの解答などを、次回の講義の始めに説明する。レポートを提出後、間違い、問題点を指摘したのちに返却する。総評をする。

備考

科目名	地球の現在・過去・未来			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業です。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話をしめす（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジしています）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識することです。この授業の受講後は、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになることを期待している。

到達目標

B2102
自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

質問・感想カード、レポート、グループ討議の態度と定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	
2) 「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	
3) 「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	
4) 「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	
5) 「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	
6) 「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消滅と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	
7) 「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	
8) 「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	
9) 「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	
10) 「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	
11) 「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	
12) 要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	グループ討議と要点の確認
13) 「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	レポート提出
14) 「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	
15) 「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読する。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使用しない。資料はウェブ上よりダウンロードしてください。	

課題に対するフィードバック

毎回の講義後に提出する質問・感想カードに関する解答などを、次回の講義の最初に説明する。レポートは間違いのチェック後に返却する。また、総評もする。

備考

科目名	データの科学的な見方			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「看護師・保健師としての基礎的思考方法」を学ぶための授業。

授業ではまず、統計学の歴史について深く学び、統計学や確率の歩んだ道を振り返ってみる。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問です。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに大いに役立たせる。

到達目標は、統計値の科学的意味を的確につかむ、グループ討議を通じてコミュニケーション能力を高めること。

ITが普及した現在、膨大な情報の中から自分の必要な情報を選別し、それを整理する能力が必要である。また統計処理した数値の意味を理解する能力も必要になる。

看護研究や保健研究では、データ処理に統計の知識が必要になってくる。この授業の到達目標は、導き出した統計値の科学的な意味を理解する。そのために、まず基本的な統計値の意味をしっかりと理解する、統計図、統計表の見方を学習する。そうして区間推定や検定を通じてデータの科学的な見方を身につけていく。

グループ討議を設定している。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B2103

統計学の基本的な言葉の意味、統計値の科学的意味を的確につかむ。

成績評価方法

質問カードの内容、小テスト、レポート、グループ討議の態度、定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート							20	
宿題、授業外レポート							30	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 統計学の歴史 その1 予習；資料の全般を概観する（30分）。復習；歴史の部分についてもう一度、確認すること（30分）。	各自で自分の現在の力を判断する。
2) 統計学の歴史 その2 予習；歴史の部分について深く思考する（30分）。復習；歴史の部分を整頓しておくこと（30分）。	
3) 統計学の考え方、データの科学的な見方（具体的事例） 予習；統計学の考え方、データの科学的見方の部分を概観する（30分）。復習；考え方について再確認しておくこと（30分）。	
4) 統計データのまとめ方（度数分布・分割表・図示法） 予習；図表の部分について概観する（30分）。復習；度数分布表のチェックをしておくこと（30分）。	
5) 集団を表す代表値（平均、分散、標準偏差など） 予習；代表値の部分を概観する（30分）。復習；平均値、分散、標準偏差について整理しておくこと（30分）。	
6) 正規分布、区間推定1（母集団、標本とは） 予習；正規分布の部分を概観す30分）。復習；正規分布、区間推定について確認しておくこと（30分）。	
7) 区間推定2（t分布表） 予習；区間推定とt分布について調べておくこと（30分）。復習；t分布表の見方をマスターしておくこと（30分）。	
8) 統計的検定1（帰無仮説、有意水準など） 予習；統計的検定の部分を概観する（30分）。復習；帰無仮説、有意水準などの用語の意味を確認しておくこと（30分）。	
9) 統計的検定2（両側検定、片側検定、t検） 予習；検定について深く思考しておくこと（30分）。復習；検定の目的について再度、整理しておくこと（30分）。	
10) 母平均の検定 予習；母平均と標本平均の違いを確認しておくこと（30分）。復習；母平均の検定の手順を、もう一度、確認すること（30分）。	
11) 要点整理（グループ討議とレポート1提出準備） ここまでの部分をグループで話し合いながら、整理する。そして、疑問点を解決して、レポートを作成する（1時間）。	グループ討議と要点の確認
12) 2つの集団における平均の差の検定と相関・回帰直線 予習；2つの集団の検定について概観する（30分）。復習；相関と回帰直線について、整理しておくこと（30分）	レポート提出
13) もっと難しい統計学、疫学と統計学 予習；疫学と統計との関係について調べておくこと（30分）。復習；難しい統計学のことについて整理しておくこと（30分）。	
14) 看護師および保健師国家試験で出題されている計算問題の解説 予習；看護師・保健師の国家試験のうち、計算問題の傾向を調べておくこと（30分）。復習；計算問題をもう一度、確認すること（30分）。	
15) 「まとめ」	
授業外学習	
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読する。 講義資料を復習。保健師国家試験の過去問のうち、統計学の基礎問題が確実に解けるように自宅でも計算問題、基礎的な言葉の意味を再確認する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは使わない。資料はウェブ上よりダウンロードしてください。	数学の基礎 保健統計学

課題に対するフィードバック

レポート提出後、間違い、問題点を指摘して、返却する。総評する。

備考

科目名	いのちの科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	祐村 稔子	関連する資格		

授業概要

今日、生命科学の進歩は著しく、医療、農業、工業など多方面でわれわれに多くの恩恵を与える一方で、様々な課題も提起している。本講義では、これらの問題点を、それぞれが自らの知識と感性で考え解決する力を養うことを目的に、前半で生命のなりたちを分子のレベルで解説し、後半では、人体の成り立ちと統合の仕組み、脳のはたらき、免疫、病気、老化、バイオテクノロジー、先端医療など、専門分野と関連の深いテーマについて解説する。

到達目標

ナンバリング(B1108)

1. いのち（生命）のなりたちを分子のレベルで理解する。
2. 人体のなりたちと統合のしくみを理解する。
3. いのちをめぐる現代の課題について正しく理解し各自の考えを述べることができる。

成績評価方法

レポート、最終試験により総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生命とその起源：あなたもムシも大腸菌も生きている 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
2) 生命の最小単位「細胞」：細胞の構造と機能 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
3) 生命を演ずる分子たち1：生体内で働く分子たち 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
4) 生命を演ずる分子たち2：脂質と生体膜 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
5) 生命を演ずる分子たち3：タンパク質は働き者 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
6) 生命を演ずる分子たち4：生命の設計図：遺伝子とその働き 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
7) 病気との闘い1：DNAの傷害と修復 がんの生物学 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
8) 遺伝子組換え技術とその応用 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
9) 病気との闘い2：ヒトの遺伝と遺伝病 先端医療と生命倫理、 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
10) 生命活動の基礎：エネルギーの産生と物質代謝 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
11) 生命は動く、細胞は動く：細胞骨格と細胞運動 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
12) 免疫のしくみ 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
13) 神経と脳の働き 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
14) 恒常性：ホルモンの働き 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
15) 老化と寿命 【復習】小レポート作成（5分）	小レポート
授業外学習	
毎回、授業に関連した参考資料を配布します。これを読んだの考察や感想、あるいは簡単な課題に関する小レポートを宿題とします。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：伊藤明夫著「いのちの科学」（培風館）	人体の構造と機能 生物学の基礎

課題に対するフィードバック

小レポートへのコメント集を配布

備考

生命科学の入門として、幅広い知識と興味を持っていただけることを希望します。

科目名	健康と音楽			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	村上 玲子	関連する資格		

授業概要

人間は、声を出して歌う、リズムカルに動く、身体の様々な部所を使って音を出すことや表現することが可能で、非常に音楽的な存在である。また、音楽は人の心や身体と密接に結びつき、音楽を聴く、演奏する、楽しむといった活動は、病める心を癒し、身体や精神機能の健康を保ち回復するといった要素がある。人がなぜ歌ったり奏でたりするのか、音や音楽が人間にもたらすものは何かについて理解する。また、日常生活の中で音楽を上手く使うことによって、健康を取り戻したり、維持する方法を実際に音楽活動を実践しながら習得する。

到達目標

ナンバリング(B1114)

人間と音楽のかかわりについて説明できる。
音や音楽の特性や役割について列挙することができる。
生活の中で健康増進や維持を目的とした音楽の活用法を工夫し実践できる。

成績評価方法

授業時の小レポートと課題レポート
授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート			○				20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		10
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 人間の健康と音楽の関わり 【予習】生活の中で、音楽とどのように関わっているかについて調べておく（30分） 【復習】人間の生活に音楽が深くかかわっている事例をまとめる（20分）	授業内レポート
2) 心の健康と音楽の役割及び特性、音楽がもたらす不思議な効果とは、音楽が心身を癒すメカニズム 【予習】身の回りで使われている音楽の事例を調べておく（30分） 【復習】音楽の特性をまとめておく（20分）	授業内レポート
3) ストレスと音楽 クラシック音楽とヒーリングミュージック 【予習】ストレスについて調べる（30分） 【復習】音楽を使ったストレス解消法の事例をまとめておく（20分）	授業内レポート
4) 音楽療法とは 音楽療法の歴史・目的・適応範囲・実践 【予習】音楽療法について調べる（30分） 【復習】配布プリントを復習する（20分）	授業内レポート
5) 宮沢賢治作「セロ弾きのゴーシュ」と音楽療法 音楽療法の視点から作品分析 【予習】音楽療法について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
6) 音楽療法とオーラルフレイル（口腔機能の低下）について 【予習】オーラルフレイルについて調べる（30分） 【復習】例曲を使って歌唱活動を実践してみる（30分）	授業内レポート
7) ジブリがいっぱい 宮崎アニメと共に歩んだ久石譲の音楽の世界 【予習】宮崎駿、久石譲について調べる（30分） 【復習】鑑賞曲の感想レポート作成（20分）	授業内レポート
8) クラシック音楽がつくる快適な人生 生活に密着した音楽、動物たちが奏でるクラシック音楽 【予習】スーラシアン音楽について調べる（30分） 【復習】鑑賞曲の感想レポート作成（20分）	授業内レポート
9) 世界を魅了する魂のピアニスト フジコ・ヘミングの時間 【予習】ピアニスト「フジコ・ヘミング」について調べる（30分） 【復習】感想レポート作成（60分）	授業外レポート
10) ミュージカル鑑賞 ミュージカル鑑賞から音楽の効力を探る 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】感想レポートの作成（20分）	授業内レポート
11) ミュージカル鑑賞 ミュージカル鑑賞から音楽の効力を探る 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
12) 音楽と人間の生活 クリスマスと音楽「クリスマス音楽に触れて」 【予習】人間の生活と音楽の関わりについて配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート（20分）	授業内レポート
13) 盲目のピアニスト辻井伸行と音楽 辻井伸行の世界と音楽表現 【予習】ピアニスト辻井伸行について調べる（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
14) オペラ鑑賞 人間の表現と音楽 音楽の力について 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】感想レポート作成（20分）	授業内レポート
15) オペラ鑑賞 人間の表現と音楽 音楽の力について 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは利用しない。講義資料を配布する。</p> <p>参考書＊渡辺 茂夫著、音楽健康法、1995年、誠文堂新光社＊ 苧坂良二編著、新訂環境音楽、1992年、大日本図書＊村井靖児著、 こころに効く音楽、1997年、保健同人社＊谷口高士著、音は心の中で音楽になる、2000年、北大路書房</p>	

課題に対するフィードバック

授業内及び授業外で出した小レポート課題については、翌週にコメントを付けて返却する。

備考

科目名	健康スポーツ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実技	選択	2	1年	前期			
担当者名	友定 保博		関連する資格	養護教諭			
授業概要 これからの社会生活の様々な場面で適用できるコーディネーショントレーニングを中心に、老若男女ができる健康づくり運動の方法や知識を理解し、技能を習得する（ゴール）。看護学科での実務経験と本科目担当経験をもとに、練習・習得にあたってはメンバー間での助け合いや相互指導など、全員が協力して課題を達成することを重視し実施する。							
到達目標 ナンバリング(B1109) 到達目標 生涯にわたる健康づくりのための運動の意義について理解し、グループで助け合って、自ら進んで周りの人と楽しく実施できるようになること。			成績評価方法 定期試験 試験・理解（30） 宿題、授業外レポート 関心・意欲（10） 授業態度・授業参加度 関心・意欲（10）態度（10） グループワーク 関心・意欲（15）技能・表現（15）態度（10）				
成績評価方法 成績評価は、個人だけでなく所属グループの活動状況（授業参加の意欲等）も観察評価を行います。最終試験は授業で取り上げた課題（マリオネット・ダブルタッチ・シナプソロジーなど）について各個人の振り返り記録と、グループメンバー間の相互評価をもとに実施します。							
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							40
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	講義 オリエンテーション（シラバス説明・グルーピング）	アイスブレイク
2)	実技 子どもの運動遊び再体験（1）鬼遊び・陣取り遊び グループでの準備運動づくり	
3)	実技 子どもの運動遊び再体験（2）陣取り遊び ダブルダッチへの挑戦	睡眠・食習慣と運動に関する 調査用紙（1週間）の配布
4)	実技 コーディネーショントレーニング（3）マリオネット 復習 マリオネットの練習	
5)	講義 生活リズムを整える意味（調査結果からみた問題点） 復習 マリオネットの練習、タグ・ラグビーのルール理解 課題 「自分の生活リズムの問題点と改善策」の作成・提出	調査結果の解説 タグ・ラグビーの紹介ビデオ
6)	実技 しっぽ取り遊びから競技スポーツ（タグ・ラグビー） 復習 マリオネット、タグ・ラグビーのルール	
7)	実技 タグ・ラグビーの基礎技術 身体操作（鬼ごっこ）+陣取り（タッチダウン）	
8)	実技 タグ・ラグビーのゲームと作戦 課題 チームの作戦づくり（一人一案を持ち寄る）	
9)	実技 老人向けのシナプソロジーを知る 自分が指導者になってできるように記録（メモ）をとりながら視聴する。	シナプソロジー紹介ビデオ
10)	講義 準備運動 シナプソロジー（メンバーは交代で指導者になる） タグ・ラグビーのリーグ戦 課題 チームの作戦づくり・練習計画案の作成	
11)	実技 準備運動（マリオネット・ダブルダッチ・シナプソロジー） タグ・ラグビーのリーグ戦 課題 チームの作戦づくり・練習計画案の作成	
12)	実技 準備運動（マリオネット・ダブルダッチ・シナプソロジー） タグ・ラグビーのリーグ戦 課題 チームの作戦づくり・練習計画案の作成	
13)	実技 準備運動（マリオネット・ダブルダッチ・シナプソロジー）、チームの達成 度調べ（マリオネット・ダブルダッチ・シナプソロジー）、タグ・ラグビーのリー グ戦 課題 チームの作戦づくり・練習計画案の作成	
14)	講義 準備運動（マリオネット・ダブルダッチ・シナプソロジー） タグ・ラグビーのリーグ戦	
15)	実技 準備運動（マリオネット・ダブルダッチ・シナプソロジー）、 チーム・個人の達成度調べ（マリオネット・ダブルダッチ・シナプソロジー） ）、タグ・ラグビーのゲーム	
授業外学習		
グループノートの記入；活動と反省事項 調査（1週間）の実施 ゲーム作戦図の作成		生活
テキスト、参考書、教材		関連する科目
実技・講義ともにプリント資料の配布ならびにビデオ教材の視 聴を用いて実施する。		

課題に対するフィードバック

課題「自分の生活リズムの問題点と改善策」については、コメントをつけて返却する。

備考

講義・実技の日程は、天候上の理由で変更する場合がある。
実施場所変更の場合は、掲示板にて通知する。

科目名	エッセンシャルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格	養護教諭	

授業概要

日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を修得する。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を育成する。また、この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEICの450点を、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1202

- 1 異文化を理解し、英語でコミュニケーションを図ることが出来る。
- 2 TOEICテスト(公開テストまたはIP)で550点以上のスコアをとる力を身に付ける。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) TOEICの特徴についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 TOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前学期中に英語で口頭発表をしてもらう。
2) リスニング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 会話文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 説明文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 発表とディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) リーディング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 間違い指摘問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Seize the core of the TOEIC TEST』安丸雅子他著 金星堂	アドバンストイングリッシュ

課題に対するフィードバック

提出された各課題はそれぞれ点数化し、総評を授業内で公表する。その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	エッセンシャルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	唐下 笑美子	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

総合的な英語運用能力の育成に焦点を当てた授業を展開する。その方法として、色々なタスクを通し、1)英文読解、2)英文法、3)リスニング、4)スピーキング、5)ライティングの指導を行う。
この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで450点、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。

到達目標

ナンバリング(B1202)

- ・ TOEIC (Listening & Reading)テスト(公開又はIP)で450点以上のスコアをとる力を身に付けることができる。
- ・ 読解力を向上させることができる。
- ・ コミュニケーション能力を向上させることができる。

成績評価方法

定期試験(中間・期末) -----60%
小テスト・授業内レポート-----20%
宿題-----20%
で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) unit 1 Cross-Cultural Understanding [予習] 教科書p.3を日本語に訳すpp.4~5を解答しておく。(60分)	英語で自己紹介
2) unit 2 Foods [予習] 教科書pp.7,8を日本語に訳しておくpp.9,10を解答しておく(60分) [復習] 教科書pp.4,5を復習しておく。(30分)	ディクテーション
3) Unit 3 Foreign Language Learning [予習] 教科書 pp.12~13の問題に解答しておく(60分) [復習] 教科書 pp.9~10を読んで動詞について理解しておく(30分)	リスニングと作文
4) Unit 4 Sports [予習] 教科書p.18の日本語訳とp.19のReading Focusを読んでおく(60分) [復習] 教科書p.14を読んで動詞の目的語について学ぶ(30分)	pair work
5) unit 5 Fashion [予習] 教科書p.23の日本語訳とp.24のReading Focusを読んでおく。(60分) [復習] 教科書p.19を読んで補語について学ぶ。(30分)	小テスト(1)
6) Unit 6 Living Things [予習] 教科書 pp.27,28の日本語訳をしておく。(60分) [復習] 教科書 pp.24,25 を読んで代名詞についての理解を深める(30分)	ディクテーション
7) Unit 7 Art [予習] 教科書 p.32 の Practice を読み,p.33の日本語訳をしておく(60分) [復習] pp.29,30を読んで不定詞を理解しておく。(30分)	ディクテーション、コンポジション
8) Mid-Term Exam (中間テスト) [復習] これまでに学んだことをすべて復習しておく。	これまでに学んだことを自主的に復習する。
9) Unit 8 Global Issues [予習] 教科書 p.39の日本語訳とp.39のReading Focusを読んでおく。(60分) [復習] 動名詞と不定詞の働きを理解する。(30分)	会話の練習、作文
10) Unit 9 Japanese Culture [予習] 教科書 p.43 のエッセイを日本語に訳しておく。P.42の Practice(60分) [復習] 強弱のリズムと受動態を復習する(30分)	ディクテーション
11) Unit 10 Human Rights [予習] 教科書 pp.48を日本語に訳しておくReading Focusを読む(60分) [復習] 比較を理解する(30分)	宿題(2)
12) Unit 11 Health & Medical Issues [予習] 教科書 p.53の日本語訳, p.54のReading Focusを読んでおく(60分) [復習] Iでつながる語句を聞き取る。(30分)	50-word composition
13) Unit 12 Environmental Issues [予習] 教科書 p.58の日本語訳とReading Focus を読んでおく。(60分) [復習] 接続詞について復習しておく(30分)	小テスト(2)
14) Unit 13 Economy & Industry [予習] 教科書 p.63 の日本語訳とp.64 の Reading Focus を読んでおく。(60分) [復習] 対比による強調と並列を復習しておく。(30分)	pair work
15) Unit 14 Legal Issues [予習] 教科書p.68の日本語訳とp.69のReading Focusを読んでおく。 [復習] 教科書p.64のReading Focusを読み、並列について学ぶ。	ディクテーション
授業外学習	
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す予習および復習をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：AMBITION 熊沢孝昭 静 哲人 望月正道 [2018年]金星堂 参考書：『総合英語 Forest第7版』. 石黒昭博（監）， 桐原書店	アドバンストイングリッシュ ライセンスイングリッシュ

課題に対するフィードバック

宿題および小テストは翌週コメントをつけ返す。

備考

TOEIC (Listening & Reading)テスト(公開又はIP)を受験し、規定のスコアに達すれば単位を認定する。

科目名	アドバンストイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格	養護教諭	

授業概要

少子高齢化社会、環境問題、介護問題等グローバルな問題に関する英文を読み、自分の考えや意見をレポートにまとめる方を修得する。さらに、この講義においては、作成したレポートをもとにしてプレゼンテーションを行い、より高度で、実践的なコミュニケーション能力を育成する。この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEICの500点を、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

- B1203
 1 TOEICテスト(公開テストまたはIP)で600点以上のスコアをとることができる。
 2 異文化を理解し、英語でコミュニケーションを図ることができる。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) TOEICの特徴についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期間中にレポートを提出してもらおう。
2) リスニング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 写真を用いた問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 応答文選択問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 会話文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 説明文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 発表とディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) リーディング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 間違い指摘問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『Lighting Up the TOEIC TEST』植木美千子他著 金星堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。	

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	アドバンストイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	唐下 笑美子	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

現代社会に関する情報を取り扱った英文を取り上げ、総合的な英語力を身に付けさせる授業を展開する。
 その方法として：パラグラフ・リーディングの練習を行う。内容を把握する練習を行う。リスニングの練習を行う。
 英作文の練習を行う。
 この講義は学生の英語レベルにより初級、上級クラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで500点、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

ナンバリング(B1203)

- ・ TOEIC(Listening & Reading)テストで500点以上のスコアをとる英語力を身に付けることができる。
- ・ 英語の読解力を向上させることができる。
- ・ 書く力を向上させることができる。
- ・ 聞く力を向上させることができる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----60%
 小テスト・授業内レポート----20%
 宿題-----20%
 で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) Lesson 1 Communication [予習] 教科書pp.3~5を読んでおく(60分)	pp.4~5の和訳をする。ペア で会話を覚える。
2) Lesson 2 Friendship [予習] 教科書pp.11~13まで日本語訳をしておく(60分) [復習] 教科書p.7を復習しておく。(30分)	p.11の会話とpp.12~13の日本語訳
3) Lesson 3 Health [予習] 教科書pp.19から23まで日本語訳をしておく(60分) [復習] 教科書pp.15,16を復習しておく。(30分)	p.19の会話とpp.20~21の日本語訳
4) Lesson 4 Environment [予習] 教科書pp.27~29まで日本語訳をしておく。(60分) [復習] 教科書p.23,24を復習しておく(30分)	p.27の会話とpp.26,27の日本語訳
5) Lesson 5 Fashion [予習] 教科書pp.35~37まで日本語訳をしておく(60分) [復習] 教科書pp.31,32を復習しておく。(30分)	p.35の会話とp.36,37の日本語訳
6) Lesson 6 Food [予習] 教科書pp.43~45まで日本語訳をしておく(60分) [復習] 教科書pp.39,40を復習しておく。(30分)	p.45の会話p.44,p45の日本語訳
7) Lesson 7 Science & Technology [予習] 教科書pp.51~53までを日本語訳しておく(60分) [復習] 教科書pp.47,48を復習しておく。(30分)	p.51の会話 p.52,53の日本語訳
8) Lesson 8 Study Abroad [予習] 教科書pp.59~61までを日本語に訳す(60分) [復習] 教科書pp.55~57を復習しておく(30分)	p.59の会話 p.60,61の日本語訳 ディクテーション
9) Lesson 9 College Life in the U.S. [予習] 教科書pp.67~69までを日本語に訳す(60分) [復習] 教科書pp.63,64を復習しておく。(30分)	p.67の会話 p.68,69の日本語訳
10) Lesson 10 Steve Jobs [予習] 教科書pp.75~77までを日本語に訳す(60分) [復習] 教科書pp.71,72を復習しておく。(30分)	p.75の会話、p.76,77の日本語訳
11) Lesson 11 Volunteer Work [予習] 教科書pp.83~85まで日本語訳をしておく。(60分) [復習] 教科書pp.79,80を復習しておく。(30分)	p.88の Paragraph・ライティング p.83の会話p.84,85の日本語訳
12) Lesson 12 Internship [予習] 教科書pp.91~93まで日本語訳をしておく。(60分) [復習] 教科書p.87,88を復習しておく。(30分)	小テスト(2)
13) Lesson 13 Travel [予習] 教科書pp.99~101まで日本語訳をしておく。(60分) [復習] 教科書pp.95,96を復習しておく。(30分)	p.99の会話p.100,p.101の日本語訳をしておく。
14) Lesson 14 Culture [予習] 教科書pp.107~109まで日本語訳をしておく。(60分) [復習] 教科書pp.103~104まで復習しておく。(30分)	p.115の会話p.116,117の日本語訳をしておく。
15) Lesson 15 An International World [予習] 教科書pp.115~117まで復習しておく。(60分) [復習] 教科書pp.111,112を復習しておく。(30分)	これまでの重要ポイントの復習をする。
授業外学習	
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す練習問題に解答しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト Journeys: Communication for the Future 2017年 阿野幸一、上田倫史、豊島正貴、Karen Haedrich 朝日出版社	

課題に対するフィードバック

宿題および小テストは翌週コメントをつけ返す。

備考

TOEIC TEST (Listening & Reading) を受験し、規定のスコアに達すれば、単位を認定する。

科目名	オーラルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	ドワード N. ナットン	関連する資格		

授業概要

日常的なコミュニケーションの場においては、リスニングの力が重要な役割を果たしている。ビデオやテープ等の視聴覚資料等の活用により、英語の音に興味を持たせ、リスニング力の向上を図り、英語による発話意欲を刺激する。リスニング力と発話意欲を向上させることにより、コミュニケーションを円滑にしていく能力を育成する。具体的には、オフィスや地域社会及び海外旅行等に必要とされる英会話力を身に付けさせる。さらに、海外からの旅行者に英語を用いた口頭による日本文化や生活習慣の説明、観光案内を行う発信型の英会話力を身に付けさせる。

到達目標

ナンバリング(B1204)

- 知識・理解の観点（具体的に説明できる。）
- 思考・判断の観点（内容を要約できる。）
- 関心・意欲の観点（考えを表現する。）
- 態度・価値観の観点（討議に参加できる。）
- 技能・表現の観点（相手に反応できる）

成績評価方法

STUDENTS ATTENDING THIS COURSE WILL BE EVALUATED ACCORDING TO THEIR CLASS PARTICIPATION, ATTENDANCE AND TEST RESULTS.
〔授業態度・出席と試験結果に従って評価する。〕

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ORIENTATION AND SELF-INTRODUCTIONS. [オリエンテーションと自己紹介] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	CLASS OUTLINE AND PAIR WORK.
2) GREETINGS. [挨拶] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
3) WHERE ARE YOU FROM? [どこから来ましたか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
4) WHAT TIME IS IT? [何時ですか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
5) WHAT'S YOUR JOB? [あなたの仕事は何ですか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
6) RENTING A FLAT. [アパートを借りる] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
7) SHOPPING. [買い物] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
8) CAN YOU HELP ME? [手伝ってもらえますか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
9) AN AMERICAN RESTAURANT. [アメリカンレストラン] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
10) AT CUSTOMS. [税関で] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
11) MEDICAL PROBLEMS. [医療の問題] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
12) TALKING ABOUT THE FAMILY. [家族について話す] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
13) WHAT CAN YOU DO? [何ができますか] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
14) HOLIDAYS. [休日] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
15) AT THE POST OFFICE. [郵便局で] 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M)【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE. (30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
授業外学習	
授業の予習復習をする。授業前に分からない単語を調べてくる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
STUDENTS WILL BE PROVIDED WITH HANDOUTS TO COVER ALL PLANNED TEACHING ACTIVITIES. STUDENTS ARE ASKED TO ENSURE THEY BRING ENGLISH /JAPANESE AND JAPANESE / ENGLISH DICTONARIES TO CLASS. [学生はすべての計画された指導活動を学習するために教材（印刷物）を配布される。授業に英和・和英辞典を必ず持参することを求める。]	

課題に対するフィードバック

翌週の授業で質問応答。

備考

科目名	メディカルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

看護師が言語を異にする患者及び医師とコミュニケーションを図るために必要な基礎的英語力を育成する。その方策として、患者への動作の指示や介助、説明に不可欠な用語及び表現を身につける。さらに、医療器具、体の部位、痛み等に対する英語を身に付け、患者及び医師への対応に必要なとされる英語の知識を深める。

到達目標

B2201

- 1 言語を異にする患者及び医師とコミュニケーションを図ることが出来る。
- 2 基礎的な医療関連の英文を理解する能力を身に付ける。
- 3 外国における医療・看護への関心が高まる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護関係の英語の特徴について テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 国際医療に占める英語の位置 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 英語関連の資格試験 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 病院における英語の使い方についての説明 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 英語による患者とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 英語による医師とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 英語による同僚とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 英語による患者の家族とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9) 状況別の英語の使い方についての説明 1 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10) 状況別の英語の使い方についての説明 2 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11) 状況別の英語の使い方についての説明 3 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12) 状況別の英語の使い方についての説明 4 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13) 状況別の英語の使い方についての説明 5 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14) 状況別の英語の使い方についての説明 6 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15) 総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『First Aid: English for Nursing』樋口晶彦 John Tremarco著、金星堂 毎回プリント類を配布する 参考書：『現場ですぐに役立つ! 看護・医療スタッフの英語』山中マーガレット著、2008年、朝日出版社	スペシフィックイングリッシュ

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	メディカルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	唐下 笑美子	関連する資格		

授業概要

看護師が言語を異にする患者及びドクターとコミュニケーションを図るために必要な基礎的英語力を育成する。
その方法として： 患者への動作の指示、介助、説明に不可欠な英語の語彙及び表現を身に付けさせる。 医療器具、体の部位、痛み等に対する英語を身に付けさせる。さらに、 英語を使うドクターの指示、患者の要求を聞き取るためのリスニングの練習を行う。

到達目標

ナンバリング(B2201)

- ・基礎的な医療関連の英文を理解することができる。
- ・言語を異にする患者やドクターと英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
- ・英語の語彙を拡大することができる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----60%
小テスト、授業内レポート-----20%
宿題-----20%
で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) Unit 1 Getting to know the Patients 1 【予習】教科書pp.3～5の問題に解答しておく。(60分)	pair work Conversation
2) unit 2 Getting to know the Patients 2 【予習】教科書pp.9～13の問題に解答しておく(60分) 【復習】患者の症状、文法、音の連結を復習しておく(30分)	会話、イントネーションの練習
3) Unit 3 Getting to know the Patients 3 【予習】教科書pp.15～17の問題に解答しておく。(60分) 【復習】 外科症状、患者の外科症状を知る、文法の復習(60分)	pair work Conversation
4) unit 4 Getting to know the Patients 4 【予習】教科書pp.21～25の問題に解答しておく。(60分) 【復習】皮膚の症状、お願いの仕方、文法について復習(30分)	Language Practice
5) unit 5 Examination 1 【予習】教科書pp.27～29の問題に解答しておく。 【復習】患者の生活習慣、時間表現、文法について復習(30分)	会話、発音の練習
6) Unit 6 Examination 2 {予習}教科書pp.33～35の問題に解答しておく(60分) 【復習】基礎検査、文法について復習(30)	pair work Conversation
7) Unit 7 Instructing Medication 【予習】教科書pp.39～41までの問題に解答しておく。(60分) 【復習】精密検査、同意を得る会話、文法について復習(30分)	pair work Conversation
8) 中間テスト	これまでに学んだことを自主的に復習する。
9) Unit 8 Treating the Patients 1 【予習】教科書pp.45～47の問題に解答しておく(60分) 【復習】処方薬、服用法の説明、文法について復習(30分)	pair work Conversation
10) Unit 9 Treating the Patient 2 【予習】教科書pp.52～54の問題に解答しておく。(60分) 【復習】治療、回復に向かう患者、文法の復習(30)	pair work Conversation
11) Unit 10 Treating the Patients 3 【予習】教科書pp.58～60の問題に解答しておく(60分) 【復習】治療、患者の心情を理解する、文法の復習(30分)	50-word composition
12) Unit 11 Operation 【予習】教科書pp.64～66の問題に解答しておく(60分) 【復習】治療、次回の予約、文法の復習(30分)	pair work Conversation
13) Unit 12 Pregnancy 【予習】教科書pp.70～72迄の問題に解答しておく(60分) 【復習】手術、手術を受ける患者、文法の復習(30分)	宿題 composition
14) Unit 13 In the Hospital 【予習】教科書pp.76～78の問題に解答しておく(60) 【復習】出産、妊婦の不安を取り除く、文法の復習(60分)	宿題のプレゼンテーション
15) Unit 14 Emergencies 【予習】教科書pp.83～85迄の問題に解答しておく(60分) 【復習】専門医、病院内を案内する、文法の復習(30分)	pair work Conversation
授業外学習	
<p>「授業計画と概要」に示す予習および復習をしておくこと。 配布する資料の指定部分について、毎回、出席確認を兼ねた小テストを実施するので、この部分の予習もしておくこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：実践看護英語 浜田真由美、竹林修一 2014年 英宝社 参考書：『現場ですぐに役立つ！看護・医療スタッフの英語』 ・山中マーガレット， 2017，朝日出版社</p>	<p>スペシフィックイングリッシュ</p>

課題に対するフィードバック

備考

科目名	ライセンスイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

自学自習を通し、公的資格にチャレンジし、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

B1205

- 1 国際コミュニケーション協会が実施する「TOEIC（公開またはIP）試験」で450点以上のスコアを取ることができる。
- 2 財団法人日本英語検定協会が実施する「実用英語検定試験」で2級以上の公的資格を取ることができる。

成績評価方法

合格基準に達し、単位認定を希望する学生は、本学が指定する単位認定申込書に必要事項を記入し、合格証あるいは得点票を添えて、担当教員に提出する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (TOEICや実用英語検定試験等の受験に必要な学習内容を以下列挙する) 動詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
2) 前置詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
3) 文法(1) ...関係代名詞及び関係副詞を学ぶ。	
4) 文法(2) ...英語の時制を学ぶ。	
5) 文法(3) ...仮定法を学ぶ。	
6) 文法(4) ...分詞構文を学ぶ。	
7) リスニング(1) ...写真を見て、正しい説明を聞き取る練習をする。	
8) リスニング(2) ...対話を聞き、正しい応答を学ぶ。	
9) リスニング(3) ...説明文を聞き、内容を把握する。	
10) 英文読解(1) ...ボトムアップ方式で英文を把握する。	
11) 英文読解(2) ...速読直解の練習をする。	
12) 英文読解(3) ...スキミングの練習をする。	
13) 英文読解(4) ...スキミングの練習をする。	
14) TOEICテストの模擬練習をする。	
15) 実用英語検定2級の模擬練習をする。	
授業外学習	
TOEICや実用英語検定試験等を受験する際、問題傾向に十分に慣れておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：本学の図書館にTOEICテストおよび実用英語検定試験受験のための説明書や問題集を多数取り揃えています。活用してください。	エッセンシャルイングリッシュ アドバンスイングリッシュ オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

備考

補習指導を行うので、申し出ること。

科目名	ライセンスイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

自学自習を通し、公的資格にチャレンジし、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

B1205

- 1 国際コミュニケーション協会が実施する「TOEIC（公開またはIP）試験」で450点以上のスコアを取ることができる。
- 2 財団法人日本英語検定協会が実施する「実用英語検定試験」で2級以上の公的資格を取ることができる。

成績評価方法

合格基準に達し、単位認定を希望する学生は、本学が指定する単位認定申込書に必要事項を記入し、合格証あるいは得点票を添えて、担当教員に提出する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) (TOEICや実用英語検定試験等の受験に必要な学習内容を以下列挙する) 動詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
2) 前置詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
3) 文法(1) ...関係代名詞及び関係副詞を学ぶ。	
4) 文法(2) ...英語の時制を学ぶ。	
5) 文法(3) ...仮定法を学ぶ。	
6) 文法(4) ...分詞構文を学ぶ。	
7) リスニング(1) ...写真を見て、正しい説明を聞き取る練習をする。	
8) リスニング(2) ...対話を聞き、正しい応答を学ぶ。	
9) リスニング(3) ...説明文を聞き、内容を把握する。	
10) 英文読解(1) ...ボトムアップ方式で英文を把握する。	
11) 英文読解(2) ...速読直解の練習をする。	
12) 英文読解(3) ...スキミングの練習をする。	
13) 英文読解(4) ...スキミングの練習をする。	
14) TOEICテストの模擬練習をする。	
15) 実用英語検定2級の模擬練習をする。	
授業外学習	
TOEICや実用英語検定試験等を受験する際、問題傾向に十分に慣れておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：本学の図書館にTOEICテストおよび実用英語検定試験受験のための説明書や問題集を多数取り揃えています。活用してください。	エッセンシャルイングリッシュ アドバンスイングリッシュ オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

備考

補習指導を行うので、申し出ること。

科目名	海外英語研修						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	1年	前期			
担当者名	内海 俊祐		関連する資格				
授業概要 海外での研修や旅行あるいはインターンシップで必要とされる英語によるコミュニケーション能力を育成するために、夏季および春季の海外英語研修を実施する。研修先のセンターでは、英語母語者から週8時間以上の語学指導を受け、さらに、現地の文化および社会をよりよく知るために、スポーツへの参加、自然環境の視察およびフィールドトリップを行う。また、以上の内容の研修が円滑に行われるために、海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。							
到達目標 B1206 1 異文化および自文化を理解することが出来る。 2 英語による実践的コミュニケーション能力を身に付ける。 3 異文化との共生への関心が高まる。			成績評価方法 事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)(実習)	アクティブラーニング
<p>海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。事前指導の内容は下記の通りである。</p> <p>1) 日本語と英語の比較</p> <p>2) 日本文化と欧米の比較</p> <p>3) 異文化体験の意義</p> <p>4) 海外から日本にEメールを送る</p> <p>5) 欧米事情</p> <p>6) 環境関連の英語</p> <p>7) 福祉関連の英語</p> <p>8) 9) 日本文化紹介のための英語 (日本人と閉鎖性/日本人と国際化/日本の特徴/日本についての情報の伝え方)</p> <p>10) 11) 12) 13) 海外生活のための英語 (日常会話の慣用表現/英会話のスピード/生活習慣の差異/状況別の英語表現/英会話の注意点/英語のまま理解することについて)</p> <p>14) まとめとディスカッション</p> <p>15) 総括</p> <p>ガイダンスに臨む場合は時間をかけて各自準備をし、ガイダンス後は内容を振り返る時間を取ること。</p>	<p>グループワーク</p>
授業外学習	
<p>渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>毎回プリント類を配布する 参考書：『日本を語る』、日鉄ヒューマンデベロプメント著、1995年、アルク</p>	<p>オーラルイングリッシュ</p>

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を個別に伝える。

備考

この授業の単位は海外研修への参加を要件とする。

科目名	海外英語研修						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	1年	後期			
担当者名	内海 俊祐		関連する資格				
授業概要 海外での研修や旅行あるいはインターンシップで必要とされる英語によるコミュニケーション能力を育成するために、夏季および春季の海外英語研修を実施する。研修先のセンターでは、英語母語者から週8時間以上の語学指導を受け、さらに、現地の文化および社会をよりよく知るために、スポーツへの参加、自然環境の視察およびフィールドトリップを行う。また、以上の内容の研修が円滑に行われるために、海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。							
到達目標 B1206 1 異文化および自文化を理解することが出来る。 2 英語による実践的コミュニケーション能力を身に付ける。 3 異文化との共生への関心が高まる。			成績評価方法 事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)(実習)	アクティブラーニング
<p>海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。事前指導の内容は下記の通りである。</p> <p>1) 日本語と英語の比較</p> <p>2) 日本文化と欧米の比較</p> <p>3) 異文化体験の意義</p> <p>4) 海外から日本にEメールを送る</p> <p>5) 欧米事情</p> <p>6) 環境関連の英語</p> <p>7) 福祉関連の英語</p> <p>8) 9) 日本文化紹介のための英語 (日本人と閉鎖性/日本人と国際化/日本の特徴/日本についての情報の伝え方)</p> <p>10) 11) 12) 13) 海外生活のための英語 (日常会話の慣用表現/英会話のスピード/生活習慣の差異/状況別の英語表現/英会話の注意点/英語のまま理解することについて)</p> <p>14) まとめとディスカッション</p> <p>15) 総括</p> <p>ガイダンスに臨む場合は時間をかけて各自準備をし、ガイダンス後は内容を振り返る時間を取る。</p>	<p>グループワーク</p>
授業外学習	
<p>渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>毎回プリント類を配布する 参考書：『日本を語る』、日鉄ヒューマンデベロプメント著、1995年、アルク</p>	<p>オーラルイングリッシュ</p>

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を個別に伝える。

備考

この授業の単位は海外研修への参加を要件とする。

科目名	スペシフィックイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	4年	後期
担当者名	未定	関連する資格		

授業概要

具体的な看護の事例研究を題材に取り上げ、看護に関する英文読解および英作文の力を身に付けさせる。
その方法として：「情報収集」「アセスメント」「計画立案」「実施」「評価」という一連の看護過程を英語で読む。「患者プロフィール」や「看護計画」を英語で書く練習をする。レポートや論文のアブストラクトを英語で読み、論文の構成について指導する。

到達目標

ナンバリング(B3201)

- ・看護に関するボキャブラリーを拡大することができる。
- ・読解力を向上させることができる。
- ・「患者プロフィール」や「看護計画」等を英語で書くことができる。
- ・英語のレポートや論文の構成を理解することができる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----60%
小テスト、授業内レポート-----20%
宿題、授業外レポート-----20%
で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) Unit 1 Risk for Injury: How to Maintain Safety [予習] 教科書 p.3の問題に解答しておく(60分)	テキストの「大意把握」に取り組む。
2) Unit 2 Self-care Deficit: How to Practice Bathing and Hygiene [予習] 教科書 p.9の問題に解答しておく(60分) [復習] 運動機能障害に関する看護計画を復習しておく(30分)	宿題(1)
3) Unit 3 Respiratory Disorders: How to Relieve Respiratory Distress [予習] 教科書 p.15の問題に解答しておく(60分) [復習] 入浴・清潔行動計画に関する看護計画を復習しておく(30分)	50-word composition
4) Unit 4 Fluid Volume Deficit: How to Maintain Fluid Balance [予習] 教科書 p.21の問題に解答しておく(60分) [復習] 気管支喘息による呼吸障害に関する看護計画を復習しておく(30分)	小テスト(1)
5) 「患者プロフィール」を英語で書く練習を行う。 [予習] 教科書 p.31、p.33の単語の意味を調べておく(60分) [復習] 下痢等による体液量不足に関する看護計画を復習しておく(30分)	患者に関する「主観的情報」を考える。
6) Unit 5 Insomnia: How to Promote Rest and Sleep [予習] 教科書 p.27の問題に解答しておく(60分) [復習] 前回の「患者プロフィール」の復習をしておく(30分)	患者に関する「客観的情報」を考える。
7) Unit 7 Healthy Dietary Practice: How to Gain Adequate Weight [予習] 教科書 p.39の問題に解答しておく(60分) [復習] 不眠に関する看護計画を復習しておく(30分)	グループワーク
8) Mid-term Exam (中間テスト) [復習] これまでに学んだことをすべて復習しておく	これまでに学んだことを自主的に復習する。
9) Unit 11 Impaired Skin Integrity: How to Manage Burn Care [予習] 教科書 p.63の問題に解答しておく(60分) [復習] 摂食障害に関する看護計画を復習しておく(30分)	新単語および表現のリストを作成する。
10) 「看護計画」を英語で各練習を行う。 [予習] 教科書 p.43、p.47の尿閉に関する単語の意味を調べておく(60分) [復習] 熱傷による皮膚統合性障害に関する看護計画を復習しておく(30分)	50-word composition
11) Unit 12 Visual Alterations: How to Adjust to Visual Disorder [予習] 教科書 p.69の問題に解答しておく(60分) [復習] 尿閉に関する看護計画の復習をしておく(30分)	宿題(2)
12) レポート、論文のアブストラクトを英語で読む。 [予習] 糖尿病に関する配布資料を読んでおく(60分) [復習] 白内障による視力低下に関する看護計画を復習しえおく(30分)	グループワーク
13) 資料を用い、レポート、論文の構成について指導する。 [予習] HIV患者の看護を担当する看護師の論文を読んでおく(60分) [復習] 糖尿病に関する論文のアブストラクトを復習しておく(30分)	小テスト(2)
14) Unit 13 Surgical Client: How to Cope with Anxiety [予習] 教科書 p.75の問題に解答しておく(60分) [復習] HIV患者の看護に当たる看護師の論文の復習をしておく(30分)	授業内レポート
15) Unit 15 Lifestyle-related Diseases: How to Encourage Health-seeking Behaviors [予習] 教科書 p.87の問題に解答しておく(60分) [復習] 手術前後の不安・心配に関する看護計画を復習しておく(30分)	50-word composition
授業外学習	
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す各Unitの英文の概要を把握しておくこと。また、配布される資料の内容を次回の授業までに予習しておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：Nursing Case Studies. Yoshihito Sugita, Richard R. Caraker, 2016, 成美堂 参考書：『現場ですぐに役立つ！看護・医療スタッフの英語』. 山中マーガレット, 2017, 朝日出版社 『看護の現場ですぐ役立つ看護研究のポイント』. 大口祐矢, 2017, 秀和システム	メディカルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

宿題および小テストは翌週コメントをつけて返す。

備考

科目名	中国語の基本						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2年	前期			
担当者名	佟 軍		関連する資格				
授業概要 中国語の発音すなわち、ピンイン文字（中国語表音ローマ字）で表記された発音を習得することに力を注ぐ。本講義では最初に、自分で作ったピンイン発音ソフトを併用し、声調（四声）、単母音、子音、複合母音及び鼻母音の発音を学習し、グループ学習などを通して中国語の発音基礎能力を身に付けさせる。ついで、テキストの会話短文及び単語の発音の習熟を目指す。並行して基礎的文法も学ぶ。							
到達目標 B2202 中国語の発音基礎となるピンインを習得し、正しく発音することができる。 具体例で基本的な文法についての説明できる。 極簡単な日常会話ができる。			成績評価方法 定期試験、小テスト、授業への意欲・態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							35
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							15
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 1) ガイダンス：授業概要	
2) ピンインの発音：単母音、二重母音、三重母音 【予習】配布プリントP1～P2(15分)【復習】ピンインの発音練習(30分)	
3) ピンインの発音：鼻母音 【予習】配布プリントP1～P2(15分)【復習】ピンインの発音練習(30分)	
4) ピンインの発音：子音 【予習】配布プリントP2～P3(15分)【復習】ピンインの発音練習(30分)	
5) ピンインの発音：声調 【予習】配布プリントP1～P3(15分)【復習】ピンインの発音練習(30分)	第1回小テスト
6) 第1課：本文「?是中国人??」 【予習】教科書P13～P14(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
7) 第1課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P15～P16(15分)【復習】トレーニング1の完成(30分)	グループワーク
8) 第2課：本文「?是什??」 【予習】教科書P17～P18(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
9) 第2課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P19～P20(15分)【復習】トレーニング2の完成(30分)	グループワーク
10) 第3課：本文「?去?儿?」 【予習】教科書P21～P22(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
11) 第3課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P23～P24(15分)【復習】トレーニング3の完成(30分)	第2回小テスト
12) 第4課：本文「?个包多少??」 【予習】教科書P25～P26(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
13) 第4課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P27～P28(15分)【復習】トレーニング4の完成(30分)	グループワーク
14) 第5課：本文「??上有事??」 【予習】教科書P29～P30(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)	
15) 第5課の文法及び各種のトレーニング 【予習】教科書P31～P32(15分)【復習】トレーニング5の完成(30分)	第3回小テスト
授業外学習	
授業内容について復習、本文と単語の発音を繰り返し練習すること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書： 『中国語 はじめの一步 最新2訂版』尹景春・竹島毅著、 2013年、白水社、2,200円 参考書： 『よくわかる中国語入門』三野昭一著、2004年、同学社、 1,985円	中国語の応用

課題に対するフィードバック

小テストペーパーは翌週添削をつけて返す

備考

科目名	中国語の応用			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	柊 軍	関連する資格		

授業概要

中国語の基本で学習したことに引き続いて、活用度の高いテキストの会話短文を学習するとともに中国語発音の基礎とするピンインの能力を高める。また、基礎的文法を学び、繰り返し発音練習、各種のトレーニング及びグループ学習などを通して、「読む・書く・聞く・話す」四つの能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、簡単な日常会話ができる語学力を習得させる。

到達目標

B2203

繰り返し発音練習により中国語を正しく発音することができる
中国語の文法基礎および語彙力をアップすることができる。
中国語基礎能力を習得し、簡単な自己紹介できるようになる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、授業への意欲・態度

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート							35	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							15	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 第6課：本文「?吃?了??」 【予習】教科書P33～P34(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)		
2) 第6課の各種のトレーニング 【予習】教科書P35～P36(15分)【復習】トレーニング6の完成(30分)		グループワーク
3) 第7課：本文「?家有几口人?」 【予習】教科書P37～P38(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)		
4) 第7課の各種のトレーニング 【予習】教科書P39～P40(15分)【復習】トレーニング7の完成(30分)		グループワーク
5) 第8課：本文「?从几点?始打工?」 【予習】教科書P41～P42(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)		
6) 第8課の各種のトレーニング 【予習】教科書P43～P44(15分)【復習】トレーニング8の完成(30分)		グループワーク
7) 第9課：本文「?去?美国??」 【予習】教科書P45～P46(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)		
8) 第9課の各種のトレーニング 【予習】教科書P47～P48(15分)【復習】トレーニング9の完成(30分)		第1回小テスト
9) 第10課：本文「?会唱歌??」 【予習】教科書P49～P50(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)		
10) 第10課の各種のトレーニング 【予習】教科書P51～P52(15分)【復習】トレーニング10の完成(30分)		グループワーク
11) 第11課：本文「?在干什??」 【予習】教科書P53～P54(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)		
12) 第11課の各種のトレーニング 【予習】教科書P55～P56(15分)【復習】トレーニング11の完成(30分)		グループワーク
13) 第12課：本文「祝?旅途愉快!」 【予習】教科書P57～P58(15分)【復習】テキストの発音練習(30分)		
14) 第12課の各種のトレーニング 【予習】教科書P59～P60(15分)【復習】トレーニング12の完成(30分)		グループワーク
15) 総括 【予習】第6課～第12課の単語・本文(60分)【復習】第6課～第12課の文法・トレーニング(90分)		第2回小テスト
授業外学習		
授業内容について復習、本文と単語の発音を繰り返し練習すること		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
教科書：『中国語 はじめの一步 最新2訂版』尹景春・竹島毅著、2013年、白水社、2,200円 参考書：『よくわかる中国語入門』三野昭一著、2004年、同学社、1,985円	中国語の基本	

課題に対するフィードバック

小テストペーパーは翌週添削をつけて返す

備考

科目名	情報処理の基礎						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	後期			
担当者名	柊 軍		関連する資格				
授業概要 高度情報社会をよりよく生きていくためには、コンピュータやインターネットについて、単に操作ができるというだけでは不十分であり、その本質・仕組みなどをよく認識し、活用していくことが大切である。本授業では、まず、情報、情報処理及び情報社会について説明し、デジタル情報表現の基礎となる二進法、コンピュータ内部の情報の表し方などを学習する。次には、コンピュータの構造と動作仕組み、コンピュータのハードウェア・ソフトウェア、プログラミング言語と情報処理手法（アルゴリズム）、コンピュータネットワークの基本概念などを取り扱う。最後に情報セキュリティについての対策、暗号化技術を説明する。							
到達目標 B1207 情報、情報処理についての基本概念・知識を習得できる コンピュータの全体像をつかみ、理解を深めることができる。 情報化社会について認識できる。 情報セキュリティの重要性・対策について学習できる。			成績評価方法 定期試験、小テスト、授業への意欲・態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) ガイダンス：授業概要	
2) 情報とは 【予習】情報の定義を調べる(30分)【復習】第1章内容(30分)	グループワーク
3) コンピュータと情報社会 【予習】プリントP4～P6(30分)【復習】第2章内容(30分)	グループワーク
4) アナログ情報とデジタル情報 【予習】プリントP7～P9(30分)【復習】第3章内容(30分)	グループワーク
5) 二進数の世界 【予習】プリントP10～P11(30分)【復習】第4章内容(30分)	小テスト
6) コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】プリントP12～P13(30分)【復習】情報の単位、情報の表し方(30分)	小テスト
7) コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】プリントP14～P15(30分)【復習】コード体系、整数と小数点の表現方法(30分)	小テスト
8) コンピュータのしくみ・特徴・種類 【予習】プリントP16～P17(30分)【復習】第6章内容(30分)	小テスト
9) コンピュータのハードウェアI 【予習】プリントP18～P20(30分)【復習】コンピュータの構成と機能、各装置の役割、CPUの役割と処理速度(30分)	小テスト
10) コンピュータのハードウェア 【予習】プリントP21～P23(30分)【復習】メモリの種類、メインメモリの役割、キャッシュメモリとVRAM(ビデオメモリ)(30分)	小テスト
11) コンピュータのハードウェア 【予習】プリントP24～P29(30分)【復習】入出力装置、入出力インターフェース(30分)	小テスト
12) コンピュータのハードウェア 【予習】プリントP30～P32(30分)【復習】ネットワーク機器(30分)	小テスト
13) コンピュータのソフトウェア 【予習】プリントP33～P35(30分)【復習】第8章内容(30分)	小テスト
14) プログラミング言語と言語処理システム 【予習】プリントP36～P39(30分)【復習】第9章内容(30分)	小テスト
15) 情報セキュリティ 【予習】プリントP40～P42(30分)【復習】第10章内容(30分)	小テスト
授業外学習	
授業の最後に、前回の授業内容について的小テストがあり、講義資料などを復習してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキストは使わない。プリントを配布する。 参考書：『教養・コンピュータ[第3版]』吉田敬一、共立出版、 『情報処理論』山本 恒 他、同文書院、 『情報処理概論』山下敬彦、共立出版</p>	情報処理演習

課題に対するフィードバック

小テストなどの共通な間違いについて授業で説明する

備考

科目名	情報処理演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1年	後期			
担当者名	鷹岡 亮		関連する資格	養護教諭一種免許状			
授業概要 健康情報管理の実践のための具体的技法を情報処理機器の活用を中心に学びます。その際、「対象者にメッセージを分かりやすく伝えられること」を目標に、コンピュータを中心とした情報機器を医療機関、地域において情報管理の道具として使いこなすだけでなく、コミュニケーションや学習の道具としても使える技能を習得します。具体的には、Powerpointを活用した自己紹介、絵本やイラスト等による医療情報の作成、教育・医療等データのExcelによる処理・加工・表示、そしてWordによる複数データの活用などを対象にして、毎回、手と頭をフル回転して頂く授業を目指します。							
到達目標 ナンバリング(B1208) ある対象を他者に分かりやすく工夫して説明することができること。 自己紹介や絵本課題を通して、パワーポイント(Powerpoint)の基本操作を習得できること。 成績表や医療データを処理する活動を通して、基本的な関数を中心としたエクセル(Excel)の基本操作を習得することができること。 レポート課題を通して、パワーポイントで図を作成し、エクセルでデータを分析・表現し、それらの図や表・グラフを活用してワード(Word)でレポートを書くことができること。			成績評価方法 毎回の授業時の課題作業や演習課題の作業点と最終テストにより総合的に判断する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							20
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							15
グループワーク							
演習							45
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) ・授業オリエンテーション(授業計画・授業評価) ・架空の勤務先を対象にして1分間自己紹介に挑戦してみよう。 【予習】シラバスを読む(15分)【復習】自己紹介ポイントを省察する(15分)	・自分を覚えてもらうための自己紹介の内容を考える。 ・自己紹介をプレゼンする。
2) ・Powerpointが何たるかを理解しよう。・Powerpointを活用して自己PRスライドを作成しよう。【予習】Powerpointで「できること」を調べてみる(15分) 【復習】自己PRスライドの修正点を考え具体化する(15分)	・自己PRの内容を考える。 ・自己PRを分かりやすく工夫してPowerpointで表現する。
3) ・電子絵本のストーリーを考えよう。・電子絵本で使えるようなPowerpointのスキルを身につけよう。【予習】Web上で電子絵本を調べて見てみる(15分) 【復習】電子絵本のストーリーを付加・修正する(30分)	・電子絵本のストーリーを考える。
4) ・Powerpointを活用して電子絵本を作成しよう(その1)。 【予習】電子絵本スライドのイメージを創っておく(15分) 【復習】次週すべき電子絵本スライドの作業を具体化する(30分)	・読者に響く言葉の使い方を考えてスライドで工夫して表現する。
5) ・Powerpointを活用して電子絵本を作成しよう(その2)。 【予習】Web上で創りたいスライドのスキルを調べておく(30分) 【復習】電子絵本の完成度をあげる(90分)	・アニメーション等を活用して電子絵本らしい表現を考える。
6) ・電子絵本展覧会を実施しよう。 【予習】電子絵本のアニメーションの付け方・誤字脱字等を確認して適宜修正しておく(30分)【復習】他者の電子絵本作成の良さをまとめておく(15分)	・他者評価を通してPowerpointのスキルを習得し、また伝わる表現を学ぶ。
7) ・Powerpointを活用したドリル問題(質問応答スライド)を作ろう。 【予習】Web上のドリル問題を調べておく(15分) 【復習】ドリル問題が作成できる場面や対象をまとめておく(15分)	・Powerpointの特徴を踏まえて質問応答の問題を考え、回答の表現方法を考える。
8) ・Excelの基本操作を理解しよう。・関数を使ってより簡単に数の合計を求めよう。 【予習】Powerpointで「できること」を調べてみる(15分)【復習】今日学んだ関数をWeb上で検索して使い方を復習する(15分)	・Excelを活用してこれまでの計算方法を改善する方法について考える。
9) ・鷹岡塾の実力テスト成績処理に挑戦しよう。 【予習】成績処理で必要となる機能を考える(15分) 【復習】今日学んだ関数をWeb上で検索して使い方を復習する(15分)	・Excelを活用してこれまでの計算方法を改善する方法について考える。
10) ・仲間へのアンケート調査に挑戦しよう。・Excelでグラフの書き方を理解しよう。 【予習】アンケート調査項目を5つ考えてくる(30分)【復習】グラフの書き方をWeb上で検索してその使い方を復習する(15分)	・Excelを活用してこれまで処理方法を改善する方法について考える。
11) ・Excelの関数を活用して課題を解決しよう(その1)。～IF関数を学ぼう～ 【予習】IF関数の使い方をWeb上で調べて理解してくる(15分) 【復習】IF関数を使用する例を3つWeb上で検索して理解する(30分)	・Excelを活用してこれまで処理方法を改善する方法について考える。
12) ・Excelの関数を活用して課題を解決しよう(その2)。～RANK関数や絶対参照を学ぼう～ 【予習】RANK関数の使い方をWeb上で調べて理解してくる(15分) 【復習】RANK関数を使用する例を3つWeb上で検索して理解する(30分)	・Excelを活用してこれまで処理方法を改善する方法について考える。
13) ・Excelの関数を活用して課題を解決しよう(その3)。～SUMIF関数を学ぼう～ 【予習】SUMIF関数の使い方をWeb上で調べて理解してくる(15分) 【復習】SUMIF関数を使用する例を3つWeb上で検索して理解する(30分)	・Excelを活用してこれまで処理方法を改善する方法について考える。
14) ・Excelの関数を活用して課題を解決しよう(その4)。～COUNTIF関数を学ぼう～ 【予習】COUNTIF関数の使い方をWeb上で調べて理解してくる(15分) 【復習】COUNTIF関数を使用する例を3つWeb上で検索して理解する(30分)	・Excelを活用してこれまで処理方法を改善する方法について考える。
15) ・Powerpoint, Excel, Wordを活用した課題に挑戦しよう。【予習】Powerpoint, Excel, Wordを活用したレポートの書き方をWeb上で調べて理解してくる(30分)【復習】課題回答で他者に分かりやすく理解してもらうポイントについまとめる(30分)	・課題の回答を読み手に分かりやすく伝えるためのWord等での表現方法を考える。
授業外学習	
授業時に授業外学習用の課題(課題解決や作品制作等)を提出する場合があります。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストや参考書は利用しません。必要に応じて、資料配布、Web情報を活用してもらいます。	インターネットの使い方

課題に対するフィードバック

予習課題については、疑問や分からないことを持って授業にのぞんでくれることを期待し、調べてきたこと・考えてきたこと、疑問や分からないことを授業のなかで適宜発表（ペア・グループでの発表含む）してもらおう。また、復習課題については、次の授業のはじめに前の授業の復習をする際に質問したり、改めて考えてもらおう。さらに、スキル習得の復習課題の際には、次の授業のはじめに対象スキルを利用した問題に取り組ませる。

備考

科目名	インターネットの使い方			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	未定	関連する資格		

授業概要

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、現代社会を生きる我々は、インターネットを利用した基本的な情報収集や情報発信の知識を必ず習得しておかなければならない。本演習では、情報セキュリティの系統的・運用的な課題を理解するとともに、情報リテラシー教育における情報倫理の課題を理解して、社会における一利用者として必要な、情報倫理を身につけることをねらいとする。

到達目標

ナンバリング(B2204)

受け身ではなく、積極的な態度で授業に参画し、教員採用試験で求められている「メディアと教育」分野の知識を修得する。

成績評価方法

課題レポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、グループ学習の役割分担等	
2) 情報化社会における情報管理（看護情報学の視点から）	
3) ICTと情報セキュリティについて1 -テーマ検討とキーワードの抽出-	
4) ICTと情報セキュリティについて2 -キーワードの簡易調査・中間報告-	
5) ICTと情報セキュリティについて3 -キーワードの詳細調査、テーマの理解-	
6) ICTと情報セキュリティについて4 -成果報告準備-	
7) ICTと情報セキュリティについて5 -成果報告-	
8) 情報社会とICTについて1 -テーマ検討とキーワードの抽出-	
9) 情報社会とICTについて2 -キーワードの簡易調査・中間報告-	
10) 情報社会とICTについて3 -キーワードの詳細調査、テーマの理解-	
11) 情報社会とICTについて4 -成果報告準備-	
12) 情報社会とICTについて5 -成果報告-	
13) インターネット技術 1 (情報検索)	
14) インターネット技術 2 (電子メール・ソーシャルメディア)	
15) 総括と課題作成	
授業外学習	
授業後、配布したプリントを読み直すこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリントを適宜配布	情報処理演習

課題に対するフィードバック

備考

科目名	人体の構造と機能						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	3	1年	通年(前期)			
担当者名	大草 知子		関連する資格	養護教諭			
授業概要 人体を構成している器官や臓器の構造と機能について学び、看護学の最も基礎となる知識を修得する。 構造と機能の知識を関連させて考える思考過程を養うために、「ホメオスタシス」という統一テーマのもとに、臓器系統間の関連や相互作用を理論的に学ぶ。 医師としての実務経験をもとに、人体の構造と機能について授業を行う。							
到達目標 B 1 2 1 0 1. 人体の構造、固体の構成を遺伝子レベルから器官系レベルまで理解する。 2. 人体の生理機能を解剖学と関連させて学ぶ。 3. 「ホメオスタシス」というテーマのもとに、生命現象、病態生理を理解する。			成績評価方法 定期試験 授業外レポート 授業態度・授業参加度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生理学とは、生理学に必要な化学の知識 【予習】教科書のCHAPTER 1、2を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 1、2
2) 人体の組織、皮膚と膜 【予習】教科書のCHAPTER 3、4、5を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 3、4
3) 骨の生理学 【予習】教科書のCHAPTER 6、7を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 5
4) 血液：血液の機能、成分、貧血 【予習】教科書のCHAPTER 14を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 6
5) 血液：止血・凝固、血液型、免疫 【予習】教科書のCHAPTER 14、17を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 6
6) 骨格筋：構造、機能 【予習】教科書のCHAPTER 8を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 7
7) 骨格筋：特性、エネルギー化学、神経支配 【予習】教科書のCHAPTER 8を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 7
8) 運動生理学 【予習】教科書のCHAPTER 8を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 8
9) 神経：概説、生理学 【予習】教科書のCHAPTER 9を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 9
10) 神経：末梢神経 【予習】教科書のCHAPTER 10、11を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 9
11) 神経：中枢神経 【予習】教科書のCHAPTER 10を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 9
12) 神経：脳波、反射、髄液 【予習】教科書のCHAPTER 10、11を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 9
13) 感覚：総論、体性感覚 【予習】教科書のCHAPTER 12を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 10
14) 感覚：内臓感覚、味覚 【予習】教科書のCHAPTER 12を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 10
15) 感覚：聴覚・平衡覚 【予習】教科書のCHAPTER 12を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 10
16) 感覚：視覚 【予習】教科書のCHAPTER 12を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 10
17) 総括	
18) 循環器：解剖 【予習】教科書のCHAPTER 15を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 11
19) 循環器：電気生理 【予習】教科書のCHAPTER 15を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 11
20) 循環器：心機能、神経調節 【予習】教科書のCHAPTER 15、16を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 11

21) 呼吸器：呼吸生理 【予習】教科書のCHAPTER 18を読んでおく(1時間) 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること(1時間)	サブノート項目 12
22) 呼吸器：肺機能 【予習】教科書のCHAPTER 18を読んでおく(1時間) 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること(1時間)	サブノート項目 12
23) 呼吸器：肺胞機能、血液ガス 【予習】教科書のCHAPTER 18を読んでおく(1時間) 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること(1時間)	サブノート項目 12
24) 総括	
25) 腎・排泄機構：腎臓の解剖、腎機能 【予習】教科書のCHAPTER 21を読んでおく(1時間) 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること(1時間)	サブノート項目 13
26) 腎・排泄機構：尿細管機能、腎機能の調節、排尿機構 【予習】教科書のCHAPTER 21を読んでおく(1時間) 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること(1時間)	サブノート項目 13
27) 体液および酸・塩基平衡：体液平衡の障害 【予習】教科書のCHAPTER 22を読んでおく(1時間) 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること(1時間)	サブノート項目 14
28) 体液および酸・塩基平衡：体液平衡の障害 【予習】教科書のCHAPTER 22を読んでおく(1時間) 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること(1時間)	サブノート項目 14
29) 体液および酸・塩基平衡：体液平衡の障害 【予習】教科書のCHAPTER 22を読んでおく(1時間) 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること(1時間)	サブノート項目 14
30) 総括	

授業外学習

授業外学習として、適宜、レポートを提出してもらいます。課題はその都度指示します。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1) 人体の構造と機能サブノート(配布教材) 2) トートラ人体解剖生理学(翻訳版 丸善出版)	生物学の基礎 人間らしさとは何か いのちの科学 薬理・薬剤学 など

課題に対するフィードバック

授業外課題レポートはチェック後返却します。

備考

特別作成教材：「人体の構造と機能サブノート」を配布し、それに沿って講義をします。
講義には「人体の構造と機能サブノート」およびトートラ人体解剖生理学を持参して下さい。
聴診器を毎回持参して下さい。

科目名	人体の構造と機能			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	3	1年	通年(後期)
担当者名	大草 知子	関連する資格	養護教諭	

授業概要

人体を構成している器官や臓器の構造と機能について学び、看護学の最も基礎となる知識を修得する。構造と機能の知識を関連させて考える思考過程を養うために、「ホメオスタシス」という統一テーマのもとに、臓器系統間の関連や相互作用を理論的に学ぶ。

医師の実務経験をもとに、人体の構造と機能について授業を行う。

到達目標

B 1210

1. 人体の構造、固体の構成を遺伝子レベルから器官系レベルまで理解する。
2. 人体の生理機能を解剖学と関連させて学ぶ。
3. 「ホメオスタシス」というテーマのもとに、生命現象、病態生理を理解する。

成績評価方法

- 定期試験
授業外レポート
授業態度・授業参加度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 消化吸収：消化運動、消化 【予習】教科書のCHAPTER 19を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 15
2) 消化吸収：栄養素の分解と吸収 【予習】教科書のCHAPTER 19を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 15
3) 消化吸収：消化管ホルモン 【予習】教科書のCHAPTER 19を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 15
4) 栄養・代謝：栄養素、エネルギー代謝 【予習】教科書のCHAPTER 20を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 16
5) 体温とその調節 【予習】教科書のCHAPTER 20を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 17
6) 内分泌：定義、視床下部 下垂体 【予習】教科書のCHAPTER 13を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 18
7) 内分泌：副腎、甲状腺、副甲状腺 【予習】教科書のCHAPTER 13を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 18
8) 内分泌：膵臓、性腺 【予習】教科書のCHAPTER 13を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 18
9) 生殖：性の分化、男性生殖器 【予習】教科書のCHAPTER 23を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 19
10) 生殖：女性生殖器、妊娠・出産 【予習】教科書のCHAPTER 23を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 19
11) 免疫：免疫とは 【予習】教科書のCHAPTER 17を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 20
12) 免疫：免疫機構の詳細 【予習】教科書のCHAPTER 17を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 20
13) 生体リズム 【予習】サブノート項目21を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 21
14) 加齢の生理 【予習】サブノート項目22、教科書の加齢と〇〇系を読んでおく（1時間） 【復習】教科書のチェックポイントを解いて、授業内容を復習すること（1時間）	サブノート項目 22
15) 総括	
授業外学習	
授業外学習として、適宜、レポートを提出してもらいます。課題はその都度指示します。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
1) 人体の構造と機能サブノート（配布教材） 2) トートラ人体解剖生理学（翻訳版 丸善出版）	生物学の基礎 人間らしさとは何か いのちの科学 薬理・薬剤学 など

課題に対するフィードバック

授業外課題レポートはチェック後返却します。

備考

特別作成教材：「人体の構造と機能サポート」を配布し、それに沿って講義をします。
講義には「人体の構造と機能サポート」およびトートラ人体解剖生理学を持参して下さい。
聴診器を必ず毎回持参して下さい。

科目名	生涯発達心理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1年	前期			
担当者名	川崎 幹子、三島 瑞穂、柿並 洋子		関連する資格	看護師 養護教諭一種 保健師			
授業概要 ヒトが発達するとは、どうなることをいうのか。ヒトが発達するのはいつからいつまでか。ヒトを発達させる要因はなにか。生涯をかけて成長し続けるヒトを子ども、大人、高齢者で年齢区分するのではなく現在、過去、未来から考え、ヒトとして生まれ、ヒトとして生きる中での経験や変化、多様性を看護の視点から発達心理を理解する。							
到達目標 No. B1211 1. 各期の発達の積み重ねのうえに、生涯発達が成り立っていることを理解する。 2. ヒトの心の発達を、私たちヒトに生まれつき備わった生物学的な特徴を土台として、他者と関わり合って生活する中で、さまざまな経験をし、その経験の積み重ねのうえに形づけられていくことを理解する。 3. 発達をもたらす要因は何であるかについて理解し、看護における具体的な働きかけのあり方と留意点について考えることができる。			成績評価方法 成績評価方法 授業内レポート10% 宿題、授業外レポート60% 授業態度・授業参加度5% プレゼンテーション10% グループワーク15%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		10
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション・発達することというのはどういうことか 胎児期(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分)【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
2)	乳児期(担当：三島瑞穂) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
3)	乳児期・幼児期(担当：三島瑞穂) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
4)	幼児期(担当：三島瑞穂) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
5)	幼児期(担当：三島瑞穂) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
6)	幼児期(担当：三島瑞穂) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
7)	発達をつまづき(担当：三島瑞穂) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
8)	幼児期(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
9)	発達の主要倫理についての整理(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
10)	児童期(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
11)	青年期の発達(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
12)	青年期から成人期・成人期初期(担当：柿並洋子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
13)	成人中期から後期へ(担当：柿並洋子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
14)	老年期(担当：柿並洋子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
15)	発達の主要倫理についての整理(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート グループワーク
授業外学習		
事前学習(60分)、事前課題を行い授業に臨むこと。 復習(30分)し、既習の内容の理解を深めること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
坂上裕子他：問からはじめる発達心理学		母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論

課題に対するフィードバック

レポートにコメントを付けて返します。

備考

科目名	人間関係論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	1年	後期			
担当者名	立川 美香		関連する資格	看護師・保健師・養護教諭			
授業概要 看護職にとって人間関係を築くことは、その職務の前提でもあり、中心にもなっている。多様化する社会の中で、ケアの対象でもある患者の持つ価値観や期待を理解し、尊重することは益々重要となってきた。同時にケアの実践においては、患者との関係はもちろん、他の保健医療専門職・家族・地域社会と密接に連携していくことが不可欠である。本授業では、専門職として重要な人間関係を築いていくための態度や能力を学び、その知識と技法を実践の場で活かす事を目標に展開する。 【実務経験】立川美香は、保健師および産業保健の実務経験をもとに、人間関係論の授業を行う。							
到達目標 【B1212】 1. 人間関係を構成する自己と他者について、どの様に捉えているの知る。 2. 人間関係を構築するための理論や技法を知る。 3. 保健医療職としての人間関係について知る。 4. グループワークを通して、学生間の良好な人間関係を構築出来る。			成績評価方法 1. 定期試験・・・50点 2. 小テスト・レポート・・・20点 3. グループワーク・・・10点 3. 授業態度・授業参加度・・・20点				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（授業概要）：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
2) 第1章 人間関係の中の自己と他者：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
3) 第2章 対人関係と役割：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
4) 第3章 態度と対人行動：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
5) 第4章 集団と個人：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
6) 第5章 コミュニケーション：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
7) 第6章 カウンセリングと心理療法：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	グループワーク
8) 第6章 カウンセリングと心理療法：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
9) 第7章 コーチング：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	グループワーク
10) 第8章 アサーティブ - コミュニケーション：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	グループワーク
11) 第9章 保健医療チームの人間関係：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	小テスト
12) 第10章 患者を支える人間関係：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	小テスト
13) 第10章 患者を支える人間関係：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	小テスト
14) 第11章 家族を含めた人間関係：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	小テスト
15) 第12章 地域をつくる人間関係：立川美香 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	小テスト
授業外学習	
ボランティアなどの社会的活動に積極的に参加をする	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 石野ひろの他 編、(株)医学書院	コミュニケーション論 他

課題に対するフィードバック

小レポートはコメントをつけて返します。

備考

授業や・グループワークを通して、自己理解を深め、良好な人間関係を構築するのはどうしたら良いのか、考え行動出来るようにする。
質問や感想は出席カード等にご記入ください。

授業の出欠は出席カード等で確認します。
出席日数は各自で管理してください。欠席日数等の問い合わせには応じることはできません。
授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席とします。
授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。

科目名	コミュニケーション論（カウンセリングを含む）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	小山 典子、榎本 俊哉		関連する資格				
授業概要 保健・医療・福祉および学校保健の現場で言語・非言語コミュニケーション活動を展開するにあたって、コミュニケーション論を基本にして、他者との人間関係における自己表現方法を学ぶ。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせ学習する。							
到達目標 B1209 ・保健・医療・福祉におけるコミュニケーションの重要性と必要性について説明できる ・学校現場におけるコミュニケーションの重要性と必要性について説明できる ・他者との人間関係を良好に保つための技術としての自己表現方法がわかる ・専門職としてかかわる中で必要なコミュニケーション技術とカウンセリングの基本がわかる			成績評価方法 レポート及び授業参加度で総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) コミュニケーションとは	
2) コミュニケーションを支える心理 【予習】対人援助職としてのコミュニケーションとは何か考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク
3) コミュニケーションを動かす心理 【予習】「感情労働」について調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク
4) 親子のコミュニケーション（児童期） 【予習】学校現場（児童期）におけるコミュニケーションとは何か考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	
5) 親子のコミュニケーション（思春期） 【予習】学校現場（思春期）におけるコミュニケーションとは何か考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	
6) アサーション（気持ちを伝える言葉の技術） 【予習】アサーションについて調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	
7) カウンセリングの基本1（相談での心構え） 【予習】「共感的理解」の大切さについて考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	
8) カウンセリングの基本2（相談での言葉の技術） 【予習】臨床現場におけるカウンセリング・マインドの重要性について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	
9) 児童・思春期心身症の看護とカウンセリング 【予習】児童・思春期の心身症にはどのようなものがあるか調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク
10) ディスキューションとは かかわり合いから生じる誤解を解く 【予習】コミュニケーションのすれ違いはどこからくるのか考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク
11) 慢性疾患看護とカウンセリング 【予習】糖尿病患者に対する看護アプローチについて調べておく（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク
12) 専門職のためのメンタルケア 【予習】専門職へのメンタルケアの必要性について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
13) 専門職のためのメンタルケア 【予習】バーンアウトについて調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
14) コミュニケーションにおける信頼関係と責任 【予習】信頼関係を築く応答について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
15) 総括	
授業外学習	
地域社会の情報から特に医療・看護における心理学的なアプローチが必要と思われる事例について関心をもつこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：必要に応じて資料を配布する。 参考書：看護臨床における話す・聴く ケアを実らせるポイントとその実際，上野轟，医学書院	

課題に対するフィードバック

レポートにコメントをつけて返す

備考

科目名	微生物・免疫学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1年	後期			
担当者名	尾家 重治		関連する資格				
授業概要 感染症は迅速で的確な処置が求められる重要な疾患である。講義では、種々の感染症を起こす病原微生物について、それらの生物学的特性と感染症を起こす仕組みを学ぶ。また、生体の感染防御機構である免疫の仕組みを学ぶ。さらに、感染制御の理論と実践についても学ぶ。 山口大学病院にてインフェクションドクター（ICD）などとして36年間にわたり院内感染防止活動に従事した。この実務経験についても述べる。							
到達目標 ナンバリング(B1213) (1) 感染症をおこす病原微生物を知る (2) 感染防御の仕組みを理解する (3) 感染予防の考え方と方法を理解する			成績評価方法 定期試験 小テスト 小レポート 授業への意欲・態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 微生物・免疫学の基礎：なぜ学ぶか、感染と感染症、病原微生物とは、微生物の性質、微生物学の歩み【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
2) 細菌の形と特徴：グラム染色法、細菌の基本的な構造、芽胞とは、病原細菌が増殖する条件と代謝【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
3) 病原微生物の種類、常在微生物叢：ゲノムでわかる生物の進化、病原微生物の大きさや特徴【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
4) 感染と感染症：感染症はどのようにして起こるか、微生物の侵入経路、付着・侵入から発症まで、発症後の経過、細菌の毒素【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
5) 感染に対する生体防御 - 1：免疫とは、自然免疫の仕組み、自動免疫と獲得免疫【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
6) 感染に対する生体防御 - 2：獲得免疫の仕組み、獲得免疫に働く細胞、抗体の構造と働き、T細胞、アレルギー【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
7) 感染症の基礎：感染に見られる一般的な症状、日本で多く見られる感染症【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
8) 滅菌と消毒-1：滅菌と消毒の意味、滅菌法、消毒薬の種類と使い方、感染症の検査と診断-1：細菌感染症、ウイルスの感染症の検査法を学ぶ【予習】該当単元を読む（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
9) 滅菌と消毒-2：滅菌と消毒の意味、滅菌法、消毒薬の種類と使い方、感染症の検査と診断-2：細菌感染症、ウイルスの感染症の検査法を学ぶ【予習】該当単元を読む（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
10) 感染症の治療：治療に用いられる薬、耐性菌とは何か 感染症への対策：感染症法とは、感染予防策、ワクチン【予習】該当単元を読む（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
11) 細菌感染症 - 1：ブドウ球菌、連鎖球菌、淋菌、緑膿菌、レジオネラ、百日咳菌、腸炎ピブリオ、インフルエンザ菌とその感染症【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
12) 細菌感染症 - 2：カンピロバクター、ヘリコバクター、結核菌、破傷風菌、ディフィシル菌、梅毒トレポネーマとその感染症【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
13) 細胞内寄生細菌感染症：リケッチアとクラミジアの感染症 真菌・原虫感染症：カンジダ、白癬菌、トキソプラズマの感染症【予習】該当単元を読む（30分）【復習】重要事項の自己学習（30分）	
14) ウイルス感染症 - 1：エボラ出血熱、デング熱、インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎、エイズ、ウイルス性肝炎【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小レポート
15) ウイルス感染症 - 2：ポリオ、狂犬病、日本脳炎、麻疹、風疹、水痘/帯状疱疹、ヘルペス、乳頭腫【予習】該当単元を読んでくる（30分）【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。 ・ 授業中に板書する要点や配布する資料は重要事項ですので、授業後には必ず整理し、十分に自己学習を行ってください。小テスト、小レポート、定期試験で理解度や学習意欲を評価します。 ・ 授業で学んだ該当単元の詳細は、テキストを読んで確認するようにしてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 「微生物学」第12版、医学書院 資料プリントの配布	医療安全管理学 公衆衛生看護学 災害看護学

課題に対するフィードバック

- ・小テスト、小レポートは翌週にコメントをつけて返す
- ・小テストの解説を翌週に行う

備考

科目名	病理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	崔 丹	関連する資格		

授業概要

生体の恒常性が乱れ、その結果生じてくる病理学的変化を理解する。循環器系、呼吸器系、消化器系、神経・運動器系など各臓器の病理、また、代謝、炎症、腫瘍などの病理、さらに老年期疾患の特徴と老化のメカニズム、放射線障害とその防御等について学ぶ。疾患の診断、治療方針の決定などに大きく関わる臨床病理学について説明できる。

到達目標

ナンバリング(B1214)

全身諸臓器の正常構造および働きを理解する。
病理学総論および循環器系、呼吸器系、消化器系、神経・運動器系などの各臓器の代表的疾患を理解し、説明できる。病理および臨床検査の基礎知識や意義を理解する。

成績評価方法

筆記試験により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 病理学で学ぶこと、先天異常と遺伝子異常、病理診断の実際 病理学が医学や医療のなかでどのような役割を担っているかを理解する。	宿題 授業外レポート
2) 細胞・組織の障害と修復 細胞傷害の原因と機序、組織の修復過程について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
3) 循環障害(1) 浮腫・充血・うっ血・出血・血栓症・梗塞などの局所循環障害を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
4) 循環障害(2)、代謝障害 全身性循環障害及び代謝障害について学習する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
5) 炎症と免疫、移植と再生医療(1) 炎症と免疫について学び、アレルギーについて理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
6) 炎症と免疫、移植と再生医療(2)、感染症 移植と再生医療を学習する。感染症の一般的な特徴について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
7) 腫瘍(1) : 腫瘍とはなにか、悪性腫瘍と良性腫瘍の違いなにかおよびがん転移の過程とその経路について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
8) 腫瘍(2)、老化と死 : がんの発生原因や診断・治療についての最新情報を学ぶ。加齢に伴う身体の変化や死にまつわる様々な問題について正しく理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
9) 循環器系の疾患 血管疾患と心疾患について、その定義と病態を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
10) 血液・造血器系の疾患 リンパ節の代表的疾患や造血系疾患について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
11) 呼吸器系疾患 気管・気管支・肺の疾患の発症機序、診断について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
12) 消化器系疾患(1) 口腔・食道・胃の疾患について、その定義と病態を理解する。	宿題 授業外レポート
13) 消化器系疾患(2)、内分泌系の疾患 肝・膵の疾患を学ぶ。内分泌系疾患の全身への影響の仕組みを理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	宿題 授業外レポート
14) 腎・泌尿器系、生殖器系及び乳腺の疾患、目・耳・皮膚の疾患 腎・泌尿器系、生殖器系及び乳腺および目・耳・皮膚の疾患について学ぶ。	宿題 授業外レポート
15) 脳・神経・筋肉系の疾患、骨・関節系の疾患 脳・神経・筋肉系および骨・関節系のおもな疾患について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)	小テスト 授業内レポート
授業外学習	
毎授業後にはレポート提出すること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 医学書院	

課題に対するフィードバック

小テスト、授業内レポートについては、翌週ポイントを解説する。

備考

科目名	薬理・薬剤学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	尾家 重治	関連する資格		

授業概要

薬物が生体に及ぼす影響と薬理作用について学び、臨床で用いられる医薬品の効果と有害作用・副作用、その薬物の適用と投与方法について学ぶ。個々の薬物の基礎知識、薬物の安全性と認可方法についても学ぶ。各種疾患に対して用いられる薬物の適用方法（目的、作用・副作用、効果判定）、化学療法、輸血療法の具体例について学び、薬物療法と患者の生活の質について理解し、薬物療法における看護職の役割を理解する。

山口大学病院薬剤部において、39年間にわたり薬剤の適正使用の推進を行ってきた。この実務経験についても述べる。

到達目標

ナンバリング(B1215)

薬の効果発現までの過程を理解する。
 薬の作用・副作用について医師と会話できる。
 看護上留意すべき薬理効果・副作用について理解する。

成績評価方法

定期試験
 小テスト
 小レポート
 授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) からだの中のくすりの動き 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
2) 薬の効果に影響する因子 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
3) くすりのリスク 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
4) 抗感染症薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
5) 抗がん薬・免疫治療薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
6) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
7) 末梢神経に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
8) 中枢神経系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
9) 心臓・血管系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
10) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
11) 代謝に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
12) 皮膚科用薬・眼科用薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
13) 消毒薬・救急用薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
14) くすりが出るまで物質 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小レポート
15) 総括 【予習】今までの授業ノートを見直してくる（30分） 【復習】理解が不十分な所を中心に自己学習し、試験に備える（30分）	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。 ・ 授業中に板書する要点や配布する資料は重要事項ですので、授業後には必ず整理し、十分に自己学習を行ってください。小テスト、小レポート、定期試験で理解度や学習意欲を評価します。 ・ 授業で学んだ該当単元の詳細は、テキストを読んで確認するようにしてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 「薬理学」 医学書院 2,310円 資料プリントの配布	微生物・免疫学 医療安全管理学

課題に対するフィードバック

- ・小テスト、小レポートは翌週にコメントをつけて返す
- ・小テストの解説を翌週に行う

備考

科目名	栄養学（生化学を含む）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

栄養状態を改善することは、病気からの回復を促進し、病気の発症・進展を予防する。また、栄養療法（栄養素の補給または制限）により特定の疾患の病態を改善することができる。栄養療法は、すべての患者に必要な基本となる治療方法である。栄養と病態の関係を理解して看護実践に生かすためには、栄養学の基本的な知識を身に付ける必要がある。この授業では、栄養素の種類、構造、機能、吸収、代謝に関する基本的な知識に加えて、栄養ケアマネジメントの視点から栄養療法の実際について学ぶ。

到達目標

B2205

- 1．食品に含まれる栄養素の種類と機能について説明できる。
- 2．栄養素の消化、吸収、代謝について説明できる。
- 3．栄養ケアマネジメントの実践方法について説明できる。
- 4．主な疾患の栄養療法の原則を説明できる。

成績評価方法

授業態度（20％）
小テスト（授業期間中に5回実施）（50％）
定期試験（30％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							30
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 糖質の種類と機能 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
2) 脂質の種類と機能 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
3) 糖質と脂質の代謝 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
4) アミノ酸・タンパク質の種類と機能 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題 小テスト（第1回）
5) アミノ酸・タンパク質の代謝 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
6) エネルギー代謝 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
7) ビタミン・ミネラルの種類と機能 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題 小テスト（第2回）
8) 核酸の代謝と遺伝子 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
9) 栄養素の消化と吸収 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題 小テスト（第3回）
10) 食品群と栄養素、ライフステージと栄養、日本人の食事摂取基準、国民健康栄養調査【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
11) 栄養ケアマネジメントと栄養アセスメント 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
12) 栄養補給法 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題 小テスト（第4回）
13) 食事療法（1）肥満・メタボリックシンドローム 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
14) 食事療法（2）糖尿病、脂質異常症、高血圧 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題 小テスト（第5回）
15) 食事療法（3）腎疾患、肝疾患、その他の疾患 【予習】テキストの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を復習すること（30分）	確認問題
授業外学習	
<p>予習では、テキストの該当部分を読んでおくこと。 復習では、毎回の授業のポイントを確認問題で定着させる。確認問題と小テストの問題文の正誤の理由を自分の言葉で説明できるように復習すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト：長坂祐二著「看護師のための栄養学・生化学テキスト」（宇部フロンティア大学出版）第1回目の授業で冊子を配布する。</p>	

課題に対するフィードバック

確認問題は、授業の終わりに実施し、自己採点する。
小テストは、採点后返却し、解答とポイントを解説する。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	通年(前期)
担当者名	名尾 朋子、大草 知子	関連する資格		

授業概要

生体の病的状態を、肉眼レベル、顕微鏡レベル、分子レベルで把握し、内科系疾病の原因・発症の機序を理解する。診断・治療についての基礎知識を身に着け、患者を全人的に理解する。「生活の質の向上」のための課題を把握し、適切な看護計画を立てるための基礎知識を修得する。

名尾朋子は、医師としての実務経験をもとに、疾病についての授業を行う。
 大草知子は、医師としての実務経験をもとに、疾病についての授業を行う。
 野垣 宏は、医師としての実務経験をもとに、疾病についての授業を行う。

到達目標

B 2 2 0 6

1. 内科的疾患の概念、病態生理、臨床・検査所見を理解する。
2. 内科的疾患の診断・鑑別診断、治療についての基礎知識を学ぶ。
3. 患者の「生活の質の向上」のための適切な看護計画を立てる。

成績評価方法

定期試験
 授業外レポート
 授業態度・授業参加度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	脳・神経疾患の症状とその病態、検査（担当：野垣 宏） 【予習】教科書の17～120頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 脳・神経 成人看護学
2)	脳・神経疾患の症状の理解：脳血管疾患など（担当：野垣 宏） 【予習】教科書の121～161頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 脳・神経 成人看護学
3)	脳・神経疾患の症状の理解：末梢神経障害、脱髄・変性疾患（担当：野垣 宏） 【予習】教科書の161～204頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 脳・神経 成人看護学
4)	腎・尿路系疾患の理解：感染症、腎血管性病変、尿路疾患など（担当：名尾朋子） 【予習】教科書の17～112頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 腎・泌尿器 成人看護学
5)	脳・神経疾患の症状の理解：感染症など（担当：野垣 宏） 【予習】教科書の205～236頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 脳・神経 成人看護学
6)	腎・尿路系疾患の理解：感染症、腎血管性病変、尿路疾患など（担当：名尾朋子） 【予習】教科書の113～152頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 腎・泌尿器 成人看護学
7)	腎・尿路系疾患の理解：感染症、腎血管性病変、尿路疾患など（担当：名尾朋子） 【予習】教科書の152～192頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 腎・泌尿器 成人看護学
8)	循環器疾患の症状とその病態、検査（担当：大草知子） 【予習】教科書の15～120頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 循環器 成人看護学
9)	循環器疾患の理解：弁膜症、先天性心疾患など（担当：大草知子） 【予習】教科書の201～207頁、215～223頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 循環器 成人看護学
10)	循環器疾患の理解：虚血性心疾患、心筋・心膜疾患など（担当：大草知子） 【予習】教科書の121～151頁、207～214頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 循環器 成人看護学
11)	循環器疾患の理解：不整脈、心不全など（担当：大草知子） 【予習】教科書の152～201頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 循環器 成人看護学
12)	呼吸器疾患の症状とその病態（担当：大草知子） 【予習】教科書の19～68頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 呼吸器 成人看護学
13)	呼吸器疾患の検査（担当：大草知子） 【予習】教科書の69～136頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 呼吸器 成人看護学
14)	呼吸器疾患の理解：感染症、間質性肺炎など（担当：大草知子） 【予習】教科書の137～176頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 呼吸器 成人看護学
15)	呼吸器疾患の理解：気道疾患、呼吸不全、肺腫瘍など（担当：大草知子） 【予習】教科書の176～224頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 呼吸器 成人看護学
授業外学習		
適宜、授業外学習としてレポートを提出してもらいます。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座専門分野 成人看護学 呼吸器 系統看護学講座専門分野 成人看護学 循環器 系統看護学講座専門分野 成人看護学 脳・神経 系統看護学講座専門分野 成人看護学 腎・泌尿器 （いずれも医学書院）		人体の構造と機能 看護学概論 疾病論

課題に対するフィードバック

授業外レポートはチェック後返却します。

備考

呼吸器・循環器の講義では、聴診器を持参して下さい。
トートラ人体解剖生理学を持参して下さい。
脳・神経疾患講義は、学外講師が担当するため、授業の順番が前後することがあります。

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	通年(後期)
担当者名	名尾 朋子、大草 知子	関連する資格		

授業概要

生体の病的状態を、肉眼レベル、顕微鏡レベル、分子レベルで把握し、内科系疾病の原因・発症の機序を理解する。診断・治療についての基礎知識を身に着け、患者を全人的に理解する。
「生活の質の向上」のための過大を把握し、適切な看護計画を立てるための基礎知識を修得する。

名尾朋子は、医師の実務経験をもとに、疾病についての授業を行う。
大草知子は、医師の実務経験をもとに、疾病についての授業を行う。

到達目標

B 2 2 0 6

1. 内科的疾患の概念、病態生理、臨床・検査所見を理解する。
2. 内科的疾患の診断・鑑別診断、治療についての基礎知識を学ぶ。
3. 患者の「生活の質の向上」のための適切な看護計画を立てる。

成績評価方法

定期試験
授業外レポート
授業態度・授業参加度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	消化器疾患の症状とその病態、検査（担当：名尾朋子） 【予習】教科書15～139頁の消化管に関する項目を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 消化器 成人看護学
2)	消化器疾患の理解：上部消化管疾患（担当：名尾朋子） 【予習】教科書141～172頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 消化器 成人看護学
3)	消化器疾患の理解：下部消化管疾患（担当：名尾朋子） 【予習】教科書172～210頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 消化器 成人看護学
4)	肝臓・胆嚢・膵臓疾患の症状とその病態、検査（担当：名尾朋子） 【予習】教科書15～139頁の肝・胆・膵臓に関する項目を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 消化器 成人看護学
5)	肝臓・胆嚢・膵臓疾患の理解：肝炎、肝硬変など（担当：名尾朋子） 【予習】教科書210～243頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 消化器 成人看護学
6)	肝臓・胆嚢・膵臓疾患の理解：肝がん、胆嚢・膵臓疾患など（担当：名尾朋子） 【予習】教科書243～266頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 消化器 成人看護学
7)	内分泌疾患の症状とその病態、検査（担当：名尾朋子） 【予習】教科書15～79頁の消化管に関する項目を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 内分泌・代謝 成人看護学
8)	内分泌疾患の理解：視床、視床下部疾患（担当：名尾朋子） 【予習】教科書81～97頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 内分泌・代謝 成人看護学
9)	内分泌疾患の理解：甲状腺、副甲状腺、副腎疾患（担当：名尾朋子） 【予習】教科書97～132頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 内分泌・代謝 成人看護学
10)	内分泌疾患の理解：糖代謝、脂質代謝異常（担当：名尾朋子） 【予習】教科書132～187頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 内分泌・代謝 成人看護学
11)	免疫のしくみ（担当：名尾朋子） 【予習】教科書15～25、97～102、210～221頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 アレルギー・膠原病感染症 成人看護学
12)	アレルギー疾患の理解：アレルギー性鼻炎など（担当：名尾朋子） 【予習】教科書15～46頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 アレルギー・膠原病感染症 成人看護学
13)	膠原病の理解：関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなど（担当：名尾朋子） 【予習】教科書103～150頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 アレルギー・膠原病感染症 成人看護学
14)	血液・造血器疾患の症状とその病態、検査、貧血、出血性疾患（担当：名尾朋子） 【予習】教科書17～72、134～143頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 血液・造血器 成人看護学
15)	血液・造血器疾患の理解（担当：名尾朋子） 【予習】教科書72～134頁を読んでおく（1時間） 【復習】授業内容を復習すること（1時間）	系統看護学講座 血液・造血器 成人看護学
授業外学習		
適宜、授業外学習としてレポートを提出してもらいます。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座専門分野 成人看護学 血液・造血器 系統看護学講座専門分野 成人看護学 消化器 系統看護学講座専門分野 成人看護学 内分泌・代謝 系統看護学講座専門分野 成人看護学 アレルギー・膠原病感染症 （いずれも医学書院）	人体の構造と機能 看護学概論 疾病論	

課題に対するフィードバック

授業外レポートはチェック後返却します。

備考

トートラ人体解剖生理学を持参して下さい。

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	通年(前期)
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

外科的侵襲（手術）により治癒する疾患の病態を理解する。これらの疾患は時には急性に増悪・進行し、生命の危機をもたらすことがあるが、外科的治療により危機を脱することができることを学ぶ。外科的治療の適応には、診断後、速やかに判断され、遂行される場合がある。そのため、病態や症状の変化に対する迅速かつ正確な対応が必要である。特に、小児・高齢者では、慎重に対応することが重要である。外科的侵襲（手術）を受ける患者に必要な看護計画を速やかに計画できる知識を学ぶ。

到達目標

B2207

1. 外科侵襲によって引き起こされる生体反応のしくみについて説明できる。
2. 外科領域で用いられる基本的な治療方法について説明できる。
3. 術前・術後管理と臨床検査について説明できる。
4. 放射線が人体に与える影響、防護、治療法について説明できる。

成績評価方法

授業態度（20%）
小テスト（授業期間中に5回実施）（50%）
定期試験（30%）

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)	○	○					30	
小テスト、授業内レポート	○	○					50	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度			○		○		20	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 外科侵襲とショック 【予習】臨床外科看護総論13～20ページ、71～74ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
2) 2. 創傷治癒、褥瘡、外傷、熱傷 【予習】教科書34～38、47～51、67～71ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
3) 3. 腫瘍と緩和医療 【予習】臨床外科看護総論55～63、136～142ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
4) 4. 補充・代替医療 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
5) 5. 麻酔法 【予習】臨床外科看護総論76～101ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
6) 6. 呼吸管理 【予習】臨床検査101～109ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
7) 7. 体液管理 【予習】臨床外科看護総論109～115ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
8) 8. 輸血療法 【予習】臨床外科看護総論124～135ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
9) 9. 外科的基本手技 【予習】臨床外科看護総論144～160ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
10) 10. 臓器移植・人工臓器 【予習】臨床外科看護総論169～182ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
11) 11. 放射線被曝と健康障害 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
12) 12. 放射線治療と防護 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
13) 13. 臨床検査（1）尿検査、末梢血検査 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
14) 14. 臨床検査（2）血液化学検査、電解質と酸塩基平衡 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
15) 15. 臨床検査（3）生理機能検査、画像検査 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
授業外学習	
予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。 復習では、毎回の授業のポイントを確認問題で定着させること。 確認問題と小テストの問題文の正誤の理由を自分の言葉で説明できるように復習すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論（医学書院）	人体の構造と機能 疾病論 成人看護学

課題に対するフィードバック

確認問題は、授業の終わりに実施し、自己採点して提出する。
小テストは、採点后返却し、解答とポイントを解説する。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	通年(後期)
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

外科的侵襲（手術）により治癒する疾患の病態を理解する。これらの疾患は時には急性に増悪・進行し、生命の危機をもたらすことがあるが、外科的治療により危機を脱することができることを学ぶ。外科的治療の適応には、診断後、速やかに判断され、遂行される場合がある。そのため、病態や症状の変化に対する迅速かつ正確な対応が必要である。特に、小児・高齢者では、慎重に対応することが重要である。外科的侵襲（手術）を受ける患者に必要な看護計画を速やかに計画できる知識を学ぶ。

到達目標

B2207

外科的治療の対象となる主要疾患について、以下の説明ができる。

1. 疾患概念
2. 病態生理と症状の関係
3. 診断に必要な検査と診断基準
4. 主な治療法の概要

成績評価方法

授業態度（20％）

小テスト（授業期間中に5回実施）（50％）

定期試験（30％）

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)	○	○					30	
小テスト、授業内レポート	○	○					50	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度			○		○		20	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	16. 肺と胸部 【予習】臨床外科看護各論8～37ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
2)	17. 心臓と血管（1） 【予習】臨床外科看護各論84～111ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
3)	18. 心臓と血管（2） 【予習】臨床外科看護各論111～140ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
4)	19. 消化器と腹部（1）消化管 【予習】臨床外科看護各論172～246ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
5)	20. 消化器と腹部（2）肝胆膵 【予習】臨床外科看護各論246～312ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
6)	21. 消化器と腹部（3）内分泌・代謝疾患 【予習】臨床外科看護各論312～319ページを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
7)	22. 脳と神経（1） 【予習】臨床外科看護各論368～392ページとプリントを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
8)	23. 脳と神経（2） 【予習】臨床外科看護各論368～402ページとプリントを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
9)	24. 頭部と頸部 【予習】臨床外科看護各論434～455ページとプリントを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
10)	25. 小児外科 【予習】臨床外科看護各論480～533ページとプリントを読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
11)	26. 視覚器 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
12)	27. 泌尿器 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
13)	28. 女性生殖器 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
14)	29. 運動器 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題 小テスト
15)	30. リハビリテーション 【予習】「授業ノート」を読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由を説明できるように復習すること（30分）	確認問題
授業外学習		
予習では、教科書と授業ノートの該当部分を読んでおくこと。 復習では、毎回の授業のポイントを確認問題で定着させること。 確認問題と小テストの問題文の正誤の理由を自分の言葉で説明できるように復習すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座 別巻 臨床外科看護 各論（医学書院）		人体の構造と機能 疾病論 成人看護学

課題に対するフィードバック

確認問題は、授業の終わりに実施し、自己採点して提出する。
小テストは、採点后返却し、解答とポイントを解説する。

備考

科目名	公衆衛生学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	岩本 美江子	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

公衆衛生とは集団の疾病予防や健康の維持・増進を目的とする科学・技術である。本授業により、公衆衛生の概念と基本的な内容を理解する。人々の健康が自然・社会・文化的環境と強くかかわっていることを認識し、さらに人々の生涯にわたる健康に関する諸制度の整備と保健活動を組織的に推進するものであることを習得する。

到達目標

ナンバリング(B2208)

人口変動や疾病構造の変化とその要因を説明できる。
我々の健康生活を支える様々な保健体制の現状を記述できる。
保健・医療・福祉の連携の現状と今後の課題について述べるができる。

成績評価方法

定期試験、宿題レポート提出により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公衆衛生を学ぶにあたって 看護学生が公衆衛生を学ぶ意味を理解する [予習]テキストp2～p40を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
2) 公衆衛生のしくみ 「公衆衛生のしくみ」とは何を指すかを知る [予習]テキストp44～p79を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：1～3章までのゼミナール宿題
3) 環境と健康（その1） 環境と健康、生活のつながりを知る [予習]テキストp82～p91を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
4) 環境と健康（その2） 環境保全の大切さを理解する [予習]テキストp92～p107を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：4章のゼミナール宿題
5) 国際保健 国際保健活動の現場と国際保健の使命を知る [予習]テキストp110～p121を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：5章のゼミナール宿題
6) 集団の健康をとらえるための手段（その1） 集団の健康状態を表す指標と意味を知る [予習]テキストp124～p138を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(30分)	
7) 集団の健康をとらえるための手段（その2） 集団の健康状態に影響を与える要因を見つける方法(疫学)を知る [予習]テキストp138～p145を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：6章のゼミナール宿題
8) 地域保健 A母子保健 母子保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストp148～p171を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
9) 地域保健 B成人保健 成人保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストp172～p189を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
10) 地域保健 C高齢者保健 D精神保健 高齢者保健、精神保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストp189～p224を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	個人ワーク：7章のA,B,C,Dのゼミナール宿題
11) 地域保健 E歯科保健 F.難病支援・障害者支援 歯科保健、難病支援、障害者支援分野の対象となる人々・しくみ・活動を知る [予習]テキストp225～p249を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
12) 地域保健 G感染症対策 感染症対策分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]テキストp250～p270を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：7章のE,F,G,のゼミナール宿題
13) 学校と健康 学校保健の目的としくみを知る [予習]テキストp278～p299を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：8章のゼミナール宿題
14) 職場と健康 産業保健の目的としくみを知る [予習]テキストp302～p321を読んでおく(30分)[復習]ゼミナール宿題(60分)	個人ワーク：9章のゼミナール宿題
15) 健康危機管理・災害保健 日本の災害対策体制と災害時の支援を理解する [予習]テキストp324～p338を読んでおく(30分)[復習]理解を深めておく(60分)	
授業外学習	
授業後に、学習した章のゼミナール（復習と課題）を行い、翌週の授業日に前回までの指定の宿題を提出する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座-公衆衛生学（医学書院）、 国民衛生の動向 要点をまとめた資料は毎回配布する。	保健統計、疫学

課題に対するフィードバック

ゼミナールについては質問の問題についてのみ解答する。

備考

科目名	疫学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	岩本 美江子	関連する資格	保健師免許状	

授業概要

疫学は、人間集団における健康状態とそれに関連する要因の分析を明らかにする学問である。疫学の歴史、概念、役割、及び保健医療活動に必要な疫学指標、疫学研究のデザインと手法、疫学的データの解析の基礎的知識を修得する。地域における疫学的診断、政策立案・実施・評価に必要な保健・医療の調査研究デザインについての基本的な考え方を理解する。保健師国家試験受験に際して必須の科目である。

到達目標

ナンバリング(B3202)

疫学の定義、歴史的事例を説明することができる。
有病率、罹患率等の保健統計指標の意義を理解する。
疫学研究の方法を習得する。
看護研究、地域診断など代表的なデータについて事例を示すことができる。

成績評価方法

定期試験、個人ワーク(宿題)、プレゼンテーションにより評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 疫学概念、疫学の紹介 [予習]テキストのp2～p6までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
2) 集団の健康状態の把握 有病率、罹患率、致命率、暴露効果の指標 [予習]テキストのp8～p16までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
3) 疫学的研究方法(その1) 観察研究、コホート研究 [予習]テキストのp18～p33までを読んでおく(60分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：相対危険、寄与危険、寄与危険割合、人口寄与危険、人口寄与危険割合に関する演習問題
4) 疫学的研究方法(その2) 症例・対照研究、交絡、誤差 [予習]テキストのp34～p35、p41～p50までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：オッズ比に関する演習問題
5) 疫学的研究方法(その3) 介入研究、無作為化対照試験 [予習]テキストのp36～40までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
6) 疫学における因果関係の立証、アウトブレイク時の疫学調査 時間的関係、関連の強固性、量-反応関係など [予習]テキストのp51～p57まで を読んでおく(30分)[復習]今日の理解を深める(30分)	
7) スクリーニングの目的、要件、評価 [予習]テキストのp60～p64までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：敏感度、特異度、陽性反応的中率に関する演習問題
8) 人口統計の基礎 人口静態統計、人口動態統計、年齢調整死亡率、生命表 [予習]テキストのp144～p154までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	個人ワーク：年齢調整死亡率の算出に関する演習問題
9) 疾病登録の意義と目的 [予習]テキストのp66～p72までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(60分)	次週のプレゼンテーションの準備
10) 主な疾患の疫学(その1)： 母子保健の疫学、主な疾患(がん、心血管疾患、糖尿病など)の疫学の担当学生による発表。	次週のプレゼンテーションの準備
11) 主な病疾患の疫学(その2) 難病、精神疾患、感染症、事故、学校・産業保健、環境の疫学の担当学生による発表	
12) 疫学と公衆衛生看護 社会疫学、政策疫学、臨床疫学 [予習]テキストのp98～p106までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
13) 保健統計学の基礎(その1) データの種類と分布、代表値と散布度、確率分布 [予習]テキストのp107～ p123までを読んでおく(30分)[復習]今日の理解を深める(30分)	
14) 保健統計学の基礎(その2) 統計分析、検定、帰無仮説、有意水準、p値 [予習]テキストのp124～p141までを読んでおく(30分) [復習]今日の理解を深める(30分)	
15) 保健統計調査、保健医療情報の管理・活用 基幹調査、疾病・傷害の定義と分類、保健医療情報の収集 [予習]テキストの p170～p182までを読んでおく(30分)[復習]今日の理解を深める(30分)	
授業外学習	
個人ワークの演習問題は、次回の授業時に提出すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・標準保健師講座(疫学・保健統計学)、医学書院 ・2年時の保健統計で使用したプリント ・国民衛生の動向 ・要点や演習をまとめた資料は毎回配布する。 	公衆衛生学、保健統計

課題に対するフィードバック

個人ワークの疫学演習については、翌週解答する。

備考

電卓を用意する。

科目名	保健統計			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	岩本 美江子	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

保健統計は保健・医療・看護の分野での問題を考えていく上で必要な統計学の基礎を理解し、保健情報や看護研究、疫学を学ぶのに応用できる科目である。基礎的な統計学の知識を説明し、さらに、あるデータが得られた時にどのような統計方法が使えるか（使うべきか）、またその統計処理した結果をどう読み取るか習得する。またパソコン（エクセル）によるデータ分析を理解するために実習する。さらに人口静態統計、人口動態統計の基礎的なものを理解する。3年前期で学ぶ疫学に継続する科目である。

到達目標

ナンバリング(B2209)

統計学の基礎となる確率・分布理論を述べることができる。
 統計的検定方法を述べることができる。
 各種データから適切な検定方法を選び実行することができる。
 エクセルを使用してデータ処理や統計的検定を実施できる。
 統計分析結果を読み取るすることができる。
 人口静態、人口動態統計値の基本を理解することができる

成績評価方法

定期試験（中間試験も含む）、授業内レポート（個人ワーク）により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							80
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 統計学とは：ばらつき、2つの機能 [復習]理解を深めておく（60分）	
2) 記述統計：標本の分布、正規分布、分散、標準偏差、変動係数、四分位数 [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深めておく（60分）	個人ワーク
3) 検定の原理、母平均の検定：統計的仮説検定、帰無仮説、対立仮説、片側検定、両側検定、第1種の過誤()、第2種の過誤()、Z検定。 [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	
4) 関連2群の差の検定(その1)：1標本t検定（パラメトリック法） [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）	
5) 関連2群の差の検定（その2）：1標本ウイルクソン検定（ノンパラメトリック法）、対応のある検定 [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	個人ワーク
6) 独立2群の差の検定（その1）：2標本t検定（パラメトリック法）、対応のない検定、等分散性の検定（F検定） [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	
7) マンホイットニ-U検定（ノンパラメトリック法） [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	個人ワーク
8) 出現度数に関する検定（ χ^2 検定） 2適合度の検定、 2独立性の検定 [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）	個人ワーク
9) 中間テスト [予習]これまでの範囲の予習(120分) [復習]問題の復習（60分）	テスト
10) 中間テストの復習	
11) 独立多群間の比較（パラメトリック検定） 一元配置分散分析(ANOVA) [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深める(60分)	個人ワーク
12) 相関係数（2つの変量の関連の強さ）と回帰分析 [予習]該当するプリントを読んでおく(30分) [復習]今日の授業内容の理解を深める（60分）。	個人ワーク
13) (前半) パソコンによる統計実習：エクセルの分析ツールを用いての演習 (後半) ノンパラデータの統計演習	パソコン実習
14) (前半) ノンパラデータの統計演習 (後半) パソコンによる統計実習：エクセルの分析ツールを用いての演習	パソコン実習
15) 統計図表の分類、人口静態・動態統計 保健統計のまとめ [予習]国民衛生の動向の人口静態・動態をみておく(30分)	
授業外学習	
個人ワークでは、授業日の例題の一部を宿題とし、次週解答する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の内容は、プリント配布する ・ 国民衛生の動向 	公衆衛生学、疫学

課題に対するフィードバック

個人ワークの統計問題については、翌週解答する。

備考

電卓を用意する。

科目名	社会保障論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	後期
担当者名	西田 隆	関連する資格		

授業概要

社会保障とは、人が長い人生を生きていくうえで、個人の自助努力だけでは、通常的生活を送ることができなくなるような社会的要因が生じたときに、安心した生活を保障するために創設された社会的制度である。本講義では、社会保障の概念を学び、これを基盤に、日本の代表的な社会保障の具体的な制度について学習する。

到達目標

ナンバリング(B2211)

- ・ 社会保障の意味を理解する
- ・ 社会保障の理念を理解する
- ・ 日本の具体的な社会保障制度の概要を理解する

成績評価方法

学期末の筆記試験を中心に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 社会保障論とは：社会保障の目的、歴史、仕組み 【復習】配布資料の再読（30分）	小テスト
2) 公的医療保険 【復習】配布資料の再読（30分）	小テスト
3) 公的医療保険 【復習】配布資料の再読（30分）	小テスト
4) 介護保険 【復習】配布資料の再読（30分）	小テスト
5) 介護保険 【復習】配布資料の再読（30分）	小テスト レポート
6) 年金保険 【復習】配布資料の再読（30分）	小テスト
7) 雇用保険、労働災害補償保険 【復習】配布資料の再読（30分）	小テスト
8) 演習 【復習】配布資料の再読（30分）	小テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
新聞やニュースなどで、社会保障に関する事項がないか注意し、見つけたら、内容を精査してください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業時間の配布資料	

課題に対するフィードバック

レポートは翌週コメントをつけて返す。

備考

科目名	社会福祉論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	前期			
担当者名	蔵本 満敦		関連する資格	看護師、保健師、養護教諭			
授業概要 <p>現在、わが国では、疾患や障害を抱えていても、住み慣れた地域で安心して生活し続けることを目標にさまざまな制度・施策が展開されている。こうした疾患や障害を抱えている人を、1人の人間というトータルな存在として支えていくためには、保健、医療、福祉サービスの連携が必要である。こうした状況のなか、看護職（看護師、保健師、養護教諭）が社会保障や社会福祉の制度を理解することの重要性が高まってきている。</p> <p>この科目は、社会福祉・社会保障全般に関する知識を体系的に理解して、その知識を実践（演習・看護学実習・就職や業務）場面で活かせることを目標に実施する。</p> <p>社会福祉士としての実務経験をもとに、社会福祉・社会保障制度について授業を行う。</p>							
到達目標 B2210 社会福祉の必要性、実施体制、職種が説明できる。 社会福祉に関する現状と課題について、法律、施策内容が説明できる。 社会保障制度の内容について説明できる。 多職種連携やチームケアについて説明できる。			成績評価方法 定期試験およびレポートの内容で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 社会保障・社会福祉をなぜ学ぶか、試験に向けてどう準備していくか 社会保障・社会福祉はなぜ必要か、どういう役割を果たしているか	
2) 社会福祉・社会保障の歴史と社会福祉の担い手 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
3) 子ども・家庭と福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
4) ドメスティック・バイオレンス 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
5) 障害児・者と福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（30分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
6) 高齢者と福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
7) 年金制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
8) 医療保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
9) 医療保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
10) 介護保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
11) 介護保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
12) 雇用保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
13) 労災保険制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
14) 生活保護制度 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについてレポートを作成する（60分）	レポート
15) ゲストスピーク：医療ソーシャルワーカーの講話（予定） 【復習】感想文を作成する（30分）	感想文
授業外学習	
<p>予習は、テキストの該当ページを読んでおくこと。はじめて見る語句については調べておくことが望ましい。別途、予習の内容を指示することがある。復習は、授業内容に関連する課題を提示するので翌週の授業までにレポートを作成すること。</p> <p>学んだ内容が、看護師・保健師・養護教諭の国家試験にどのような形式で出題されるのか過去問題集などで確認すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：『健康支援と社会保障 社会福祉と社会保障』 メディカ出版	社会保障論、保健医療福祉行政論 各領域の看護学実習

課題に対するフィードバック

提出されたレポートには、担当教員がコメントをつけて返却する。

備考

科目名	保健医療福祉行政論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2年	後期			
担当者名	田中 逸夫		関連する資格	保健師			
授業概要 国民の健康な生活をめざした保健・医療・福祉行財政を体系的に理解し、その基礎知識をベースに、地域に於ける健康問題の改善に向けて、保健師活動を効果的に推進するための、知識・技能・態度を修得する。 下記の到達目標【?保健医療福祉行財政の制度の変遷・役割・仕組みの理解、 社会保障制度全般の概要の理解、 保健・医療・福祉の制度の体系的な理解、 保健医療福祉計画策定から計画推進・評価までの、具体的な理解、 保健事業の立案プロセスの理解】等について、実務経験【1 国家公務員(?大蔵省中国財務局(理財・管財・経済調査)、 自治省財政局)、 2 地方公務員(山口県庁; ?総務部...税務・地方財政・職員研修所、 企画部...県勢長期計画、 土木建築部...予算・決算・企画調整、 民生部...福祉計画・地域福祉・児童福祉・障害者福祉・老人福祉・生活保護・健康福祉センター・福祉事務所・民間福祉団体等指導、 労働委員会...不当労働行為・調停)、 3 山口県の外郭団体(社会福祉法人...児童福祉施設)、 4 民間社会福祉法人(障害者福祉施設)、 5 地方・簡易・家庭各裁判所(調停委員)、 6 山口県社会福祉協議会(福祉サービス第三者評価調査者)、 7 各種大学等非常勤講師(大学・短期大学・高等学校専攻科・高等専門学校・中学校)】等をもとに、授業を行う。							
到達目標 ナンバリング(B2402) 1 保健医療福祉行財政の制度の変遷・役割・仕組みを理解する。 2 社会保障制度全般の概要を理解する。 3 保健・医療・福祉の制度を体系的に理解する。 4 保健医療福祉計画策定から計画推進・評価まで、具体的に理解する。 5 保健事業の立案プロセスを理解する。			成績評価方法 期末定期試験、 小テスト、 授業外レポート、 授業への意欲・態度により評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							65
小テスト、授業内レポート							15
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 保健医療福祉行政のねらいと制度の変遷(1)【テキストP1~P16】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
2) 保健医療福祉行政のねらいと制度の変遷(2)【テキストP17~P52】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分) 更に、授業外レポート課題 作成(5時間程度)	授業外レポート課題 (1)2)関係)
3) 保健医療福祉行政のねらいと制度の変遷(3)【テキストP53~P73】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
4) 保健医療福祉行政のねらいと制度の変遷(4)【テキストP74~P86】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分) 更に、小テスト の範囲を復習する(90分)	
5) 社会保障制度【テキストP87~P94】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	小テスト (3)4)関係)
6) 医療提供体制【テキストP95~P113】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
7) 介護保険制度【テキストP114~P125】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分) 更に、小テスト の範囲を復習する(90分)	
8) 社会保障・社会福祉の制度(1)【テキストP126~P131】(年金保険) 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	小テスト (5)6)7)関係)
9) 社会保障・社会福祉の制度(2)【テキストP131~P136】(雇用保険と労働者災害補償保険)(公的扶助) 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
10) 社会保障・社会福祉の制度(3)【テキストP136~P142】(児童家庭福祉)(高齢者福祉) 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
11) 社会保障・社会福祉の制度(4)【テキストP142~P148】(障害者福祉)(成年後見制度) 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)更に、授業外レポート課題 作成(5時間程度)	授業外レポート課題 (8)9)10)11)関係)
12) 地域保健の体系(1) 地域保健に関する公的機関【テキストP149~P168】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)	
13) 地域保健の体系(2) 関係機関との連携【テキストP169~P173】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分)更に、 テキスト全体の復習をする(90分)	
14) 保健医療福祉の計画と評価(1)【テキストP175~P203】 【予習】今回の授業の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の授業の所を復習する(40分) 更に、 テキスト全体の復習をする(90分)	
15) 保健医療福祉の計画と評価(2)【テキストP204~P223】総括(保健医療福祉行政のまとめ) 【予習】今回の所を予め見ておく(20分)【復習】今回の所を復習する(40分) 更に、 期末定期試験対策として全体の復習をする(6時間程度)	
授業外学習	
復習をキチンとすること。(授業外レポート、 小テスト準備に、身を入れて取り組むこと。)	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】標準保健師講座 別巻1、保健医療福祉行政論、医学書院 【参考書】 系統看護学講座 専門基礎分野9社会福祉、医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野10看護関係法令医学書院 国民衛生の動向、(財)厚生統計協会 国民の福祉の動向、(財)厚生統計協会 社会保障入門、厚生労働省大臣官房政策課、中央法規	社会保障論、福祉入門、公衆衛生学

課題に対するフィードバック

- 1 授業外レポート課題 ~ ; 翌週に概括説明・コメントをする
- 2 小テスト ~ ; 翌週に概括説明をする

備考

科目名	医療経済論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	前期
担当者名	原田 博子	関連する資格	保健師	

授業概要

医療サービスの経済的特殊性、人々の保健行動・受療行動分析・医療保険の理論、医療供給と資格制度、医療・看護サービスの経済的評価とその方法、経済発展と国民の健康水準との関連等について学ぶ
臨床での管理者としての実務経験をもとに、医療経済について授業を行う

到達目標

【B2401】

1. 医療経済の現状と課題について説明できる
2. 医療・看護を取り巻く社会経済的視点について説明できる。

成績評価方法

小テスト、グループワークとプレゼンテーション、課題レポートにより評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保険医療制度と提供体制からなる日本の医療制度【予習】日本の医療制度の仕組みと課題を調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト
2) 医療保険と介護保険の給付の類似点と相違点【予習】日本の介護保険制度の仕組みと課題を調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト
3) 資源の獲得と配分 【予習】なぜ看護師に資源の獲得の考えが必要か調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	
4) 資源の獲得と配分 【予習】資源の配分の仕方について調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト
5) 管理者が理解しておきたい診療報酬制度の課題とその処方箋【予習】外来受診状況を調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト
6) 診療報酬につながる看護の技術【予習】治療や薬の値段を調べてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト
7) コスト管理と物品管理SPDシステムと物品にかかる費用【予習】自分の1ヶ月の家計とその課題を考えてくる45分【復習】資料のまとめノートの作成45分	小テスト
8) グループワーク前回の資料を元にひとつの行為をするためにどの位の費用が必要か計算する。プレゼンテーション【予習】前回の資料を見た感想が発表できるようにしておく45分【復習】授業中に指示されたテーマのレポート作成45分	レポートの提出
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
事前学習45分：教科書を事前に読んで授業に参加すること。事後学習45分：授業で不明だった言葉を調べる。さらに、授業では触れなかった教科書の内容を読んでおくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：看護経営・経済論、日本看護協会出版会 看護関係法令：医学書院 社会保障・社会福祉 医学書院	社会保障・社会福祉、看護管理、看護学概論

課題に対するフィードバック

備考

科目名	看護学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	狩野 京子、磯村 由美	関連する資格		

授業概要

看護の基本概念を踏まえて看護学の知識体系の思考過程と専門職としての看護の機能と役割について学修する。看護活動の対象である人間を、健康から死、成長・発達、ライフサイクル、生活主体としての側面から考察し、ニーズの充足と自立、適応に焦点を当てた看護活動について学ぶ。看護の基本は患者、クライアントと生活者である人の苦痛を軽減し、安全・安楽・自立を確保し、環境を整え安寧を保障することである。生命倫理（尊厳死、脳死、臓器移植、生殖医療など）・人間の尊厳や基本的人権を基盤に看護活動を展開することである。看護学の創造のため大学では看護学の歴史、患者の権利をめぐる歴史の変遷など温故知新を学修する。さらに、看護師のジレンマ、インフォームド・コンセントと意思決定、個人情報とプライバシーの保護、緩和医療、看護師の法的責任や倫理的行動規範など看護行為を支える看護倫理について概要を学び、次世代の看護システムを考察する基礎を創る。

到達目標

B1216

1. 看護の主要概念である人間、健康、環境、看護について口頭で説明できる。
2. 保健医療提供システムにおける看護の役割と機能について口頭で説明できる。
3. 看護に関連する法と制度、看護実践の基準の概要を文章で記載することができる。
4. 看護学の歴史を学び、過去、現在、未来の方法論について考察することができる。
5. 看護倫理について考えることができる。
6. 看護職に必要な書く力（レポート、記録）の基礎を学修し技術を獲得することができる。
7. チーム医療のために必要なグループワークの方法論、実践の基礎を学ぶ。
8. 生活と環境に関する疑問を明確にするための思考法と解決のための文献検索力、プレゼンテーション力の基礎を学修する。
9. 看護に必要なコミュニケーション力を学修する。

成績評価方法

定期試験、レポート、態度、グループワーク、プレゼンテーションにより評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)			○	○			60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							5
グループワーク	○						10
演習							5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護学概論ガイダンス（学修方法、単位認定ならびに評価法、講義計画）、生活体験と看護 教科書はすべて持参すること（学修の方法も教授） 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	
2) 看護学とは何か：看護とは？看護学とは？看護学を構成する主要概念とその構造 看護学概論P.10-44 「看護者の基本的責務」：P.4-9 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	
3) 看護とは何か：看護の定義と看護理論（理論とは、理論の発展の経過、理論の枠組みとなった他の学問領域の理論） 看護学概論 医学書院：P.20-74 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	
4) 看護の歴史：時代と看護の変遷 看護学概論 医学書院：P.10-19 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	課題レポート
5) 看護の対象としての人間：生活者としての人、発達・変化する人間 看護学概論 医学書院：P.78-105 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	
6) 健康と看護：健康の概念と看護の目標、人々の健康状態、 看護学概論 医学書院：P.108-115 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	
7) 健康と看護：ナイチンゲールの提唱した看護 ヘンダーソンの提唱した看護 看護学概論 医学書院：p.10-20.「現代に読み解くナイチンゲール 看護覚え書き」「看護の基本となるもの」を熟読して講義に臨む持参。予習1時間 復習1時間	課題レポート
8) 生活と環境：調査（研究）の意義と目的、看護実践・理論・研究の関連性 看護学概論 医学書院：P.54-56、212-213. 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	
9) 生活と環境：研究方法論（研究デザイン、文献検索法） 看護学概論 医学書院：P.54-56、212-213. 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	
10) 看護管理：看護管理の目的と過程、看護関連の法と制度 看護学概論 医学書院：P.247-263 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	課題レポート
11) 看護管理：看護サービスにおけるマネジメント 看護学概論 医学書院：P.220-290 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	課題レポート ナイチンゲール、ヘンダーソン
12) 生活と環境：調査の実施（ナイチンゲールの看護） 「現代に読み解くナイチンゲール 看護覚え書き すべてのケア提供者のために」 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子・磯村由美）	グループワーク
13) 生活と環境：調査の実施（ナイチンゲールの看護） 「現代に読み解くナイチンゲール 看護覚え書き すべてのケア提供者のために」 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子・磯村由美）	グループワーク
14) 生活と環境：調査のまとめ（ナイチンゲールの看護） 「現代に読み解くナイチンゲール 看護覚え書き すべてのケア提供者のために」 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子・磯村由美）	グループワーク
15) 生活と環境：調査のまとめ・プレゼンテーション（ナイチンゲールの看護） 「現代に読み解くナイチンゲール 看護覚え書き すべてのケア提供者のために」 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子・磯村由美）	グループワーク プレゼンテーション
16) 生活と環境：調査のまとめ・プレゼンテーション（ナイチンゲールの看護） 「現代に読み解くナイチンゲール 看護覚え書き すべてのケア提供者のために」 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子・磯村由美）	グループワーク プレゼンテーション
17) 看護の機能と業務：看護に関する法的責任、看護の機能、業務 看護活動とは、看護実践の基準 看護学概論 医学書院：P.46-53 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	
18) 保健医療システムと看護：保険医療提供システム、保健医療の提供とチーム活動 看護学概論 医学書院：P.271-290 予習1時間 復習1時間（担当：狩野京子）	課題レポート
19) 災害看護 看護学概論 医学書院：P.333-350 予習1時間 復習1時間（担当：庄山由美）	
20) 国際看護 看護学概論 医学書院：P.306-331 予習1時間 復習1時間（担当：庄山由美）	

21) 医療現場でのコミュニケーション：患者 看護師関係とコミュニケーション 基礎看護技術 基礎看護学? 医学書院 P.18-P.62 看護技術プラクティス P.2-8 予習1時間 復習1時間 (担当：庄山由美)	グループワーク 演習
22) 医療現場でのコミュニケーション：プロセスレコード，ロールプレイング 基礎看護技術 基礎看護学? 医学書院 P.18-P.62 看護技術プラクティス P.2-8 予習1時間 復習1時間 (担当：庄山由美)	グループワーク 演習
23) 看護活動の過程：看護診断過程、看護診断の共通用語と診断基準の開発、看護実践過程 看護学概論 医学書院：P.46-53 予習1時間 復習1時間 (担当：狩野京子)	課題レポート
24) 看護活動の過程：看護診断過程、看護診断の共通用語と診断基準の開発、看護実践過程 看護学概論 医学書院：P.46-53 予習1時間 復習1時間 (担当：狩野京子)	
25) 看護倫理 看護学概論 医学書院：P.186-218 「看護者の基本的責務」も持参 予習1時間 復習1時間 (担当：狩野京子)	
26) 看護倫理 看護学概論 医学書院：P.186-218 「看護者の基本的責務」も持参 予習1時間 復習1時間 (担当：狩野京子)	課題レポート
27) 看護倫理 看護学概論 医学書院：P.186-218 「看護者の基本的責務」も持参 予習1時間 復習1時間 (担当：狩野京子・磯村由美)	グループワーク 演習
28) 看護倫理 看護学概論 医学書院：P.186-218 「看護者の基本的責務」も持参 予習1時間 復習1時間 (担当：狩野京子・磯村由美)	グループワーク 演習
29) 看護倫理 看護学概論 医学書院：P.186-218 「看護者の基本的責務」も持参 予習1時間 復習1時間 (担当：狩野京子・磯村由美)	グループワーク
30) 看護とは何か 予習1時間 復習1時間 (担当：狩野京子・磯村由美)	グループワーク

授業外学習

1. 該当するテキストの単元を事前に読んで上で授業に参加する。
2. 提示した課題について、レポートを作成し、期限までに提出する。
3. グループワークおよび演習では、主体的に意見交換やプレゼンテーションを行う。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1. 茂野香おる他編：看護学概論 医学書院 2. ICN編著，南裕子監修，小玉香津子翻訳：現代に読み解くナイチンゲール看護覚え書き すべてのケア提供者ののために 日本看護協会出版会 3. ヴァージニア・ヘンダーソン著/湯槇ます他訳：看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 4. 看護者の基本的責務2017年版 手島恵監 日本看護協会出版会	基礎看護方法論 ・ 、基礎看護方法演習 ・ 、基礎看護学実習 ・ 、臨床看護総論、看護理論、看護管理学、災害看護論、国際看護論

課題に対するフィードバック

--

備考

--

科目名	看護理論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	1年	後期			
担当者名	佐藤 美幸		関連する資格	看護師国家試験受験資格			
授業概要 看護学の基盤としての看護理論を学ぶことにより、「看護とは何か」を学問的・科学的に捉え、看護理論を実践や研究に結び付けていくことの意義を認識する。 看護理論家の理論を知る上で必要な概念や理論の構造について学習したうえで看護の諸理論を学び、その理論の特徴を的確に捉え、さらに看護実践や研究の中でどのように活用されているかを学ぶ。							
到達目標 B1216 看護理論とはどのようなものかを説明できる 理論の範囲とその適用について述べるができる 看護の主要概念について述べるができる 主な看護理論の概要と特徴を説明できる 看護理論と看護実践、看護過程、看護研究の関係を述べるができる 看護理論の看護過程への応用を説明できる 看護とは何かについての自分の考えを言える			成績評価方法 定期試験（70％）、レポート（20％）、グループワーク（10％）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 理論とは何か、看護理論とは何か、なぜ看護理論が必要か 【予習】 シラバスを読んでくる（10分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
2) 看護理論開発の歴史、看護モデルと医学モデル 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
3) 理論の機能と構成要素、基本的な特徴、看護理論の範囲 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
4) 看護理論の共通要素（4大概念） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	グループワーク 4大概念について話し合う
5) 看護理論の評価、看護理論の有効性と限界 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
6) 看護の諸理論1（ナイチンゲール、ヘンダーソン） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
7) 看護の諸理論2（オーランド、アブデラ、ウィーデンバック） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
8) 看護の諸理論3（オレム） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
9) 看護の諸理論4（ロイ） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
10) 看護の諸理論5（ペプロウ、トラ・ルビ） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
11) 看護の諸理論6（ロジャーズ、キグ、ワツ、ペター） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
12) 看護理論と看護研究、看護実践、看護過程の関係1 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	グループワーク
13) 看護理論と看護研究、看護実践、看護過程 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
14) 看護とは何か1 【予習】 看護の力を読む 【復習】 看護の力についてのレポートを作成する	個人・グループワーク レポート作成（自己学習時間 120分）
15) 看護とは何か2 【予習】 看護の力を読む 【復習】 看護の力についてのレポートを作成する	グループワーク
授業外学習	
事前配布のプリントはすべて目を通して授業に臨むこと	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
プリント配布 看護の力：川嶋みどり著、岩波新書	看護学概論

課題に対するフィードバック

グループワークを通じてレポートの振り返りを行うとともに、講義中にコメントを行う

備考

科目名	基礎看護方法論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	1年	前期			
担当者名	橋本 茂子、狩野 京子、金子 真弓、磯村 由美、宮本 心貴子		関連する資格	看護師			
授業概要 < 授業の目標 > 看護の対象となる人々との援助関係を形成する意義や方法を学修するとともに最も基本となる看護技術について学ぶ。また、看護実践の技術について、理論的背景や先行研究を活用することを認識し、根拠に基づいた看護を提供するための知識を得ることの必要性を理解する。さらに、看護技術の目的や特徴を捉えて、安全・安楽・自立の視点で考える力を養い、最終的には、健康的な日常生活行動を促進するための看護技術を提供できる素地を養う。 < 授業形態 > 講義・演習							
到達目標 1. 看護における看護技術の重要性を説明できる。 2. 看護技術を適切に実践する必要性を述べるができる。 3. 看護技術を安全・安楽・自立の視点で考える力を身につけることができる。 4. 看護の観察およびコミュニケーションの意義と目的を説明できる。 5. 環境調整の基礎知識について述べるができる。 6. 感染防止、標準予防策の基礎知識について述べるができる。 7. 標準予防策を正確に実施できる。 8. 活動・休息援助技術の基礎知識について述べるができる。 9. ボディメカニクスの原理に基づきベッドメイキング、体位変換ができる。 10. 移乗・移送の援助技術が実施できる。 11. バイタルサイン測定の意義と測定方法について述べるができる。 12. バイタルサイン測定および意識の観察が正確に実施できる。 13. 計測の意義と目的について述べるができる。 14. 正確な身体計測方法が実施できる。			成績評価方法 定期（筆記）試験（60％）、技術試験（30％）、課題レポート（10％）により総合的に評価する。但し、定期（筆記）試験・技術試験、課題レポートはそれぞれ60％以上を得ていることが単位認定の条件です。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 基礎看護技術の基盤（講義） 看護における観察、コミュニケーションの意義と目的・構成要素と成立過程	教科書 P2～62、教科書 P2～8を事前に読んでおく
2) 環境の調整技術（講義） 環境の意義、病室内環境と病床内環境、病床の作り方と整備、医療安全の確保、感染防止の基礎知識、標準予防策（手指衛生、個人防護用具）	教科書 P10～24、P422～439を事前に読んでおく
3) 活動・休息援助技術（講義） 基本的活動の援助技術（体位、体位変換、褥創予防、ボディメカニクス）、睡眠と休息の援助、実習室の使用法	教科書 P94～115、P277～279、P127～136を事前に読んでおく
4) 標準予防策（手指衛生、個人防護用具）、環境整備（演習）	事前課題・事後課題を提出する。 グループに分かれて演習を行う。
5) ベッドメイキング、シーツ交換の技術（演習）	事前課題・事後課題を提出する。 グループに分かれて演習を行う。
6) 活動・休息援助技術：体位変換、ポジショニング、ボディメカニクス（演習）	事前課題・事後課題を提出する グループに分かれて演習を行う。
7) 活動・休息援助技術：車イス・ストレッチャーでの移動・移乗・移送（講義）	教科書 P115～126を事前に読んでおく
8) 活動・休息援助技術：車イス・ストレッチャーでの移動・移乗・移送（演習）	事前課題・事後課題を提出する。 グループに分かれて演習を行う。
9) ヘルスアセスメント（講義） 問診、視診、触診、打診、聴診とバイタルサイン測定 体温・脈拍・呼吸・血圧・意識の観察に関する基礎知識と測定方法	教科書 P64～111を事前に読んでおく
10) アネロイド血圧計を用いた血圧測定（演習）	事前課題・事後課題を提出する。 グループに分かれて演習を行う。
11) バイタルサイン測定（体温・脈拍・呼吸・血圧・意識の観察）（演習）	事前課題・事後課題を提出する。 グループに分かれて演習を行う。
12) ヘルスアセスメント（講義） 計測とは、計測の実際（身長・体重・皮下脂肪・腹囲）	教科書 P111～126を事前に読んでおく
13) 身体計測（身長・体重・皮下脂肪・腹囲）（演習）	事前課題・事後課題を提出する。 グループに分かれて演習を行う。
14) 実技試験：バイタルサイン測定	自己練習を十分にして試験に臨む。
15) 実技の確認：バイタルサイン測定	自己練習を十分にして試験に臨む。

授業外学習

看護技術を身につけることは、看護者の責務であるが、授業時間内に経験しただけで自分の技にすることは困難であるためクラスメイトと協力しあい、個々の能力を高める努力をすること。また、演習前は、講義での知識を事前学修レポートにまとめる。演習後は、実施した看護技術を振り返り、自己の課題を発見することで看護技術を修得することにつながる。演習では専門職としての身だしなみを整えて演習に臨むこと。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1. 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学 医学書院	看護学概論 基礎看護方法演習 基礎看護方法論 基礎看護方法演習 基礎看護学実習 基礎看護学実習
2. 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学 医学書院	
3. 吉田みつ子：写真でわかる 実習で使える看護技術 アドバンス インターメディカ 2017	

課題に対するフィードバック

備考

科目名	基礎看護方法演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	1年	後期			
担当者名	磯村 由美、狩野 京子、金子 真弓、宮本 心貴子		関連する資格	看護師			
授業概要 看護に共通する技術である人間関係を発展させる技術、安全・安楽の技術、情報収集と観察の技術を基盤に、人間の営みである日常生活の基本的欲求である食事、排泄、清潔への援助技術、そして、安楽促進への援助技術について、講義、演習をとおして修得する。演習においては、患者役、看護師役を行い実施する。看護師役を体験していくなかで、相手の立場に立ち、相手を思いやる態度や行為を養う。これらのことから日常生活援助技術の目的・必要性・期待される効果を認識し、科学的根拠と観察に基づく援助技術を提供できることを学ぶ。							
到達目標 1. 看護における日常生活援助の意義について言える。 2. 基礎的な日常生活援助技術が科学的根拠に基づき安全・安楽、自立をめざして、かつ効率的に実施できる。 3. 安楽をもたらす体位保持、電法およびリラクゼーション技法について言える。 4. 安楽をもたらす体位保持、電法の援助方法を修得できる。 5. 栄養と食事に関する基礎知識について言える。 6. 食事摂取への援助方法を修得できる。 7. 口腔ケアの基本技術を修得できる。 8. 排泄援助の基礎知識について言える。 9. 排泄行動をとれない人への援助方法を修得できる。 10. 清潔援助の基礎知識について言える。 11. 清潔を維持するための援助方法を修得できる。 12. 身体安楽への促進、および、食事、排泄、清潔援助技術の実施前、実施中、実施後のアセスメントができる。 13. 看護技術を支える態度を養うことができる。 14. 学修の成果をグループで意見交換を行うことができる。			成績評価方法 実技試験45%、定期試験35%、事前課題・事後課題15%、授業への意欲・態度5%は、事前課題・事後課題の提出、演習での姿勢や態度（身だしなみ、言葉遣い）で総合的に評価する。但し、定期（筆記）試験、技術試験はそれぞれ60%以上を得ていることが単位認定の条件です。 2/3以上の出席がないと、受験資格が、あたえられない。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					35
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		15
授業態度・授業参加度	○				○		5
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○	○		
演習		○	○	○	○		45
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 日常生活援助技術とは 苦痛の緩和・安楽確保の技術：体位保持（ポジショニング）、電法、リラクゼーション法【予習テキスト】p138～150、p277～284 30分【復習】演習の事前課題 30分	
2) 苦痛の緩和・安楽確保の技術：体位保持（ポジショニング）、電法	演習・グループワーク
3) 苦痛の緩和・安楽確保の技術：体位保持（ポジショニング）、電法 【復習】演習の事後課題 30分	演習・グループワーク
4) 食事援助技術：食事援助の基礎知識（食事状態および食欲・摂取能力のアセスメント、医療施設で提供される食事）、食事介助、摂食・嚥下訓練、口腔ケア 【予習テキスト】p26～47、p195～242 30分【復習】演習の事前課題 30分	
5) 食事援助技術：食事介助、口腔ケア	演習・グループワーク
6) 食事援助技術：食事介助、口腔ケア 【復習】演習の事後課題 30分	演習・グループワーク
7) 排泄援助技術：自然排尿および自然排便の基礎知識、自然排尿および自然排便の介助の実際、おむつ交換、陰部洗浄 【予習テキスト】p58～73、p185～188 30分【復習】演習の事前課題 30分	
8) 排泄援助技術：床上排泄の援助（尿器・便器、おむつ交換）	演習・グループワーク
9) 排泄援助技術：床上排泄の援助（尿器・便器、おむつ交換） 【復習】演習の事後課題 30分	演習・グループワーク
10) 排泄援助技術（清潔の援助技術）：陰部洗浄 【復習】演習の事後課題 30分	演習・グループワーク
11) 清潔・衣生活の援助技術：清潔の援助の基礎知識 ：入浴、シャワー浴、手浴、足浴、フットケア 【予習テキスト】p152～164、p179～184 30分【復習】演習の事前課題 30分	
12) 清潔・衣生活の援助技術：全身清拭、寝衣交換、洗髪、整容、洗面、眼・耳・鼻の清潔【予習テキスト】p164～179、p188～189、p202～211 30分 【復習】演習の事前課題 30分	
13) 清潔・衣生活の援助技術：全身清拭、寝衣交換、洗髪、整容、洗面、眼・耳・鼻の清潔【予習テキスト】p164～179、p188～189、p202～211 30分 【復習】演習の事前課題 30分	
14) 清潔・衣生活の援助技術：足浴、リラクゼーション	演習・グループワーク
15) 清潔・衣生活の援助技術：足浴、リラクゼーション 【復習】演習の事後課題 30分	演習・グループワーク
16) 清潔・衣生活の援助技術：全身清拭、寝衣交換	演習・グループワーク
17) 清潔・衣生活の援助技術：全身清拭、寝衣交換	演習・グループワーク
18) 清潔・衣生活の援助技術：全身清拭、寝衣交換	演習・グループワーク
19) 清潔・衣生活の援助技術：全身清拭、寝衣交換 【復習】演習の事後課題 30分	演習・グループワーク
20) 清潔・衣生活の援助技術：洗髪、整容	演習・グループワーク

21) 清潔・衣生活の援助技術：洗髪、整容 【復習】演習の事後課題 30分	演習・グループワーク
22) 清潔・衣生活の援助技術：手浴 日常生活援助技術のまとめ 【復習】演習の事後課題 30分	演習・グループワーク
23) 実技試験	実技試験
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

授業計画に沿って、予習をする。専門用語などが分からない時は調べる。
予習、事前、事後の課題学修では人体の構造と機能などの学修を並行する。
講義や課題、事前のDVD視聴により援助技術のイメージ化ができるようにして、演習に臨むようにする。
演習後は、実施した看護技術を振り返り、自己の課題を発見する。演習では専門職としての自覚を持ち、身だしなみを整えて演習に臨むこと。
演習後に国家試験問題を解き、学修への意欲をもつようにする。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
任 和子他,系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学、医学書院、2018 茂野香他,系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学、医学書院、2019 吉田みつ子、本庄恵子編、写真でわかる 実習で使える看護技術 改訂第2版、インターメディカ、2017	看護学概論 基礎看護方法論 基礎看護方法論 臨床看護総論 基礎看護方法演習 基礎看護学実習 基礎看護学実習

課題に対するフィードバック

演習直前に事前学修を返却する。事前学修は演習で活用する。
毎回の演習では、看護技術のチェックリストを配布する。
演習で実施した内容をレポートした事後課題は、「苦痛の緩和・安楽確保の技術」、食事援助技術、排泄援助技術、清潔・衣生活援助技術の終了ごとに返却する。

備考

基礎看護学実習 の履修に、本科目の単位認定が必要である。

科目名	基礎看護方法論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	1年	後期			
担当者名	狩野 京子、金子 真弓、磯村 由美、宮本 心貴子		関連する資格	看護師			
授業概要 対象の身体に侵襲を伴う看護について、安全・安楽・安心を提供するための基本的な知識と技術を学ぶ。また、根拠に基づいた看護を実践することから理論的背景や先行研究を活用する。最終的には、個人の生活と健康状態との関連から、対象者のニーズに合わせた診療の補助技術を提供できるための知識、技術と態度を養う。							
到達目標 B1220 1. 検査・治療を受ける対象の安全・安楽・安心を考慮した看護の役割を口頭で説明できる。 2. 検査・治療を受ける対象に必要な看護技術の基本的な知識を習得する。 3. 検査・治療を受ける対象への基本的な看護技術を原理・原則に基づき、人権に配慮して実践できる。 4. 常に最善で最適な看護技術を探求する気持ちで講義に臨み、実践できるようにする。			成績評価方法 中間試験、期末定期試験、小テスト、授業への意欲・態度より総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)			○				70
小テスト、授業内レポート			○				5
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	検査・治療における看護技術としての安全確保 安全確保の基礎知識、誤薬・チューブ類の予定外抜去・誤認・転倒・転落防止、薬剤・放射線曝露の防止、医学書院 P.462-478 看護技術プラクティスP.20-29 予習・復習1時間（狩野京子）	講義 小テスト
2)	感染防止の技術 洗浄・消毒・滅菌、無菌操作、感染性廃棄物の取扱い、針刺し防止策 医学書院 P.422-460 看護技術プラクティスP.64-110 予習1時間 復習1時間（狩野京子）	講義 小テスト
3)	創傷管理の技術 創傷管理の基礎知識、創傷処置、褥瘡予防 医学書院 P.262-284 看護技術プラクティスP.64-110. 予習1時間 復習1時間（狩野京子）	講義 小テスト
4)	感染防止の技術の実際 滅菌手袋、ガウンテクニック、消毒・洗浄、包帯法 医学書院 P.430-435 看護技術プラクティスP.1-326 予習1時間 復習1時間（狩野京子）	講義 小テスト
5)	感染防止の技術の実際 滅菌手袋、ガウンテクニック、消毒・洗浄、包帯法 医学書院 P.430-435 看護技術プラクティスP.64-110 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	グループ演習
6)	感染防止の技術の実際 無菌操作、創傷処置 医学書院 P.262-284,P.422-460 看護技術プラクティスP.64-110 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	グループ演習
7)	排泄の援助技術 一時的導尿、持続的導尿、浣腸、直腸内与薬、摘便 医学書院 P.56-86 看護技術プラクティスP.172-206 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	講義 小テスト
8)	症状・生体機能管理技術（1）検体検査、尿・便検査等（2）12誘導心電図、SPo2モニター等 医学書院 P.374-401 看護技術プラクティスP.504-509 予習1時間・復習1時間（松本涼太）	講義 小テスト
9)	排泄の援助技術 一時的導尿、持続的導尿の実際 医学書院 P.73-80 看護技術プラクティスP.172-206 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	グループ演習
10)	排泄の援助技術の実際 浣腸、直腸内与薬、摘便 医学書院 P.80-86 看護技術プラクティスP.172-206 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	グループ演習
11)	診察・検査・処置の介助（1）X線撮影、MDL、CT、MRI、内視鏡、超音波検査等 医学書院 P.404-419 予習1時間・復習1時間（菅一能）	講義
12)	診察・検査・処置の介助（2）胸腔穿刺、腹腔穿刺、腰椎穿刺、骨髄穿刺 医学書院 P.413-419 看護技術プラクティスP.510-531 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	講義 小テスト
13)	栄養摂取の援助技術 経管栄養法、中心静脈栄養法 医学書院 P.47-56 看護技術プラクティスP.114-170 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	講義 小テスト
14)	栄養摂取の援助技術の実際 経管栄養法、中心静脈栄養法 医学書院 P.47-56 看護技術プラクティスP.114-170 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	グループ演習
15)	栄養摂取の援助技術の実際 経管栄養法、中心静脈栄養法 医学書院 P.47-56 看護技術プラクティスP.114-170 予習1時間・復習1時間（狩野京子）	グループ演習
授業外学習		
<p>授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきて下さい。 各講義の終了時に小テストを実施します。 演習では、事前課題と事後レポートがあります。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
茂野香おる他：系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学？ 医学書院 任和子他：系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学？ 医学書院 竹尾恵子他：看護技術プラクティス第4版動画付き 学研メディカル秀潤社		看護学概論、基礎看護方法論、基礎看護方法演習、基礎看護学実習、看護管理学、看護過程論等

課題に対するフィードバック

備考

科目名	基礎看護方法演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	2年	前期			
担当者名	金子 真弓、狩野 京子、磯村 由美 、宮本 心貴子		関連する資格	看護師			
授業概要 身体に侵襲を伴う看護技術について、科学的根拠に基づいた方法を学修する。講義および演習をとおして、患者および看護師の安全を確保するために必要な知識、確認行動や観察の仕方、実施の技術を学ぶ。また、演習での患者役の体験やグループワークをとおして、侵襲を伴う検査・治療を受ける患者の心理面や生活への影響を考え、看護師の役割を学ぶ。無菌操作を要する導尿・静脈血採血・注射法の技術を繰り返し練習し、技術修得を図る。 金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。 狩野京子・宮本心貴子は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習について指導を行う。							
到達目標 B2212 1．身体侵襲を伴う看護技術の方法について、人体の構造と機能をふまえて説明できる。 2．身体侵襲を伴う看護技術を行ううえでの事故防止の方法を説明できる。 3．身体侵襲を伴う看護技術を行う際の患者の心理面・生活への影響と援助を説明できる。 4．モデルを用いて、導尿・浣腸・酸素療法・吸引・静脈血採血・注射法の実施ができる。 5．看護における学習支援の方法を学ぶ。			成績評価方法 実技試験、筆記試験、事前課題、小テスト、授業参加度より総合的に評価します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							75
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、排泄の援助技術 講義（一時的導尿） 【復習】腎泌尿器系の構造と機能の復習、無菌操作（基礎看護技術 p.444～452）の復習（30分） 担当者：金子真弓	
2) 排泄の援助技術 演習（一時的導尿） 【予習】事前レポート（一時的導尿の方法と観察）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当者：金子真弓、狩野京子、宮本心貴子	グループワーク
3) 2)に同じ	グループワーク
4) 排泄の援助技術 講義（持続的導尿・浣腸・摘便・直腸内坐薬） 【予習】直腸・肛門の構造と機能、基礎看護技術 p.77～p.86の熟読（30分） 【復習】持続的導尿中の管理（30分） 担当者：金子真弓	小テスト
5) 排泄の援助技術 演習（持続的導尿・浣腸） 【予習】事前レポート（持続的導尿・グリセリン浣腸の方法と観察）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当者：金子真弓、狩野京子、宮本心貴子	グループワーク
6) 5)に同じ	グループワーク
7) 呼吸を整える技術 講義（酸素療法、吸入、排痰ケア、吸引） 【予習】呼吸器系の構造と機能復習、基礎看護技術 p.214～p.240の熟読（30分） 【復習】酸素療法中の患者の生活と管理、酸素ボンベの残量計算担当者：金子真弓	
8) 呼吸を整える技術 演習（酸素療法、吸入） 【予習】事前レポート（酸素療法・吸入・吸引の方法と観察）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当者：金子真弓、狩野京子、宮本心貴子	グループワーク
9) 8)に同じ	グループワーク
10) 症状・生体機能管理技術 講義（静脈血採血） 【予習】血液の成分と機能の復習、基礎看護技術 p.374～p.379の熟読（30分） 【復習】採血における事故防止策（30分） 担当者：金子真弓	小テスト
11) 症状・生体機能管理技術 演習（静脈血採血演習） 【予習】事前レポート（静脈血採血の方法と観察）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当者：金子真弓、狩野京子、宮本心貴子	グループワーク
12) 11)に同じ	グループワーク
13) 与薬の技術 講義（与薬の基礎知識、経口与薬、外用薬、注射の基礎知識） 【予習】基礎看護技術 p.286～p.310の熟読（30分） 【復習】与薬における事故防止（30分） 担当者：金子真弓	小テスト
14) 与薬の技術 講義（皮内注射、皮下注射、筋肉内注射） 【予習】皮下・筋肉注射部位の構造、基礎看護技術 p.310～p.320の熟読（30分） 【復習】皮下・筋肉内注射における事故防止（30分） 担当者：金子真弓	
15) 与薬の技術 演習（皮下注射・筋肉内注射） 【予習】事前レポート（皮下・筋肉内注射の方法と観察）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当者：金子真弓、狩野京子、宮本心貴子	グループワーク
16) 15)に同じ	グループワーク
17) 与薬の技術 講義（静脈内注射、点滴静脈内注射、側管注射） 【予習】点滴静脈内注射部位の構造、基礎看護技術 p.320～p.334の熟読（30分） 【復習】点滴静脈内注射における生活への影響と看護（30分） 担当者：金子真弓	小テスト
18) 与薬の技術 演習（点滴静脈内注射） 【予習】事前レポート（点滴滴下数計算、点滴内注射の方法と観察）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当者：金子真弓、狩野京子、宮本心貴子	グループワーク
19) 18)に同じ	グループワーク
20) 与薬の技術演習（静脈内注射・側管注射） 【予習】事前レポート（静脈内注射の方法と観察）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当者：金子真弓、狩野京子、宮本心貴子	グループワーク

21) 20)と同じ	グループワーク
22) 与薬の技術 講義(輸血管理) 【予習】血液の成分と機能、基礎看護技術 p.337~p.343の熟読(30分) 【復習】輸血用血液製剤の管理と副作用(30分) 担当者:金子真弓	
23) 看護における学習支援(講義) 【予習】基礎看護技術 p.296~p.310の熟読(30分) 【復習】事例における学習支援 担当者:金子真弓	小テスト
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

各演習項目について、事前課題、事後レポートがある。

テキスト、参考書、教材

関連する科目

任和子:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(3)基礎看護技術 第17版,医学書院
茂野香おる:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(2)基礎看護技術 第17版,医学書院
吉田みつ子:写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス初版,インターメディカ

看護学概論、基礎看護方法論・、基礎看護方法演習、基礎看護学実習・、臨床看護総論、人体の構造と機能、薬理・薬剤学 他

課題に対するフィードバック

事前・事後レポートへのコメントを入れて返却する。
小テストを採点后返却する。

備考

本科目の単位修得が、基礎看護学実習 の履修要件となる。

科目名	看護過程論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	2年	後期			
担当者名	金子 真弓、狩野 京子、磯村 由美、宮本 心貴子		関連する資格	看護師			
授業概要 看護を計画的・系統的に実践するための思考過程を学修する。看護の対象である個人を生活者として総合的に理解するためのアセスメント・診断、問題解決のための計画立案・実施・評価の方法を学ぶ。その際、人間・健康・環境・看護の概念、看護理論や看護技術等の看護学の知識と、疾病・治療に関する医学的な知識を統合することが必要となる。 また、紙上事例における看護過程の展開をグループで検討し、論理的な思考力を養うとともに、課題の遂行に必要な協調性を養う。科目の履修をとおして、対象の健康問題とそれに伴う反応や生活について、相互影響的なものの見方を身につけ、自分自身の看護観および人間観の構築につなげていく。 金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに本科目全ての授業を行う。 狩野京子・宮本心貴子は、看護師としての実務経験をもとに本科目の演習について指導を行う。							
到達目標 B2215 1. 看護過程とは何か、および看護過程の意義を説明できる 2. 看護過程の構成要素とその内容を説明できる。 3. 看護に必要な情報と情報収集の方法を説明できる。 4. 看護に必要な情報の分析と統合の方法を説明できる。 5. 看護診断の方法と表記の仕方を説明できる。 6. アセスメント・看護診断に基づく看護計画立案の方法を説明できる。 7. 看護過程における評価の方法を説明できる。 8. 看護記録の目的・構成・記載と管理上の留意点を説明できる。 9. 紙上事例におけるアセスメント・診断・計画立案ができる。 10. 紙上事例におけるアセスメント・診断のプレゼンテーションができる。			成績評価方法 学期末試験、小テスト、課題、グループワーク、プレゼンテーション、出席状況によって、総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							5
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) ガイダンス、看護過程の概要、アセスメント 【予習】紙上事例の病態生理・看護の学習(60分) 【復習】テキストp.218~p.238のまとめ(30分) 担当者：金子真弓	授業外レポート
2) アセスメント(情報収集・クラスタリング) 【予習】テキストp.238~p.252を読む(30分) 【復習】小レポート：紙上事例のクラスタリング(60分) 担当者：金子真弓	授業外レポート 小テスト
3) アセスメント(情報の分析・統合) 【予習】紙上事例のアセスメント(60分) 【復習】小レポート：紙上事例のアセスメント(60分) 担当者：金子真弓	授業外レポート 小テスト
4) 看護診断(看護診断の方法・看護診断の種類) 【予習】テキストp.252~p.258を読む(30分) 【復習】紙上事例のアセスメント・診断プロセスの整理(60分)担当者：金子真弓	授業外レポート 小テスト
5) 看護診断(優先順位の決定・共同問題) 【予習】テキストp.252~p.261を読む(30分) 【復習】紙上事例のアセスメント・診断プロセスの整理(60分)担当者：金子真弓	授業外レポート
6) 看護計画(成果の決定・看護介入の決定) 【予習】テキストp.261~p.266を読む(30分) 【復習】紙上事例の計画立案(60分) 担当者：金子真弓	授業外レポート 小テスト
7) 実施・評価(看護介入の実施と記録)、看護要約、看護記録 【予習】テキストp.266~p.277を読む(30分) 担当者：金子真弓	授業外レポート 小テスト
8) 紙上事例を用いたアセスメント 演習(1) 【予習】紙上事例のアセスメント(60分) 【復習】紙上事例のアセスメント(30分)担当：金子真弓・狩野京子・宮本心貴子	授業外レポート グループワーク
9) 紙上事例を用いたアセスメント 演習(2) 【予習】紙上事例のアセスメント(60分) 【復習】紙上事例のアセスメント(30分)担当：金子真弓・狩野京子・宮本心貴子	授業外レポート グループワーク
10) 紙上事例を用いたアセスメント 演習(3) 【予習】紙上事例のアセスメント(60分) 【復習】紙上事例のアセスメント(30分)担当：金子真弓・狩野京子・宮本心貴子	授業外レポート グループワーク
11) 紙上事例を用いた看護診断 演習(4) 【予習】紙上事例の看護診断(60分) 【復習】紙上事例の看護診断(30分)担当者：金子真弓・狩野京子・宮本心貴子	授業外レポート グループワーク
12) 紙上事例を用いたグループワークの発表 演習(5) 【予習】紙上事例のプレゼンテーション準備(60分) 【復習】紙上事例の診断整理(30分)担当者：金子真弓・狩野京子・宮本心貴子	授業外レポート プレゼンテーション
13) 紙上事例を用いた看護計画 【予習】紙上事例の看護計画(60分) 【復習】紙上事例看護計画の整理(30分) 担当者：金子真弓	授業外レポート グループワーク
14) 紙上事例を用いた実施・評価 【予習】紙上事例の評価(30分) 【復習】事例の評価内容の整理(30分) 担当者：金子真弓	授業外レポート
15) 情報収集演習(観察・測定・コミュニケーションによる情報収集) 【予習】紙上事例に必要な情報収集の方法(30分) 【復習】情報収集技術の考察(30分) 担当者：金子真弓・狩野京子・宮本心貴子	情報収集演習
授業外学習	
事例を用いた看護過程の展開を行うため、事例の健康障害の病態生理・症状・治療・看護についての学習が必要となります。予習・復習としての授業外レポートが多くあります。紙上事例のアセスメント・診断に関するグループワークを行うための自己学習、プレゼンテーションを行うための準備が必要です。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 系統看護学講座専門 基礎看護技術 第17版、医学書院 NANDA-I看護診断定義と分類2018-2020、医学書院 NEW実践！看護診断を導く情報収集・アセスメント第6版、学研	看護学概論、基礎看護方法論 ・ 、基礎看護方法演習 ・ 、臨床看護総論、基礎看護学実習 ・ 、看護理論、看護管理 学、疾病論 ・ 、薬理・薬剤学 等

課題に対するフィードバック

提出された課題は、翌週の授業までにコメントを記入して返却します。

備考

課題やグループワークを通して、看護過程展開の基礎を学んでいきます。
本科目の単位修得が基礎看護学実習の要件となります。

科目名	家族論・家族関係論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	前期
担当者名	安成 智子	関連する資格	看護師 保健師	

授業概要

家族の定義、機能について学び、現代の家族の抱える問題について考察する。さらに、家族を看護の対象とすることの意義、役割を考え、家族看護の実践方法について理解を深める。

安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、家族を含めた対象の捉え方やその看護について授業を行う。

到達目標

B2213

1. 家族とは何か、家族の機能とは何かについて理解する。
2. 現代の家族が抱える問題について、その背景や要因について探求する。
3. 家族を看護の対象として捉える必要性を理解し、得られた情報からアセスメントすることができる。
4. 様々な家族への特徴的な援助方法を理解する。

成績評価方法

定期試験(70点)、授業内レポートまたはワークシート(20点)、プレゼンテーション(10点)を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○		○				10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	「家族」「家族の健康」とは何か（統計資料から見た家族）(安成) 【予習】看護師国家試験の「家族看護」に関する過去問題を読んでおく。(20分) 【復習】国家試験の過去問の誤答部分を修正する。(20分)	
2)	日本人と家族（世帯構造、家族の機能、民法）(安成) 【予習】配布資料を読んでくる(20分) 【復習】国家試験の過去問の誤答部分を修正する。(20分)	
3)	家族の理解（ジェノグラム、エコマップ）(安成) 【予習】配布資料を読んでくる(20分) 【復習】講義内容の復習をする(30分)	自分自身のジェノグラムとエコマップを描く
4)	家族看護の理論的枠組み（アセスメントモデル、家族看護過程）(安成) 【予習】配布資料を読んでくる(20分) 【復習】講義内容の復習をする(30分)	
5)	家族看護の理論的枠組み（家族看護研究）(安成) 【予習】配布資料を読んでくる(20分) 【復習】講義内容の復習をする(30分)	
6)	多様な家族の理解（事例家族の把握）(安成) 【予習】「認知症」についての基本的な知識を持っておく(30分) 【復習】ワークシートの項目を確認する(30分)	DVD視聴を視聴し、家族の情報収集のために必要な項目を考える
7)	多様な家族の理解（事例家族の把握、疾患の理解）(安成) 【予習】配布資料を読んでくる(20分) 【復習】ワークシートを書けるところまで記載する(60分)	ディスカッション ワークシート(家族の情報収集)
8)	多様な家族の理解（家族像の情報収集）(安成) 【予習】ワークシートの記載項目を再確認する(30分) 【復習】ワークシートを完成させる(60分)	ディスカッション ワークシート
9)	家族看護事例の検討準備（事例の理解）(安成) 【予習】事例がもつ疾患を理解する(20分) 【復習】グループメンバー間で不足資料を入手しておく(60分)	グループワーク
10)	家族看護事例の検討（看護問題の抽出と焦点化）(安成) 【予習】事例がもつ疾患を理解し何が問題かを考えてくる(30分) 【復習】グループメンバー間で不足資料を入手しておく(60分)	グループワーク
11)	家族看護事例の検討（看護過程の検討）(安成) 【予習】グループメンバーが集めた資料を読んでおく(30分) 【復習】グループワークの発表準備をする(60分)	グループワーク
12)	家族看護事例の検討（看護過程の展開と課題抽出）(安成) 【予習】グループワークの発表準備をする(60分) 【復習】グループワークの発表準備をする(60分)	グループワーク
13)	家族看護事例の検討（事例発表1）(安成) 【予習】発表グループの事例を読んでおく(30分) 【復習】ワークシートを記載する(30分)	グループワーク(発表)
14)	家族看護事例の検討（事例発表2）(安成) 【予習】発表グループの事例を読んでおく(30分) 【復習】ワークシートを記載する(30分)	グループワーク(発表)
15)	家族看護における看護者の役割と援助姿勢(安成) 【予習】配布資料を読んでくる(30分) 【復習】講義内容の復習をする(30分)	
授業外学習		
提示された課題について、疾患の理解を含めた自己学習をすること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜配布する		成人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、老年看護学、在宅看護学

課題に対するフィードバック

採点后、返却する。

備考

積極的にグループワークに参加し、メンバーと意見交換をすること。

科目名	臨床看護総論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	2年	前期			
担当者名	狩野 京子		関連する資格				
授業概要 臨床看護における対象や場の特徴を理解し、健康障害の経過別看護、主要な症状別看護、治療別看護について理解する。そのために、人体の構造と機能、基本看護実践で活用できる理論を理解した上で、看護師としての心得、看護の役割について、修得する。また、基礎看護で学んだ人間とは何かという基本を理解した上で、医療・看護を必要としている患者とその家族について理解する。最終的に、臨床を人間(看護師)と人間(患者)の出会いの場として位置づけ、1人の看護師として、真に患者と向き合うことについて熟考することができる。							
到達目標 B2214 1.臨床看護の場や看護の対象となる人々の特徴を説明することができる。 2.健康障害のレベルと経過に応じた看護について説明することができる。 3.主要な症状と看護について説明することができる。 4.主要な治療と看護について説明することができる。 5.臨床看護に臨む上での心得、看護の役割について説明することができる。 6.臨床看護に臨む上で、真に患者と向き合うことの意味について説明することができる。			成績評価方法 期末定期試験60% 小テスト10% 授業外レポート10% 授業への関心・意欲・態度10% グループ学習への参加度5% プレゼンテーション5% 毎回授業の振り返りを出席カードに記述し提出する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)			○				60
小テスト、授業内レポート			○		○		10
宿題、授業外レポート					○		10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション	○	○	○		○		5
グループワーク	○	○			○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 臨床看護総論ガイダンス 健康上のニーズを持つ対象者(子供・成人・高齢者・親になる人)と家族への看護 【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート課題 * ライフサイクル * マズローの欲求の階層構造
2) 家族の機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ 生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ【予習】テキスト p32-55を読む(60分)【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 病院・施設看護と在宅の看護の違い 小テスト
3) 健康状態の経過に基づく看護 *健康の維持・増進を目指す看護 *急性期における看護 【予習】テキストp58-86を読む(30分)【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 危機理論 小テスト
4) *慢性期における看護 *リハビリテーション期における看護 【予習】テキストp86-116を読む(60分)【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * アドヒアランス * ICF国際生活機能分類 小テスト
5) *終末期における看護 *コーピングに関連する症状を示す対象者への看護 【予習】テキストp116-133、208-220を読む(60分)【復習】レポート作成(60分) (担当:磯村由美)	授業外レポート * 死にゆく人の心理過程 小テスト
6) 主要な症状を示す対象者への看護 *呼吸に関連する症状および循環に関連する症状を示す対象者への看護 【予習】テキストp136-158を読む(60分) 【復習】レポート作成(60分) (担当:松本涼太)	授業外レポート * 呼吸と心臓機能のメカニズム 小テスト
7) *栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護 *排泄に関連する症状を示す対象者への看護 【予習】テキストp159-182を読む(60分) 【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 客観的栄養評価 * 排泄機能のメカニズム 小テスト
8) *活動や休息に関連する症状を示す対象者への看護 *認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護 【予習】テキストp183-207を読む(60分) 【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 認知・感覚障害の症状 小テスト
9) *安全や生体防御機能に関連する症状を示す対象者への看護 *安楽に関連する症状を示す対象者への看護 【予習】テキストp208-245を読む(30分) 【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 不安と悲嘆 * 痛みのアセスメント 小テスト
10) 治療・処置を受ける対象者への看護 *輸液療法および化学療法を受ける対象者への看護 【予習】テキストp248-268を読む(30分)【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 化学療法の副作用 小テスト
11) *放射線療法を受ける対象者への看護 *手術療法を受ける対象者への看護 【予習】テキストp269-290を読む(30分)【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 放射線療法の急性有害反応 小テスト
12) *集中治療を受ける対象者への看護 *創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護 【予習】テキストp290-308を読む(30分)【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 褥瘡の発生要因 *創傷の治療過程に影響する因子 小テスト
13) 身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護 測定用・治療用医療機器の原理と実際と使用時の看護 【予習】テキストp308-315、342-377を読む(60分)【復習】レポート作成(60分) (担当:狩野京子)	授業外レポート * 測定用医療機器と治療用医療機器の原理 小テスト
14) 事例による看護実践の展開 疾患の病態と治療、病態関連図の作成 【予習】疾患の病態と治療(60分)【復習】病態関連図のまとめ(60分) (担当:狩野京子)	グループワーク
15) 事例による看護実践の展開 看護問題抽出・看護援助の検討 プレゼンテーション 【予習】看護問題抽出(60分)【復習】看護援助のまとめ(60分) (担当:狩野京子)	グループワーク プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください(60分程度の予習時間)。 授業計画に沿って、授業外レポートの作成(A4 1~2枚程度)をお願いします。 授業開始時、毎回小テスト(前回講義内容)があります。講義資料、テキストを復習して下さい(60分程度の復習時間)。 授業終了後、毎回出席カードに自由記載欄を設けてありますので講義について理解したことや考えた事、質問などを記述して下さい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>香春知永他編集：系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 基礎看護学 医学書院 2019</p> <p>宮脇美保子編集：新体系 看護学全書<別巻> 看護技術の患者への適用、メヂカルフレンド社 平成29年</p>	<p>基礎看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、在宅看護学、精神看護学、他</p>

課題に対するフィードバック

時間外レポートは、提出後コメントを付けて返却します。
小テストは採点后、返却します。

備考

本科目の修得により、臨地実習に必要な知識の土台を習得することが出来ます。

14) 15) の事例検討については、11) 終了時にオリエンテーションをします。

科目名	医療安全管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	坂井 浩美、立川 美香	関連する資格		

授業概要

医療安全(リスクマネジメント)および感染制御(インフェクションコントロール)は、医療関連施設での最重要事項であり、チーム医療が必須である。
本講座では、多職種からの講義により、医療安全および感染制御に対する基本的知識・技術を学習する。

到達目標

【B2403】

1. 医療安全の原理・原則を理解する。
2. インシデントレポートの重要性を説明できる。
3. 医療事故事例の分析の演習を通して、事故の背景要因や対策を検討することができる。

医療安全に関する実務経験のもとに坂井、尾家は講義を行う。

成績評価方法

1. 定期試験(60%)
2. 授業中の討議の発言や積極性・授業態度(20%)
3. グループワーク(10%)
4. プレゼンテーション(授業内での討論を含む)(10%)

評価項目	評価基準							評価割合(%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							60	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							20	
プレゼンテーション							10	
グループワーク							10	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション（坂井） 医療安全を学ぶことの大切さと事故防止の考え方【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
2) 医療事故とヒヤリ・ハット（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	前回の振り返り
3) 医療安全対策の国内の制度と国外の潮流（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	前回の振り返り
4) 組織的な安全管理体制への取り組み（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む30分）	前回の振り返り
5) 注射業務・内服と薬業務・輸血業務と事故防止（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	前回の振り返り
6) チューブ類・医療機器の事故防止（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	前回の振り返り
7) 療養上の世話の事故防止（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	前回の振り返り
8) 患者間違い/間違いを誘発する要因（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	前回の振り返り
9) 演習：危険予知トレーニング（坂井・立川） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	前回の振り返り 演習：グループワーク
10) 医療安全とコミュニケーション（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	前回の振り返り
11) 看護師の労働安全衛生上の事故防止 職業感染 抗がん剤の曝露（尾家） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分） 【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
12) 医療関連感染とその予防法（尾家） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分） 【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
13) 医療安全上、注意が必要な医薬品（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分） 【復習】講義後にレジюмеと合わせて、教科書を読む（30分）	
14) 医療事故分析の方法（RCA 業務工程図）（坂井） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分） 【復習】レジюмеを読みRCAの方法、注意点を理解する（30分）	
15) 演習：インシデント事例を用いたRCA演習（坂井・立川） 【予習】前回のレジюмеを読みRCAの方法を読む（30分） 【復習】レジюмеと合わせて演習内容を振り返る、（60分）	演習：グループワーク
授業外学習	
授業資料のファイルを毎回持ってきてください。 第1回目は教材の序章と第1章を読んでください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 統合分野、看護の統合と実践 [2]、医療安全、川村治子 著 医学書院	看護学概論、人間関係論、微生物学、コミュニケーション論

課題に対するフィードバック

備考

授業の出欠席は出席確認カードでチェックします。
授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
試験の受験資格は全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数について教員からお知らせや注意はしませんので、各自で管理してください
授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

皆さんの医療安全に関する意識や知識を知るためにアンケートをすることがあります。行ったアンケートの結果は授業に反映します。

科目名		基礎看護学実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	1年	後期			
担当者名	狩野 京子、金子 真弓、磯村 由美、宮本 心貴子	関連する資格	看護師				
授業概要 実習目的 <p>患者の生活や治療の場である病院・病棟・病室の機能を知り、患者の安全・安楽・自立に向けてどのように環境が整えられているか学ぶ。</p> <p>看護の対象となる患者や看護師との関わりをとおして、患者の療養生活や看護活動の実際を学ぶ。また、患者・看護師・実習生との関わりをとおし、自己のコミュニケーションの課題や強みを明確化する。さらに、看護の役割について、自分の考えを述べることができる。</p>							
到達目標 B1221a 1. 看護実践の場である病院・病棟・病室の概要について具体的に述べる ことができる。 2. 臨床の場における看護師の業務や役割について述べる ことができる。 3. 入院患者の療養生活について述べる ことができる。 4. 患者と円滑なコミュニケーションをと ることができる。 5. 看護師に必要な態度を身につける ことができる。 6. 実習体験をとおして、看護学生として自己の強みや課題を 明確化することができる。 7. 反省会をとおして、学びを振り返り、グループで学びを 共有することができる。			成績評価方法 ・基礎看護学実習 評価表（別紙）に基づき、 実習内容・実習記録内容などを総合的に評価 する。 ・得点率60%以上を合格とし、単位を認定する。				
評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>1. 実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護実践の場である病院・病棟・病室の概要について具体的に学ぶ。 2) 臨床の場における看護師の業務や役割について知る。 3) 入院患者の療養生活について知る。 4) 患者と円滑なコミュニケーションをとる。 5) 看護師に必要な態度を身につける。 6) 実習体験をとおして、看護学生として自己の強みや課題を明確化する。 7) 反省会をとおして、学びを振り返り、グループで学びを共有する。 <p>2. 実習方法 実習は前半・後半の2クラスに分けた上で、指示された一方を履修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学内オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・実習目的・方法の説明、実習心得、身だしなみについて、記録物について、事前課題の説明。 2) 病院・病棟オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・実習病院における看護の概要について説明を受ける。 ・病院・病棟の構造、物品場所、入院患者の特徴、看護体制、週間予定、日課などについて説明を受ける。 3) 看護活動の見学 <ul style="list-style-type: none"> 方法... 看護師に同行しながら看護活動の見学を行う。 可能な範囲で臨床実習指導者と共に一部実施しても良い。 内容... 実施されている日常生活援助及び診療の補助に関する援助を見学し、理解する。 事前学習をして臨み、実際の援助場面の見学をとおして学習を深める。 留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・患者への挨拶を行う。 ・学びたい視点を明確にし、根拠を考えながら見学する。 ・疑問等は調べる・確認する・聞くなどの積極的な行動をとる。 ・プライバシーの保護・倫理的配慮を遵守する。 4) 実習最終日には、学修発表会を行う。 <p>3. 履修条件 看護学概論、基礎看護方法論 を履修していること。</p> <p>担当：狩野京子、金子真弓、磯村由美、宮本心貴子、非常勤助手2名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護実践の場に立つことの責任を自覚し、事前学修（知識・技術）を十分に行って実習に臨むこと。 ・大学で学んだことを活用しながら、現象を多面的に捉える能力・思考する能力・伝える能力を養うようにグループワークや実習に臨むこと。
授業外学習	
<p>実習は前半・後半の2クラスに分けて行う。自分が該当しない週は、自己学修時間として有効に活用すること。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>基礎看護技術 ・ 看護技術プラクティス・基礎看護方法論 で使用した参考書、配布資料。 実習ガイドブックとその他の配布資料は随時配布する。</p>	<p>看護学概論、基礎看護方法論</p>

課題に対するフィードバック

備考

実習前に指示された抗体価検査を実施し、必要時ワクチンの接種を受けること。

科目名	基礎看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	2年	後期
担当者名	金子 真弓、狩野 京子、磯村 由美、宮本 心貴子	関連する資格	看護師	

授業概要

援助の人間関係をとおして、対象の健康問題を総合的に把握し、問題解決できる基礎的能力を養う。また、看護実践を通して自己を見つめ、看護観を深める。
金子真弓・狩野京子・宮本心貴子は、看護師としての実務経験をもとに、本科目の実習指導を行う。

到達目標

B2216a

1. 患者との関係を築くコミュニケーションを図ることができる。
2. 患者の健康維持・回復を促すために必要な情報収集ができる。
3. 得た情報を解釈し、原因・誘因や推論を含めた分析ができる。
4. 解決すべき看護問題を明確にすることができる。
5. アセスメント・診断の過程を活かした看護計画を立案できる。
6. 立案した看護計画をもとに患者に応じた援助を実施できる。
7. 実施した看護を振り返り、看護の過程を評価できる。
8. 看護学生として誠実な態度がとれる。
9. 看護実践をもとに、看護について考えることができる。

成績評価方法

実習目標の達成状況、レポート、実習態度を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
基礎看護学実習 ガイドブック参照	実習前のグループ演習 実習中のグループカンファレンス 実習後のグループカンファレンス
授業外学習	
<p> 実習前に、看護過程論の授業の復習を再度行う。また、実際の実習場所における代表的な健康障害と看護について理解する。バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント技術、日常生活援助技術の復習を行い、対象を想定した技術練習を行う。実習期間中は、患者の情報の分析・診断、計画の立案と評価を具体的に行い、また実施した援助の考察をとおして看護実践の基礎的能力を養う。 実習後は、看護の実践過程や看護の役割について考察しレポートとしてまとめる。 </p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
T.ヘザー・ハードマン, 上鶴重美編, 日本看護診断学会監訳 : NANDA-I看護診断定義と分類2018-2020, 医学書院, 2018. 古橋洋子: NEW実践! 看護診断を導く情報収集・アセスメント , 学研, 2019. その他	看護学概論、基礎看護学方法論、基礎看護学方法論演習、看護理論、臨床看護総論、看護過程論

課題に対するフィードバック

実習前の課題、実習中の記録物、実習後レポートについてはコメントをつけて返却する。追加修正が必要な場合は、再提出を求め、実習到達目標の達成を図る。

備考

科目名	成人看護学総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	原田 博子、坂井 浩美	関連する資格	看護師、保健師	

授業概要

臨床看護の実践に必要な理論を概観し、成人期（青年期・壮年期・向老期）の特徴、ライフスタイルと健康問題、成人保健の歴史と動向、成人期にみられる主要な健康障害とその要因、健康レベル（健康づくり、慢性期・急性期のケア、障害・難病を持つ人への支援、終末期にある人への支援）に応じた看護活動の特徴など成人看護学の総論を学ぶ。

原田は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、成人看護学総論について授業を行う
坂井は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、成人看護学総論について授業を行う

到達目標

【B2404】

1. 成人の特徴について説明する。
2. 成人の健康レベルに対応した看護について説明する。
3. 成人の健康生活を促すための看護技術について説明する。

成績評価方法

- ・ 定期試験、レポートを評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 成人と生活、発達段階の特徴 1章 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】事例1を読んで考えたことまとめ30分	次回レポート提出
2) 成人の生活からとらえる健康 2章 A 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】事例 P 6 2 を読んで考えたことをまとめる30分	検査データの見方の資料配布
3) 保健・医療・福祉システムの概要 2章 B 4章 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】今後必要な統計資料をまとめてくる30分	統計資料のまとめ提出
4) 成人への看護アプローチの基本 3章 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】倫理の原則をノートに抜書きをする30分	
5) 健康をおびやかす要因と看護 5章 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】章の巻末の課題を考えてノートにしてくる30分	
6) 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 6章 危機理論資料 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】危機理論の資料を読んでまとめる45分	
7) 人生の最後のときを支える看護 9章 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】指示された課題をまとめる45分	
8) 健康生活の慢性的なゆらぎの再調整を促す看護 病みの軌跡 7章【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】事例を読んで考えたことをまとめる45分	
9) 健康生活の慢性的なゆらぎの再調整を促す看護 セルフマネジメント、エンパワメント 7章【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】事例を読んで考えたことをまとめる45分	
10) 学習者である患者への看護技術 コンプライアンス、自己効力 10章【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】事例を読んで考えたことをまとめる45分	
11) 障害がある人の生活とリハビリテーション 8章 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】章の巻末の課題を考えてノートにしてくる30分	
12) 治療過程にある患者への看護技術 11章 A B C 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】指示された文章を構造化する 2時間	課題レポートあり
13) 治療過程にある患者への看護技術 11章 ボディイメージ、ストレスコーピング、意思決定理論【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】教科書にある事例を読んで考えたことをまとめる45分	
14) 症状マネジメントにおける看護技術 12章 【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】看護活動に示された実践内容の中から選んで事例に対する対応をまとめてくる45分	
15) 新たな治療法、先端医療と看護 13・14章【予習】事前に授業計画にある教科書の文章を読んでくること45分【復習】1年生で学習した総合医療論をふまえて、新たな治療法や先端医療における看護をまとめる45分	
授業外学習	
<p>本科目は、成人看護学実習における看護過程の展開のための理論と関連付けて学習してもらいます。そのため、教科書の予習では、次回学習する内容を読んで要約を提出してもらいます。事前学習には45分を要します。さらに、毎回の授業で配布した資料には自宅まで目を通して次回の授業に参加してください。そのための事後学習時間は45分要します。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>【テキスト】小松浩子他：系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕成人看護学総論、医学書院 【参考書】シャーリー・ドゥブレイ、若林一美訳：近代ホスピスの創始者シシリーソングラス、日本看護協会出版会 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論</p>	<p>看護学概論、総合医療論、成人看護学、成人看護学、成人看護学、リハビリテーション看護論、成人看護学実習</p>

課題に対するフィードバック

提出したレポートは教員がコメントを入れて返却します。

備考

科目名	成人看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	後期
担当者名	原田 博子、坂井 浩美	関連する資格		

授業概要

成人期にある対象の健康状態を診るためには、身体機能の正常・異常を診るための知識と技術が必要である。各機関を系統的に構造と機能を十分に理解したうえで、患者に生じた健康上の障害や症状などを疾患と関連付けられる知識を習得する。そのためには、患者の主訴や現病歴・既往歴を問診する技術を学び、視診・触診・打診・聴診の方法から患者の健康上の問題を情報収集する。さらに、専門職として得られた情報から患者への援助を学ぶ。

原田・坂井は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、成人看護学 について授業・演習を行う。

到達目標

【B2405】
 フィジカルアセスメントの概念を理解できる
 健康上の機能の正常・異常を判断できる
 健康上の問題を系統的に情報収集し、アセスメントし看護問題を明確にできる

成績評価方法

定期テスト、レポート、授業態度を総合的に評価する

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							60	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート							30	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習				○			10	
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護業務における観察の重要性 ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	
2) フィジカルアセスメントのために必要な観察問診・視診・触診・打診・聴診 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	授業内で演習 聴診器の使用方法を復習
3) 呼吸器系のフィジカルアセスメント 息が苦しい 関連図の記載方法 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	課題提出あり授業内で演習
4) 呼吸器の症状がある患者への看護 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	課題レポート用の資料配布授業内で演習
5) 循環器系のフィジカルアセスメント 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	授業内で演習
6) 循環器の症状がある患者への看護 動悸 浮腫 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	課題提出有り授業内で演習
7) 消化器系のフィジカルアセスメント 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	授業内で演習
8) 消化器系の症状がある患者への看護 嘔吐・便秘・嚥下障害 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	課題提出有り授業内で演習
9) 感覚系のフィジカルアセスメント 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	授業内で演習
10) 運動系のフィジカルアセスメント 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	授業内で演習
11) 脳神経系のフィジカルアセスメント ドメイン関連図の作成方法 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】本日の内容をノートにまとめる30分	課題レポートの提出授業内で演習
12) 演習 全身状態の正確な観察法・聴診器の使用法 1限演習室ユニフォーム 【予習】次回の予定の章を読んでくること45分【復習】	演習・配布資料・教科書・聴診器使用 演習レポートの作成
13) 演習 全身状態の正確な観察法・聴診器の使用法 1限演習室ユニフォーム 2限 【予習】演習の内容を読んでくること45分【復習】本日の演習レポートの作成	演習・配布資料・教科書・聴診器使用
14) 演習 異常音の観察 心音・呼吸音・腸蠕動音 1限演習室ユニフォーム 日常生活行動と関節可動域の確認 【予習】演習の内容を読んでくること45分【復習】	演習・配布資料・教科書・聴診器使用
15) 演習 異常音の観察 心音・呼吸音・腸蠕動音 1限演習室ユニフォーム 日常生活行動と関節可動域の確認 2限 【予習】演習の内容を読んでくること45分【復習】2回分の演習レポートの作成提出	演習・配布資料・教科書・聴診器使用 2回分の演習レポートを提出
16)	
17)	
18)	
19)	
20)	

21)	
22)	
23)	
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

第2回より、次回の授業で学ぶ章を説明するので、前もって読んで理解してくる。なお、読んだかどうかは授業中に確認し、評価の一部とする。事前学習45分 事後学習30分
遅刻・早退・中抜け15分以上は欠席とする。課題レポートは、授業内容を理解できたか確認のためです。そのため、欠席しても課題レポートを次回でも良いので提出すること

テキスト、参考書、教材	関連する科目
フィジカルアセスメントガイドブック第2版 医学書院 看護技術の患者への適用 メヂカルフレンド社	3年前期に履修する成人看護学 リハビリテーション論、成人看護学実習 および他の領域の実習にも関連する 2年生の基礎看護学実習、老年看護学実習 に学習内容が関連する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートは教員のほうでコメント・評価して返却します。修正や追記を指示する場合があります。

備考

--

科目名	成人看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	3年	前期			
担当者名	坂井 浩美、原田 博子、山崎 啓子、伊藤 美穂		関連する資格				
授業概要 成人期の慢性疾患に看護を学ぶ。慢性疾患の特徴と治療の特徴を踏まえた看護実践方法、疾患に伴う検査の目的と検査時の看護の重要性と視点について学ぶ。疾患によっては障害、自己コントロールが必要なものもあり、家族のサポートが不可欠なこともある。患者・家族への支援と個別性を踏まえた患者理解の必要性を学ぶ。 病院で臨床に携わった経験を持つ教員（坂井・原田・山崎啓子・伊藤）と、臨床現場で活躍している専門看護師、認定看護師の講師により講義・演習を行います。							
到達目標 【B3401】 1.慢性疾患を有する人と家族の特徴を説明できる。 2.慢性疾患を有する人と家族に対する看護の役割を説明できる。 3.慢性疾患を有する人のセルフマネジメントを能力を高める援助方法を述べるができる。 4.慢性疾患を有する人に対する検査・治療の看護実践を説明できる。			成績評価方法 ・定期試験（60％）、小テスト（15％）、レポート（10％）を評価の対象とする。 ・演習（10％）、グループワーク（5％）においては積極性・参加態度も評価に含める。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート	○	○					15
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○	○		5
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 慢性期看護とは（坂井）【予習】慢性期看護 章を読む（60分）【復習】テキストと配布資料を見直し授業内容を振り返る（60分）	
2) 慢性期を有する人とその家族の理解（坂井）【予習】慢性期看護 章を読む（60分）【復習】テキストと配布資料を見直し授業内容を振り返る（60分）	事例の振り返り
3) 慢性期を有する人とその家族への援助・支援の基本（坂井）【予習】慢性期看護 章を読む（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る、課題レポート（60分）	小テスト
4) 呼吸器系の障害を有する人と家族の援助 肺がん（坂井）【予習】慢性期看護 章-1-3.肺がん（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る、課題レポート（60分）	
5) 呼吸器系の障害を有する人と家族の援助 気管支喘息・慢性呼吸不全（外部講師：認定看護師）【予習】慢性期看護 章-1-1. 章-1-2（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る、課題レポート（60分）	
6) アレルギー・感染症を有する人と家族の援助（坂井）【予習】別途指示あり【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	
7) 循環器系の障害を有する人と家族の援助 高血圧・不整脈（山崎啓子）【予習】慢性期看護 章-2-1. 章-2-2 章-3.ペースメーカを装着している患者の援助（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	
8) 循環器系の障害を有する人と家族の援助 虚血性心疾患・慢性心不全（山崎啓子）【予習】慢性期看護 章-2-3. 章-2-4（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	事例の振り返り
9) 内分泌療法を受ける患者の援助 前立腺がん 乳がん（坂井）【予習】慢性期看護 章-5-2. 章-8.内分泌療法を受ける患者の援助（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	小テスト
10) がん患者と家族への看護（外部講師：専門看護師）【予習】慢性期看護 章5.6を読む（60分）【復習】配布資料を見直し授業内容を振り返る（60分）	
11) 血液・免疫系の障害を有する人と家族の援助 再生不良性貧血・白血病・悪性リンパ腫（坂井）【予習】慢性期看護 章-6-1.2. 章-7造血幹細胞移植を受ける患者の援助【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	
12) 血液・免疫系の障害を有する人と家族の援助 HIV感染/AIDS（坂井）【予習】慢性期看護 章-6-3.HIV感染/AIDS（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	
13) 感覚器系の障害を有する人とその家族の援助（坂井）【予習】慢性期看護 章-8. 感覚器系の障害を有する人とその家族への援助（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	事例の振り返り
14) 血液・免疫系の障害を有する人と家族の援助 関節リウマチ、全身性エリテマトーデス（坂井）【予習】慢性期看護 章-6-4. 章-6-5. 章-4.ステロイド療法を受ける患者の援助（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	
15) 代謝・内分泌系の障害を有する人と家族の援助 甲状腺機能障害 脂質異常症（坂井）【予習】慢性期看護 章-3.甲状腺機能障害、 章-2.脂質異常症（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	小テスト
16) 代謝・内分泌系の障害を有する人と家族の援助 糖尿病（坂井）【予習】慢性期看護 章-4. 章-1.インスリン療法を受ける患者の援助【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る。NANDA- の看護診断分類法に基づき事例の情報収集（120分）	課題レポート（症例患者の情報収集の整理）
17) 脳・神経系の障害を有する人と家族の援助 筋委縮性側索硬化症・重症筋無力症（坂井）【予習】慢性期看護 章-7-3.筋委縮性側索硬化症、 章-7-4.重症筋無力症（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る、課題レポート（60分）	
18) 脳・神経系の障害を有する人と家族の援助 脳卒中（坂井）【予習】慢性期看護 章-7-1.脳梗塞（60分）【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る（60分）	
19) 演習：血糖測定・インスリンの取り扱い（坂井・原田・伊藤）	演習
20) 事例による看護過程の展開 情報収集（坂井・原田・伊藤）事前課題をもとにグループワークを行う【復習】グループワーク、発表、フィードバックから課題を振り返る（60分）	グループワーク

21)	腎・泌尿器系の障害を有する人と家族の援助 ネフローゼ症候群 糸球体腎炎(坂井)【予習】別途指示あり【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る(60分)	小テスト
22)	腎・泌尿器系の障害を有する人と家族の援助 慢性腎不全腎・泌尿器系の障害を有する人と家族の援助 慢性腎不全(坂井)【予習】慢性期看護 章-5-1.慢性腎不全(60分)【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る(60分)	事例の振り返り
23)	腎・泌尿器系の障害を有する人と家族の援助 人工透析を受ける患者の看護(坂井)【予習】 章-2.人工透析を受ける患者の援助(60分)【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る(60分)	
24)	消化器系の障害を有する人と家族の援助 胃・十二指腸潰瘍・潰瘍性大腸炎等(坂井)【予習】慢性期看護 章-3-1、 章-3-5、 章-3-6(60分)【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る(60分)	
25)	創傷処置・ストーマ管理(外部講師:認定看護師)【予習】別途指示あり(60分)【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る(60分)	
26)	消化器系の障害を有する人と家族の援助 慢性肝炎・肝硬変(坂井)【予習】慢性期看護 章-3-2.慢性肝炎、 章-3-3.肝硬変、【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る、課題レポート (60分)	事例の振り返り
27)	消化器系の障害を有する人と家族の援助 肝臓がん(坂井)【予習】慢性期看護 章-3-4.肝臓がん、 章-3-2.慢性肝炎、 章-10.肝動脈塞栓療法を受ける患者の援助(60分)【復習】テキスト等を見直し授業内容を振り返る(60分)	小テスト
28)	死の看取りの看護(坂井) 【復習】配布資料を見直し授業内容を振り返る (60分)	授業内レポート
29)	事例による看護過程の展開 (坂井・原田)【予習】NANDA- の定義と分類に即してアセスメントを行う。課題は期日に提出する。提出した課題は当日返却し、グループワーク、発表に活用する。(120分)	演習・グループワーク
30)	事例による看護過程の展開 (坂井・原田)【復習】グループワーク、発表、フィードバックした内容を振り返る。(60分)	演習・グループワーク

授業外学習

- ・予習として、テキストの該当する箇所を読み、重要な部分には下線を引いてきてください。
- ・シラバスに記載している予習は慢性期看護(南江堂)のテキストです。成人看護学(医学書院)については前週に指示しますので、予習をしてきてください。
- ・臨地実習や学習につなげるために、授業後振り返りを提出してください。
- ・事例検討はグループごとに発表をしてもらいますので、授業外で発表資料の作成をしてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
成人看護学 慢性期看護 南江堂 参考:医学書院 系統的看護学講座 成人看護学 [2]~[9][11][12]~[14] 参考:医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術	成人看護学総論、成人看護学 ・ 、 リハビリテーション看護論 人体の構造と機能、疾病論 ・ 、栄養学、薬理・薬剤学、 病理学、緩和ケア論

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じてコメントを記入したり授業の中で説明をします。課題は前期授業終了までに返却しますので、後期臨地実習に活用できるように整理してください。

備考

- ・人体の構造と機能と疾病論(病態・診断・治療)の授業内容を理解していることを前提に授業を行います。当該授業の看護に必要な人体の構造と機能、疾病論の資料内容を確認しておいてください。
- ・臨地実習で活用できるように配布資料・ノート・予習復習した学習内容について、系統的に整理しファイルしておいてください。

授業の出欠席は、出席（確認）カードでチェックします。授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。定期試験の受験資格は全授業回数の3分の2以上とします。出席日数については各自で管理してください。教員から欠席回数について個別に対応することはありません。授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	成人看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	原田 博子、坂井 浩美	関連する資格	養護教諭	

授業概要

成人期の急性疾患及び周手術期の特徴と治療、検査を学び、急性期の健康レベルに合わせた看護を理解する。急激に身体侵襲を受けた患者の身体的、心理的、社会的な影響を理解し、患者や家族への看護を修得する。演習を通して、急性期看護に必要な看護技術の習得を目指す。

原田は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、周術期看護について授業を行う。
坂井は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、周術期看護について授業を行う。

到達目標

【B3402】

1. 成人期の急性疾患、周手術期の特徴を記述できる。
2. それぞれの疾患の検査・治療を記述できる。
3. 疾患・治療に伴った看護を説明できる。
4. 救急医療における初期対応が記述できる。
5. 演習を通して、成人看護学で必要な看護技術を習得できる。

成績評価方法

- ・ 定期テスト、レポート、小テストなどの提出物すべてを評価の対象とする。
- ・ 授業態度、演習・グループワークの参加態度も評価に含める。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							40	
小テスト、授業内レポート							30	
宿題、授業外レポート							10	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション							5	
グループワーク							5	
演習							10	
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 急性期にある患者と家族の特徴と看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護総論 序章、第1章を読んでおく（60分） 【復習】	
2) 生体侵襲（担当：原田） 【予習】 【復習】課題レポート作成（90分）	課題レポート
3) 周手術期術前の看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護総論 第7章を読んでおく（60分） 【復習】課題レポート作成（90分）	課題レポート
4) 周手術期手術直後の看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護総論 第9章を読んでおく（60分） 【復習】課題レポート作成（90分）	課題レポート
5) 呼吸器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護各論 第1章を読んでおく（60分） 【復習】	
6) 呼吸器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】 【復習】課題レポート作成（180分）	課題レポート
7) 循環器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護各論 第2章を読んでおく（60分） 【復習】	
8) 循環器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】 【復習】課題レポート作成（180分）	課題レポート
9) 小テスト・内分泌疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】 【復習】	
10) 内分泌疾患・女性生殖器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】 【復習】課題レポート作成（90分）	課題レポート
11) 感覚器疾患患者の看護（担当：坂井） 【予習】臨床外科看護各論 第5章を読んでおく（60分） 【復習】	
12) 泌尿器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】腎・泌尿器 第4章を読んでおく（60分） 【復習】	
13) 運動器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】運動器 第5章を読んでおく（60分） 【復習】	
14) 運動器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】 【復習】課題レポート作成（180分）	課題レポート
15) 脳・神経疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護各論 第4章を読んでおく（60分） 【復習】	
16) 脳・神経疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】 【復習】課題レポート作成（180分）	課題レポート
17) 消化器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護各論 第3章を読んでおく（60分） 【復習】	
18) 消化器疾患患者の看護（担当：原田） 【予習】 【復習】課題レポート作成（180分）	課題レポート
19) 周手術期術中の看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護総論 第8章を読んでおく（60分） 【復習】課題レポート作成（90分）	課題レポート
20) 集中治療室での看護（担当：原田） 【予習】臨床外科看護総論 第10章を読んでおく（60分） 【復習】課題レポート作成（90分）	課題レポート

21) 救急時の看護技術(担当:外部講師) 【予習】臨床外科看護総論 第5章を読んでおく(60分) 【復習】	
22) 心肺蘇生法などの演習(担当:原田、坂井) 【予習】 【復習】演習レポート作成(30分)	演習 演習後レポート
23) 事例検討(担当:原田、坂井) 【予習】レポート作成(180分) 【復習】	グループワーク
24) 事例検討(担当:原田、坂井) 【予習】 【復習】発表資料作成(60分)	グループワーク
25) 救急看護の概念、救急看護の対象の理解(担当:外部講師) 【予習】救急看護学 第1章、第2章を読んでおく(60分) 【復習】	
26) 救急看護体制と看護の展開(担当:外部講師) 【予習】救急看護学 第3章を読んでおく(60分) 【復習】課題レポート作成(180分)	課題レポート
27) 救急患者の観察とアセスメント(担当:外部講師) 【予習】救急看護学 第4章を読んでおく(60分) 【復習】	
28) 事例検討発表(担当:原田、坂井) 【予習】発表資料の作成(60分) 【復習】	グループワーク プレゼンテーション
29) 輸液ポンプ・シリンジポンプ演習(担当:原田、坂井) 【予習】 【復習】	演習
30) 輸液ポンプ・シリンジポンプ演習(担当:原田、坂井) 【予習】 【復習】演習レポート作成(30分)	演習 演習後レポート

授業外学習

予習として、教科書の該当する箇所を読んできてください。
 臨地実習や学習につなげるために、授業後課題レポートを提出してください。
 演習後にレポートを提出してください。
 事例検討はグループ毎に発表をしますので、授業外で資料の作成をしてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
医学書院:系統看護学講座「臨床外科看護総論」「臨床外科看護各論」「救急看護学」「呼吸器」「循環器」「消化器」「内分泌・代謝」「脳・神経」「腎・泌尿器」「女性生殖器」「運動器」「眼」「耳鼻咽喉」	人体の構造と機能、疾病論、成人看護学総論、成人看護学、栄養学、薬理・薬剤学、病理学、リハビリテーション看護学

課題に対するフィードバック

課題レポートについては、コメントを記入し、前期授業終了までに返却します。後期臨地実習に活用できるように整理してください。

備考

授業の出欠席は、出席(確認)カードでチェックします。
 授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
 試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認してください。
 授業中に許可なく携帯電話等の電子機器を触らないようにしてください。携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしておいてください。

科目名	リハビリテーション看護論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	3年	前期			
担当者名	坂井 浩美、清水 佑子、山崎 啓子		関連する資格				
授業概要 リハビリテーションを必要としているのは疾病や外傷、加齢などにより、身体の構造や生理的機能・生活機能に障害を持っている人たちである。そうした疾病や傷害をかかえていても生活行動拡大・社会参加を行い、生き生きと生活を送ることを目指すのがリハビリテーションである。発症当初から将来を見通した医療において、医師を中心とするリハビリテーションチームの中で看護職の果たす役割を学習する。 病院で臨床に携わった実務経験を持つ教員（坂井・清水・山崎啓子）と、現在、臨床現場で活躍している認定看護師の講師により講義を行います。							
到達目標 【B3403】 1．リハビリテーションの理念を述べるができる。 2．機能回復について何が必要であるかを学ぶことで、健康障害を持つ人のADLやQOLの向上について述べるができる。 3．リハビリテーションチームにおける看護職の果たす役割や多職種連携について説明できる。 4．代表的な機能障害の特徴的な課題とそれに対する援助方法を説明できる。			成績評価方法 ・定期試験（80％）と評価する。 ・授業への積極性、授業内での討論、プチ演習等への参加度（20％）とする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 4/9:リハビリテーション概論(坂井) 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。(30分) 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	
2) 4/23:呼吸器系の障害とリハビリテーション看護(坂井) 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。(30分) 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	
3) 4/30:循環器系の障害とリハビリテーション看護(山崎啓子) 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。(30分) 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	
4) 5/28:感覚器系の障害とリハビリテーション看護(坂井) 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。(30分) 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	
5) 6/11:脳卒中の障害とリハビリテーション看護(坂井) 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。(30分) 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	
6) 6/25:摂食嚥下機能障害のリハビリテーション(外部講師:認定看護師) 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。(30分) 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	
7) 7/9:運動器系の障害とリハビリテーション看護(清水) 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。(30分) 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	
8) 7/16:リハビリテーション看護概念・まとめ(坂井) 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。(30分) 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り(60分)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業日は変更となる可能性がありますので、掲示板で確認してください。 ・ 予習として、教科書の該当する箇所を読んできてください。 ・ 第1回目の予習は第1章、第2章Aを読んできてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト・医学書院 別巻リハビリテーション看護 参考図書・医学書院 専門分野 運動器 ・医学書院 専門分野 脳・神経 ・医学書院 専門分野 呼吸器 ・医学書院 専門分野 循環器	人体の構造と機能、疾病論 ・ 保健医療福祉行政論 成人看護学 ・ ・ 老年看護学 ・

課題に対するフィードバック

備考

- ・成人看護学 ・との関連して授業を行います。
- ・人体の構造と機能と疾病論（病態・診断・治療）の授業内容を理解していることを前提に授業を行います。当該授業の看護に必要な人体の構造と機能、疾病論の資料内容を確認しておいてください。
- ・臨地実習で活用できるように配布資料・ノート・予習復習した学習内容について、系統的に整理しファイルしておくこと。

授業の出欠席は、出席（確認）カードでチェックします。授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。定期試験の受験資格は全授業回数の3分の2以上とします。出席日数については各自で管理してください。教員から欠席回数について個別に対応することはありません。
授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	小児看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	川崎 幹子、山崎 啓子	関連する資格	看護師 保健師 養護教諭一種免許	

授業概要

子どもの成長発達と子どもと家族の生活についてその特殊性を解説する。小児看護の歴史や理念、理論、子どもの権利を擁護する看護のあり方について解説し、看護実践を進める中で、課題を考える。教員の臨床現場での経験を生かした事例を組み入れて解説する。

到達目標

No. B2406

- 1) 小児看護の歴史・理念、倫理について理解し説明できる。
- 2) 子どもに関する統計・現在の子どもと家族の抱える問題と、子どもの健康、擁護に関する法律・政策との関連を考え説明できる。
- 3) 子どもの成長発達を理解し、一般原則を説明できる。
- 4) 子どもの成長発達の特徴とそれに応じた生活と家族を理解し説明できる。
- 5) 小児看護の役割を考察し、説明できる。

成績評価方法

成績評価方法

- 定期試験60%
小テスト、講義内レポート15%
宿題、講義外レポート15%
プレゼンテーション5%
グループワーク5%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)		○					60
小テスト、授業内レポート	○	○					15
宿題、授業外レポート	○	○	○				15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○		○	○	○		5
グループワーク	○						5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) オリエンテーション・小児看護の特徴と理念(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
2) 子どもの成長発達(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト グループワーク
3) 子どもの栄養(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	授業外レポート グループワーク プレゼンテーション
4) 新生児・乳児(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト 授業外レポート
5) 幼児期・学童(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト 授業外レポート
6) 思春期・青年期(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト 授業外レポート
7) 病気・障害を持つ子どもと家族の看護(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
8) 家族の特徴とアセスメント・子どもと家族を取り巻く社会(担当：松本はるみ) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
9) 子どもにおける疾病の経過と看護(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
10) 子どものアセスメント(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト 授業外レポート
11) 症状を示す小児の看護 (担当：山崎啓子先生) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
12) 症状を示す小児の看護 (担当：山崎啓子先生) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
13) 検査・処置を受ける子どもの看護虐待と看護(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
14) 障害のある子供と家族と子どもの虐待の看護(担当：川崎幹子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
15) 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護(担当：平方多美子) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	講義内レポート 小テスト
授業外学習	
事前学習(60分) 授業で行った内容を復習(30分)	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
奈良間美保，他：小児看護学概論・小児臨床看護総論医学書院	

課題に対するフィードバック

講義内レポートにコメントをつけてフィードバックします。

備考

子どものイメージがわかりにくいと思います。メディアや街の中で子どもの姿に関心を持ってください。

DVDなどを利用して子どもの姿を捉えます。学習は、基本的な知識と組み合わせで行います。

科目名	小児看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	山崎 啓子、川崎 幹子	関連する資格	養護教諭 種免許	

授業概要

小児看護学（小児臨床看護各論）では、健康障害のある子どもへの看護についての講義や演習を通して「成長発達の途上にある小児特有の疾患を理解し、必要な看護」を学び、「疾病や障害をもつ小児や家族を理解し、必要な看護援助を考え」、さらに「小児看護に必要な看護技術を学び、演習を通して身につけ」、小児看護の理解を深め、小児看護学実習を行うための基礎力を養う。

山崎啓子は、小児看護関連（小児科病棟、NICU、GCU、ICU）病棟での実務経験をもとに、先天的な疾患や小児期に発症する疾患の看護についての講義や演習を行う。川崎は、小児病棟での実務経験をもとに小児小児期に発症する疾患の看護についての講義や演習を行う。

到達目標

B3404

- 1) 小児特有の疾患を理解し、必要な看護が分かる。
- 2) 疾病や障害が小児や家族に及ぼす影響を理解する。
- 3) 治療や検査を受ける小児に対して、発達段階に応じた説明と援助の方法を知る。
- 4) 小児の健康状態のアセスメント方法を知り、演習を通して身につける。
- 5) 疾病や障害をもつ小児と家族の看護過程の展開ができる。

成績評価方法

定期試験（70％）を中心に、授業内レポート、授業外レポート、グループワークや演習も含めて評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 染色体異常・体内環境により発症する先天異常の看護（担当：山崎啓子） 【予習】ダウン症候群、18トリソミー症候群の子どもの看護を読む(60分) 【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
2) 新生児の看護（担当：山崎啓子） 【予習】低出生体重児、新生児仮死がみとめられる子どもの看護、高ビリルビン血症の新生児の看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
3) 小児の代謝疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】1型糖尿病、2型糖尿病の子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
4) 小児の内分泌疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】下垂体疾患、先天性副腎過形成症候群、甲状腺疾患の子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
5) 小児の免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】食物アレルギー、気管支喘息、若年性特発性関節炎の子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
6) 小児の感染症と看護（担当：山崎啓子） 【予習】麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、急性灰白髄炎、髄膜炎、百日咳、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群、結核の子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
7) 小児の呼吸器疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】かぜ症候群、肺炎の子どもの看護を読む(60分) 【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
8) 小児の循環器疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】ファロー四徴症、川崎病の子どもの看護を読む(60分) 【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
9) 小児の消化器疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】形態異常のある疾患、その他消化器疾患の子どもの看護を読む(60分) 【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
10) 小児の血液・造血器疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】貧血・出血傾向、輸血療法を必要とする子ども、再生不良性貧血、血友病の子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
11) 小児の悪性新生物の看護（担当：山崎啓子） 【予習】白血病の子どもの看護を読む(60分) 【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
12) 小児の腎・泌尿器疾患および生殖器疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】腎疾患を持つ子ども、泌尿器・生殖器疾患を持つ子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
13) 小児の神経疾患の看護（担当：山崎啓子） 【予習】けいれん、脳性麻痺、水頭症・二分脊椎、進行性神経筋疾患の子どもの看護、中途障害の回復過程とりハビリテーションを読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
14) 小児の運動器疾患の看護、小児の皮膚疾患の看護（担当：川崎幹子） 【予習】先天性股関節脱臼・内反足・筋性斜頸、特発性脊柱側湾症、骨折と母斑、アトピー性皮膚炎の子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
15) 小児の眼科疾患の看護、小児の耳鼻咽喉疾患の看護（担当：川崎幹子） 【予習】眼科的検査、斜視の手術を受ける子どもと家族の看護と中耳炎、扁桃摘出術を受ける子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
16) 小児の精神疾患の看護（担当：川崎幹子） 【予習】神経症、注意欠如・多動症および自閉スペクトラム症、発達障害を持ちながらほかの疾患の療養が必要な子どもの看護を読む(60分)【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
17) 小児における事故と外傷の看護・小児救急看護（担当：山崎啓子） 【予習】主な事故・外傷の看護を読む(60分) 【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
18) 小児における化学療法と化学療法を行う疾患（外部講師：医師）	
19) 小児におけるステロイドパルス療法とステロイドパルス療法を行う疾患（外部講師：医師）	
20) 先天異常と新生児疾患、小児の呼吸器疾患・アレルギー性疾患、小児の代謝性疾患（外部講師：医師）	

21)	小児の消化器疾患、小児の精神疾患・発達障害、小児の神経疾患（外部講師：医師）	
22)	小児外科看護：手術を受ける小児の看護（担当：山崎啓子） 【予習】臨床外科看護各論：小児の外科患者の看護を読む(60分) 【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	授業内レポート・小テスト
23)	小児における看護過程の展開・小児看護技術（担当：山崎啓子） 【予習】事例による看護過程の展開を読む(60分) 【復習】授業内資料等での振り返り(60分)	演習・授業外レポート
24)	小児看護技術(バイタルサイン測定・身体計測他)（担当：山崎啓子・川崎幹子） 【予習】演習で行う看護技術の手順確認(120分) 【復習】演習で行った看護技術の手技や注意点等の振り返り、レポート作成(60分)	演習・授業外レポート
25)	小児看護技術(バイタルサイン測定・身体計測他)（担当：山崎啓子・川崎幹子） 【予習】演習で行う看護技術の手順確認(120分) 【復習】演習で行った看護技術の手技や注意点等の振り返り、レポート作成(60分)	演習・授業外レポート
26)	小児看護技術(バイタルサイン測定・身体計測他)（担当：山崎啓子・川崎幹子） 【予習】演習で行う看護技術の手順確認(120分) 【復習】演習で行った看護技術の手技や注意点等の振り返り、レポート作成(60分)	演習・授業外レポート
27)	看護過程の展開（急性疾患の子どもの事例展開）（担当：山崎啓子・川崎幹子） 【予習】急性疾患の子どものアセスメント・看護計画の修正(60分) 【復習】ケースレポート・資料等で看護展開の振り返り、レポート作成(120分)	グループワーク・プレゼンテーション・授業外レポート
28)	看護過程の展開（急性疾患の子どもの事例展開）（担当：山崎啓子・川崎幹子） 【予習】急性疾患の子どものアセスメント・看護計画の作成(120分) 【復習】ケースレポート・資料等で看護展開の振り返り(60分)	グループワーク・プレゼンテーション・授業外レポート
29)	看護過程の展開（慢性疾患の子どもの事例展開）（担当：山崎啓子・川崎幹子） 【予習】慢性疾患の子どものアセスメント・看護計画の作成(120分) 【復習】ケースレポート・資料などで看護展開の振り返り(60分)	グループワーク・プレゼンテーション・授業外レポート
30)	看護過程の展開（慢性疾患の子どもの事例展開）（担当：山崎啓子・川崎幹子） 【予習】慢性疾患の子どものアセスメント・看護計画の修正(60分) 【復習】ケースレポート・資料等で看護展開の振り返り、レポート作成(120分)	グループワーク・プレゼンテーション・授業外レポート

授業外学習

- ・事前学習(授業内容部分の教科書は必ず読み、重要な部分には下線を引いてくること)を行い、授業に臨むこと
- ・授業内資料等を活用して、授業内容のまとめや振り返りを行うこと
- ・講義や事例検討、演習などを通して、小児看護についての理解を深めること

テキスト、参考書、教材

関連する科目

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・奈良間美保，他．小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学 ．医学書院 ・奈良間美保，他．小児臨床看護各論 小児看護学 ．医学書院 ・北島政樹，他．臨床外科看護各論 ．医学書院 ・小橋洋子．情報収集アセスメント ．学研 ・上鶴重美，他．NANDA-I看護診断 ．医学書院 | <ul style="list-style-type: none"> 小児看護学 小児看護学実習 看護過程論 疾病論 |
|---|--|

課題に対するフィードバック

- ・授業内レポート、小テスト、授業外レポートは、試験前までに内容を確認(コメントを記載)して返却するため、予習復習や試験勉強、実習での資料として活用できる。

備考

- ・期末試験の受験資格は、全授業回数数の3分の2以上の出席であり、出欠席の確認は出席(確認)カードで行う。
- ・授業中に、今までの授業で配付した資料や返却したレポートなどを活用することがあるため、授業資料はすべてファイリングして持参すること(不定期的に内容を確認することがあります)。
- ・小児看護学実習における実習病院選定の参考資料とする。

科目名	母性看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	安成 智子、伊藤 美穂		関連する資格	看護師 保健師 養護教諭			
授業概要 母性意識の意義と発達、母子関係の成り立ちを理解し、母性を対象とした援助に必要な知識の基礎を学ぶ。 また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から女性の生涯を通じての健康を考え、性と健康についての理解を深める。 安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、女性の健康に関する事柄、母子保健に関する事柄について講義を行い、グループワークのファシリテーションを行う。 伊藤美穂は、助産師としての実務経験をもとに、女性の健康に関する事柄、母子保健に関する事柄について講義を行い、グループワークのファシリテーションを行う。							
到達目標 B2407 1. 女性および母子の心身における健康について、性と生殖を通して理解し、説明することができる。 2. 女性および母子の健康増進に関与する社会の在り方を理解し、説明することができる。 3. 女性のライフサイクル各期の特徴的な健康問題と看護を理解することができる。			成績評価方法 小テストを含む授業中の課題(20点)・授業外レポート(5点)・プレゼンテーション(5点)・筆記試験(70点)により総合的に評価する。 定期試験後の科目評価が60点未満の場合、再試験を行う。再試験の評価(素点)が60点未満であっても、追加レポートは課さない。 定期試験の素点が60点未満の学生には、科目評価が60点以上であっても課題を課す。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート		○	○				5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○		○			5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 母性看護の基盤となる概念 : 母性とは何か・母性看護とは何か・母子保健統計・母性保護を取り巻く環境(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	「母性」「母性看護」に関わりのある社会現象について、授業時間内にディスカッションを行う。
2) DVD「うまれる」鑑賞(伊藤) 【予習】なし 【復習】Web上で「誕生日」の体験談を読む(30分)	
3) 母性看護の対象を取り巻く社会: 歴史・法律(母性保護規定)・環境(安成) 【予習】概論テキストp323-338の法律名と概要を把握する(20分) 【復習】配布資料の空欄を完成させる(30分)	トピック紹介
4) リプロダクティブヘルス : 性感染症・家族計画・人工妊娠中絶(安成) 【予習】概論テキストp20-27, p250-282を読む(30分) 【復習】配布資料の空欄を完成させる(30分)	トピック紹介 家族計画に用いる方法の演習 確認テスト
5) リプロダクティブヘルス : 喫煙・性暴力・児童虐待・国際化社会と看護(安成) 【予習】概論テキストp283-316, 配布資料を読んでおく(30分) 【復習】配布資料の空欄を完成させる(30分)	トピック紹介
6) 母性看護の基盤となる概念 : 母子関係と家族発達・女性のライフサイクルと家族・リプロダクティブヘルス/ライツ・セクシュアリティ 他(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	トピック紹介 確認テスト
7) 母性看護における対象理解: 女性生殖器の形態/機能・月経周期・ほか(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】月経周期のホルモン動態を図示する(60分)	トピック紹介
8) 女性生殖器の疾患に関する看護・倫理・事故予防(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	トピック紹介 確認テスト
9) 女性生殖器疾患・生殖補助医療・出生前診断(医師) 【予習】配布資料を読んでおく(20分) 【復習】該当部分の国家試験を解き、解説を読む(20分)	
10) 女性のライフステージにおける健康問題・治療(流産・子宮がん・卵巣がん)(医師) 【予習】配布資料を読んでおく(20分) 【復習】該当部分の国家試験を解き、解説を読む(20分)	
11) 女性のライフステージ各期における看護・看護に必要な看護技術 (安成・伊藤) 【予習】思春期・成熟期・更年期に特有の女性生殖器疾患を調べる(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	トピック紹介 グループワーク 確認テスト
12) 母性看護に必要な看護技術 : (安成・伊藤) 【予習】各論テキストp64-74(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	トピック紹介 グループワーク(発表)
13) 正常妊娠の理解 : 妊娠の生理・胎児の発育とその生理・母体の生理的变化(安成) 【予習】各論テキストp78-100(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	トピック紹介
14) 正常妊娠の理解 : 妊娠期の心理・社会的変化・妊婦と胎児のアセスメント(安成) 【予習】各論テキストp103-160(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	トピック紹介
15) 正常妊娠の理解 : 妊婦健康診査とマイナートラブル(伊藤) 【予習】各論テキスト・配布資料を読んでおく(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)	トピック紹介 確認テスト
授業外学習	
社会における女性・母子・家族を取り巻く問題に普段から関心を持ち、ニュースにも目を通しておくこと。毎回の授業時に担当を決めて講義内容に関わりのあるトピックス(ニュース記事等)を紹介する時間を設ける。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学、医学書院 母性看護学各論 母性看護学、医学書院	人体の構造と機能 看護過程論 母性看護学 母性看護学実習

課題に対するフィードバック

備考

- ・ 講義順を変更することがあります。
- ・ 座席は原則として学籍番号順としますが、板書が見えない学生は前列に移動して構いません。

科目名	母性看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	安成 智子、伊藤 美穂	関連する資格	看護師 保健師	

授業概要

母性看護学 をもとに、母性看護の対象となる人々の健康状態を系統的にアセスメントし、科学的な根拠に基づいて援助する方法を学ぶ。
 特に、母性としての営みの顕著な妊娠・分娩・産褥期にある母親および胎児・新生児について理解し、母性機能の健全な発達や母子の成長・発達を促す看護について、事例の展開や技術演習などを通して学ぶ。
 安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、妊産褥婦・胎児及び新生児の健康に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な対象者の理解と看護ケアの選択を促す。
 伊藤美穂は、助産師としての実務経験をもとに、妊産褥婦・胎児及び新生児の健康に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な対象者の理解と看護ケアの選択を促す。

到達目標

B3405

1. 産褥期の母親および胎児・新生児に生じる変化が理解できる。
2. 対象者のヘルスアセスメントに必要な知識と技術および、母子の成長・発達を促す援助技術が修得できる。
3. 周産期のウェルネス型看護過程を理解し、事例を用いた展開ができる。
4. 周産期に予測される正常からの逸脱と、その際の看護援助が理解できる。

成績評価方法

定期試験、確認テスト、ワークシートを総合的に評価する。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)		○					70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート	○	○	○				5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習				○			5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義オリエンテーション 妊娠期の看護 【予習】第109回看護師国家試験の「母性看護学」に該当する必修問題を解く（20分）【復習】妊婦体験ジャケット事前課題（80分）	妊婦体験ジャケット課題
2) 演習：妊娠期の観察・援助（問診、レオポルド触診法、胎児心音の聴取） 【予習】該当する技術の復習、巻末動画教材の閲覧（10分） 【復習】妊婦体験ジャケット（250分）	
3) 演習：妊娠期の観察・援助（妊婦・胎児のアセスメント） 【予習】該当する技術の復習、巻末動画教材の閲覧（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
4) 妊娠期の疾患・逸脱について 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習20分）	ワークシート
5) 妊娠期の疾患・逸脱の看護 【予習】配付資料を読んでおく（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）妊婦体験ジャケット事後課題（80分）	確認テスト 医師担当
6) 正常分娩の理解 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
7) 異常分娩、産科処置と産科手術 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	医師担当
8) 分娩期の看護（心理・社会的変化、母児の健康管理） 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	確認テスト
9) 演習：分娩期の観察・援助（分娩体験、産痛緩和ケア） 【予習】該当する技術の復習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート（胎児心拍陣痛図）
10) 新生児の理解（胎外生活への適応） 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
11) 新生児の理解（胎外生活への適応） 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	確認テスト
12) 新生児期の異常 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	医師担当
13) 新生児の看護 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
14) 新生児の看護 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	確認テスト
15) 演習：新生児の観察・援助（新生児の観察・計測） 【予習】該当する技術の復習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
16) 演習：新生児の観察・援助（身体の清潔・栄養など） 【予習】該当する技術の復習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
17) 実技試験：新生児の観察・計測 【予習】自己学習・技術練習（80分） 【復習】技術の復習（10分）	ワークシート
18) 実技試験：新生児の観察・計測 【予習】自己学習・技術練習（80分） 【復習】技術の復習（20分）	ワークシート
19) 産褥期の理解 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
20) 産褥期の異常 【予習】該当部分の予習（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	

21) 産褥期の看護 【予習】該当部分の予習(10分) 【復習】講義内容の復習(20分)	
22) 産褥期の看護 【予習】該当部分の予習(10分) 【復習】講義内容の復習(20分)	確認テスト
23) 演習:産褥期の観察・援助(子宮底の触診、悪露の観察など) 【予習】該当する技術の復習(10分) 【復習】講義内容の復習(20分)	ワークシート
24) 演習:産褥期の観察・援助(進行性変化;グループワーク準備) 【予習】該当する技術の復習(10分) 【復習】講義内容の復習(20分)	グループワーク
25) 演習:産褥期の観察・援助(進行性変化;まとめ・発表) 【予習】配付資料を読んでおく(10分) 【復習】看護過程記録の追加(20分)	グループワーク・発表
26) 看護過程(関連図) 【予習】配付資料を読んでおく(10分) 【復習】看護過程記録の追加(20分)	ワークシート、グループワーク
27) 看護過程(事例) 【予習】配付資料を読んでおく(10分) 【復習】看護過程記録の追加(20分)	ワークシート、グループワーク
28) 看護過程(事例) 【予習】配付資料を読んでおく(10分) 【復習】看護過程記録の追加(20分)	ワークシート、グループワーク
29) 看護過程(事例) 【予習】配付資料を読んでおく(10分) 【復習】看護過程記録の追加(20分)	ワークシート
30) 看護過程(事例) 【予習】配付資料を読んでおく(10分) 【復習】看護過程記録の追加(20分)	ワークシート

授業外学習

1. 授業計画に記載されているテキストの該当単元の予習をして下さい。
2. 小テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学 医学書院	人体の構造と機能、看護過程論、家族論・家族関係論、小児看護学、母性看護学、母性看護学実習

課題に対するフィードバック

--

備考

--

科目名	老年看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	和氣 さち、江口 恵里		関連する資格	成人看護学 成人看護学 老年看護学	在宅看護論		
授業概要 高齢者の身体的・精神的・社会的特徴及び症状、疾患等による生活への影響、生きてきた時代背景等をふまえ全人的に高齢者を理解し、老いて生活していくことを支えるために必要な理論、看護活動について学ぶ。また、高齢社会の統計的輪郭、保健・医療・福祉の動向など高齢化が地域社会へ及ぼす影響について考察し、老年看護の必要性及び保健医療福祉チームとしての看護職の役割を学ぶ。 和気は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学の基礎について授業を行う 江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学の基礎について授業を行う							
到達目標 【B2408】 1. 老年期をライフサイクル、発達課題より説明できる。 2. 老年期の人々の生きてきた時代背景とともに、高齢者の暮らしの特徴を説明できる。 3. 老年看護活動の特性及び重要性について説明できる。 4. 高齢者の身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな（霊的）側面の変化について説明できる。 5. 高齢者によくみられる身体症状の特徴とアセスメントについて説明できる。 6. 高齢者の特徴をふまえ、生活機能（活動、食事、排泄、清潔、生活リズム、コミュニケーション）に焦点をあてた看護の視点を述べるができる。 7. 検査・薬物療法を受ける高齢者の看護について説明できる。 8. 認知機能の障害に対する看護について説明できる。 9. 高齢者の特徴をふまえたオムツ交換・体位変換・口腔ケア・嚥下評価を実施することができる 10. 高齢者のフィジカルアセスメントの基本的な手技を実施することができる。			成績評価方法 授業態度、グループワーク・演習への参加度、提出物、小テスト、中間・定期試験を総合して評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 授業ガイダンス：老いるということ、老いを生きるということ 江口 【予習】テキスト第1章 p2～ p21を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
2) 老年看護学のなりたち 江口 【予習】テキスト第3章 p70～ p83を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
3) 超高齢社会と社会保障 外部講師 【予習】テキスト第2章 p24～ p67を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
4) 超高齢社会と社会保障 外部講師 【予習】テキスト第2章 p24～ p67を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
5) 高齢者のヘルスアセスメント 和気 【予習】テキスト第4章 p86～ p119を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
6) 高齢者のヘルスアセスメント 和気 【予習】テキスト第4章 p86～ p119を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
7) 高齢者の生活機能を整える看護（1）日常生活を支える基本的活動 江口 【予習】テキスト第5章 p122～ p146を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
8) 高齢者の生活機能を整える看護（1）日常生活を支える基本的活動 江口 【予習】テキスト第5章 p122～ p146を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
9) 高齢者の生活機能を整える看護（2）食事・食生活 外部講師 【予習】テキスト第5章 p146～ p161を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
10) 高齢者の生活機能を整える看護（2）食事・食生活 外部講師 【予習】テキスト第5章 p146～ p161を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
11) 高齢者の生活機能を整える看護（2）食事・食生活 江口 【予習】テキスト第5章 p146～ p161を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
12) 高齢者の生活機能を整える看護（2）食事・食生活 江口 【予習】テキスト第5章 p146～ p161を読んでおく（15分） 【復習】演習課題についてまとめる（30分）	グループワーク
13) 中間試験 / 高齢者の生活機能を整える看護（3）排泄 江口 【予習】テキスト第5章 p161～ p172を読んでおく（15分） 【復習】学習課題についてまとめる（30分）	
14) 高齢者の生活機能を整える看護（3）排泄 江口 【予習】テキスト第5章 p161～ p172を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
15) 高齢者の生活機能を整える看護（4）清潔・衣類ケア 江口 【予習】テキスト第5章 p172～ p185を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
16) 高齢者の生活機能を整える看護（4）清潔・衣類ケア 江口 【予習】テキスト第5章 p172～ p185を読んでおく（15分） 【復習】学習課題についてまとめる（30分）	グループワーク
17) 高齢者の生活機能を整える看護（5）生活リズム 和気 【予習】テキスト第5章 p185～ p198を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
18) 高齢者の生活機能を整える看護（5）生活リズム 和気 【予習】テキスト第5章 p185～ p198を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
19) 高齢者の生活機能を整える看護（6）コミュニケーション 和気 【予習】テキスト第5章 p198～ p213を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	
20) 高齢者の生活機能を整える看護（6）コミュニケーション 和気 【予習】テキスト第5章 p198～ p213を読んでおく（15分） 【復習】学習課題についてまとめる（30分）	グループワーク

21)	高齢者の生活機能を整える看護（6）コミュニケーション 和気 【予習】テキスト第5章 p198～p213を読んでおく（15分） 【復習】学習課題についてまとめる（30分）	
22)	高齢者の生活機能を整える看護：セクシュアリティ、社会参加 和気 【予習】テキスト第5章 p213～p223を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	
23)	高齢者に多い疾患と看護（1）症状のアセスメントと看護 和気 【予習】テキスト第6章 p226～p254を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
24)	高齢者に多い疾患と看護（1）症状のアセスメントと看護 和気 【予習】テキスト第6章 p226～p254を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
25)	高齢者に多い疾患と看護（2）身体的疾患のある高齢者の看護 和気 【予習】テキスト第6章 p256～p282を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
26)	高齢者に多い疾患と看護（2）身体的疾患のある高齢者の看護 和気 【予習】テキスト第6章 p256～p282を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
27)	高齢者に多い疾患と看護（3）認知機能障害のある患者の看護 和気 【予習】テキスト第6章 p282～p316を読んでおく（15分） 【復習】学習目標についてまとめる（30分）	グループワーク
28)	高齢者に多い疾患と看護（3）認知機能障害のある患者の看護 和気 【予習】テキスト第6章 p282～p316を読んでおく（15分） 【復習】小テストの見直し（30分）	小テスト
29)	高齢者に対する看護技術のまとめ 和気・江口 【予習】演習内容に関する講義を再学習する（20分） 【復習】演習を振り返り、座学と結び付けて課題を仕上げる（30分）	演習
30)	高齢者に対する看護技術のまとめ 和気・江口 【予習】演習内容に関する講義を再学習行う（20分） 【復習】演習を振り返り、座学と結び付けて課題を仕上げる（30分）	演習

授業外学習

授業計画に沿って学習目標を提示します。テキストの各単元を熟読して学習目標の習得に取り組んでください。適宜、小テスト（講義内容）を行います。講義とテキストの内容との結びつけを行ってください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
・テキスト：老年看護学（医学書院） ・参考書：老年看護学概論（南江堂）、老年看護学技術（南江堂）、看護実践のための根拠がわかる老年看護技術（メヂカルフレンド社）	基礎看護学、成人看護学、老年看護学、老年看護学実習 ・、総合看護実習

課題に対するフィードバック

演習での課題レポートにはコメントをつけて返却する。

備考

演習の課題レポートの提出は指定日時を厳守すること。

科目名	老年看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	3年	前期			
担当者名	和氣 さち、江口 恵里、原田 博子		関連する資格	保健師			
授業概要 老年看護学 の学びをふまえ、高齢者特有の健康問題（症状・疾患）、生活機能障害について理解を深め、QOLの向上を主眼に高齢者の健康レベルに応じた看護のアプローチについて、事例を通して学ぶ。また、また、倫理的課題をふまえ、高齢者のおかれている状況を総合的にアセスメントし、高齢者及びその家族を対象とした看護活動を習得し、実践へつなげていく。							
到達目標 1. 老年期におこりやすい疾患や症状の病態生理と生活機能の変化が説明できる。 2. 健康障害や生活障害をもつ高齢者への看護に必要な知識を説明できる。 3. 加齢と疾患の影響による生活の障害を、事例をもとにアセスメントし、看護の方向性を導くことができる。 高齢者の生理的老化と病的老化、老年期に特徴的な疾患の病態生理、それに伴う生活機能の変化をふまえて、健康障害・生活障害をもつ高齢者の病態とアセスメント、高齢患者のリスクマネジメント等を網羅的に学ぶ。			成績評価方法 定期試験（中間・期末） 70% 宿題、授業外レポート 10% グループワーク 20%				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 老年看護学 ガイダンスと老年看護学 の復習と看護の展開について 予習：課題レポート（80分）、教科書はじめに～XIVまでを読んでおく 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）江口	グループワーク
2) 高齢者と薬 予習：教科書（付表1）p 496～499までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）原田	
3) 活動・休息 予習：教科書 p2～15までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）江口	グループワーク
4) 食事・身じたく 予習：教科書 p 17～25、 p 35～44までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）江口	グループワーク
5) コミュニケーション・生活史 予習：教科書 p 45～52、 p 500～509までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）江口	グループワーク
6) 感染・スキンケア・排泄ケア 予習：各領域での学びを振り返り確認する（60分） 復習：講義内容をレポートにまとめる（80分） 外部講師	レポート
7) 運動器疾患（変形性膝関節症） 予習：教科書 p 56～73までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）和気	
8) 脳神経系疾患（パーキンソン病） 予習：教科書 p 75～90までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）和気	
9) 脳神経疾患（脳卒中） 予習：教科書 p 104～126までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）和気	
10) 循環器系疾患（心不全） 予習：教科書 p 184～200までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）和気	
11) 皮膚疾患（老人性皮膚掻痒症）・眼疾患（白内障） 予習：教科書 p 233～246、 p 280～291までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）和気	
12) 看護過程の展開（事例を用い情報の分析と解釈のポイントを考える） 予習：事例を熟読し情報の整理をおこなう（90分） 復習：分析と解釈について学習を深める（90分）原田、和気、江口	
13) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える） 予習：関連図を書く（90分） 復習：関連図と看護の焦点について学習を深める（90分）原田、和気、江口	グループワーク
14) 高齢者特有のリスクマネジメント 予習：「老年看護学」（医学書院）p 388～406までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）和気	
15) 老年看護学の倫理的な課題 予習：実習のときにあった倫理問題について考えてくる（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）和気	
授業外学習	
授業外学習 レポート課題 「高齢者の生きてきた歴史を知る」	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
山田律子・萩野悦子・内ヶ島伸也・井出訓（編）「生活機能からみた老年看護過程」第3版 医学書院,2016 北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院,2018	基礎看護学、成人看護学、疾病論、

課題に対するフィードバック

授業シートに書かれた質問について、次回の授業時間に補足説明をします。

備考

科目名	精神看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子		関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭1種免許状			
授業概要 精神看護の対象と目的、精神の健康概念について学ぶとともに、精神保健福祉の現状と課題について学ぶ。また、精神症状および精神疾患と治療法およびその看護について学び、精神障害に対する理解を深める。リエゾン精神看護についての概要と実践、他職種との連携について学ぶ。							
到達目標 B2409 ・精神看護の対象と目的が言える ・人のライフサイクルにおける発達課題とそこに生じる心の問題を述べることができる ・精神医療保健福祉の歴史的背景が理解できる ・精神障害者を取り巻く法律の概要が説明できる ・精神症状、主な精神疾患と治療法について説明できる ・精神科の倫理的な問題と看護師の役割について説明できる ・精神科リハビリテーションと地域保健福祉活動について説明できる ・リエゾン精神看護の概要とリエゾナーズの活動について述べるができる			成績評価方法 定期試験（70％）、小テスト（20％）、レポート（10％）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 精神看護学で学ぶこと（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
2) 「精神（心）」の捉え方（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
3) 精神（心）の発達に関する主要な考え方（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
4) 家族と精神（心）の健康（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
5) 暮らしの場と精神の健康（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	小テスト
6) 精神（心）の危機状況と精神保健（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
7) 現代社会と精神（心）の健康（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
8) 現代社会と精神（心）の健康（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
9) 精神保健医療福祉の歴史（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	小テスト
10) 精神保健福祉法と患者の処遇（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
11) 精神障害者の抱える症状の理解1（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
12) 精神障害者の抱える症状の理解2（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
13) 精神科的診察（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	小テスト
14) 主な精神疾患／障害と治療法と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
15) 主な精神疾患／障害と治療法と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
16) 主な精神疾患／障害と治療法と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
17) 主な精神疾患／障害と治療法と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
18) 精神科における主な治療と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	小テスト
19) 精神科における主な治療と看護（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	
20) 精神障害をもつ人との関わり方（柿並） 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（60分）	

21) 精神障害を持つ人とのコミュニケーション (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
22) 精神障害を持つ人の地域における生活への支援 (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
23) 精神障害を持つ人の地域における生活への支援 (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
24) 精神障害を持つ人の地域における生活への支援 (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	
25) 精神(心)を病むということ (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	小テスト
26) 精神(心)を病むということ (柿並) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	レポート
27) 精神(心)を病むということ (柿並 佐藤) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	グループワーク
28) 司法精神看護/災害看護 (佐藤) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	小テスト
29) リエゾン精神看護 (早川) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	レポート
30) リエゾン精神看護 (早川) 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる(30分) 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる(60分)	レポート

授業外学習

テキストの該当ページには必ず目を通してから授業に臨むこと

テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

レポートは、提出後の講義の中でフィードバックする。
小テストは、採点を行う。

備考

- ・ 授業中の私語・出入りは厳禁。
- ・ 授業中は携帯電話は電源を切り、カバンの中に入れておくこと。
- ・ 授業前に教科書の該当ページや事前配布されたプリント類は必ず目を通しておくこと。
- ・ 事前課題が出された場合には、課題を行った上で授業に臨むこと。

科目名	精神看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

精神看護学 で学習した知識をもとに、精神障害者に焦点をあて、それらの人々へ精神看護を実践していくための知識と技術を学ぶ。症状のアセスメントとアプローチの基本、日常生活援助技術、社会復帰に向けての援助等、患者・看護師関係を活用しながら、事例を通して学習する。

到達目標

B3407

- ・精神に障害を抱える人への看護援助について説明できる
- ・精神症状に対する援助が説明できる
- ・精神疾患・障害を持つ患者への看護の要点を述べるができる
- ・他職種との連携について述べるができる

成績評価方法

定期試験 80%
宿題、授業外レポート 20%

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			80	
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート	○	○	○				20	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク	○	○	○	○				
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 精神看護学における看護過程1 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
2) 精神看護学における看護過程2 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
3) 事故防止・安全管理と倫理的配慮 精神科病棟の治療環境（柿並） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
4) 事故防止・安全管理と倫理的配慮 （柿並） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	
5) 精神症状と看護1（佐藤） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	事前課題 GW
6) 精神症状と看護2（佐藤） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む（30分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	事前課題 GW
7) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症1（佐藤） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む、事前課題（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（30分）	事前課題 GW
8) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症2（佐藤） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む、事前課題（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（30分）	事前課題 GW
9) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 うつ病（柿並） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む、事前課題（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（30分）	事前課題 GW
10) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 双極性障害（柿並） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む、事前課題（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（30分）	事前課題 GW
11) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 アルコール依存（佐藤） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む、事前課題（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（30分）	事前課題 GW
12) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 神経性やせ症摂食制限型（佐藤） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む、事前課題（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（30分）	事前課題 GW
13) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 パーソナリティ障害・強迫性障害（柿並） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む、事前課題（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（60分）	事前課題 GW
14) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 AD/HD、自閉症スペクトラム障害（柿並） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む、事前課題（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（30分）	事前課題 GW
15) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 身体合併症（がん・肺炎・骨折）（佐藤） 【予習】精神看護学 の内容を復習しておく、教科書を読む（60分） 【復習】教科書を見直す、授業内容を確認しまとめる（30分）	
授業外学習	
<p>精神看護学 の学習内容は必ず復習しておき、講義に臨むこと。 事前に課された課題については、指定された講義前に必ず終了し、当日持参すること。また予定表に示された教科書の該当ページは、事前に必ず熟読しておくこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社	

課題に対するフィードバック

5回～14回には、事前課題を課す。初回に課題を提示しておくので、該当の回までに復習しておく。

備考

私語・携帯電話等の使用は厳禁。

科目名	成人看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	坂井 浩美、原田 博子	関連する資格		

授業概要

最新医療が行われる医療現場における医療提供体制・看護師の役割・対象のおかれている状況について、特殊な治療・検査の見学を通して学ぶ。
見学実習を通して専門的な治療や援助および他職種の役割を学ぶことができる。

到達目標

- 【B3408a】
 <慢性期見学実習>
 1.各見学場所における患者の特徴を述べるができる。
 2.各見学場所における看護の特徴を述べるができる。
 3.見学実習場所の施設・設備の特徴や医療機器の取り扱いについて注意事項を述べるができる。
 4.通院治療を必要とする患者とその家族を支援するための社会資源について述べるができる。
 <急性期見学実習>
 1.各見学場所における患者とその家族の特徴を述べるができる。
 2.各見学場所における患者と家族への看護の必要性と役割機能を理解し、基本的な援助を述べるができる。
 3.各見学実習場所の構造と機能の特徴について述べるができる。
 4.各見学実習場所における他職種との連携を述べるができる。

成績評価方法

提出記録物、実習態度など「成人看護学実習評価表」に基づき評価する（実習100%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>治療を受ける患者を対象に見学実習が中心であるが、指導者の口頭説明を受け、患者より口頭同意が得られれば、ケアを指導の下で実施します。</p> <p>主な見学実習場所が次の通りです。</p> <p><慢性期見学実習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学療法処置室 2. 血液浄化室 3. 外来部門 <p><急性期見学実習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集中治療室 2. 救急部門 3. 手術室 <p>参照：「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」</p>	
授業外学習	
<p>【事前学習】課題等については実習にて活用しやすいように工夫して作成し、ファイルしてください。</p> <p>【事後学習】見学記録については、毎日記載してください（180分）</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習の心得「各領域共通」、看護学科健康管理ノート、基礎看護技術項目の履修領域と到達度</p> <p>成人看護学 慢性期看護 南江堂</p> <p>参考：医学書院 系統的看護学講座 成人看護学 [2]～[9][11][12]～[14]</p> <p>参考：医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術</p>	<p>人体の構造と機能、疾病論 . . . 、 成人看護学総論、成人看護学 . . . 、</p>

課題に対するフィードバック

実習記録は必要時コメントを入れて返却します。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に内容をよく読んで理解し、遵守してください。

臨床において看護業務に携わった経験を持つ教員（坂井・原田）が引率し、指導を行います。

科目名	成人看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	坂井 浩美	関連する資格		

授業概要

最新医療が行われる医療現場における医療提供体制・看護師の役割・対象のおかれている状況について、特殊な治療・検査の見学を通して学ぶ。
見学実習を通して専門的な治療や援助および他職種の役割を学ぶことが出来る。

到達目標

- 【B3409a】
1. 最新の医療現場で、患者が受ける治療・検査の特徴や方法について見学実習を通して学ぶ。
 2. 患者に実施される治療・検査の必要性を理解したうえで、看護師の役割を学ぶ。
 3. 治療・検査を必要とする患者や家族の特徴と治療・検査が及ぼす影響を理解できる。
 4. 見学部署の構造・設備を見学実習を通して学ぶ

成績評価方法

提出記録物、実習態度、カンファレンスの参加状況など「成人看護学実習評価表」に基づき評価する（実習100%）

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習							100	

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>2週間の病棟実習において、原則として患者1名を受け持ちます。これまでの講義や演習等で学んだ看護の知識と経験に基づいて、受け持ち患者の看護上の問題を明確にし、計画的に看護を実施・評価します。</p> <p>参照：「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」</p>	
授業外学習	
<p>事前学習課題を実習にて活用しやすいように工夫して作成し、ファイルしてください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習の心得「各領域共通」、看護学科健康管理ノート、基礎看護技術項目の履修領域と到達度 成人看護学 慢性期看護 南江堂 参考：医学書院 系統的看護学講座 成人看護学 [2]～[9][11][12]～[14] 参考：医学書院 系統看護学講座 基礎看護技術</p>	<p>成人看護学実習 . . . 成人看護学総論、成人看護学 . . . 、 人体の構造と機能、疾病論 . . . 、 栄養学、薬理・薬剤学、病理学、 リハビリテーション看護論、緩和ケア論</p>

課題に対するフィードバック

実習記録は必要時コメントを入れて返却します。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . オリエンテーションブック」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に内容をよく読んで理解し、遵守してください。

臨床において看護業務に携わった経験を持つ教員（坂井・原田）が引率し、指導を行います。

科目名	成人看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	原田 博子	関連する資格		

授業概要

疾病・手術・麻酔等により、侵襲を受けている患者と家族に対し、治療の特徴を踏まえ、健康問題を系統的に解決していく看護過程の展開能力と最良の看護を提供する能力を習得する。
原田は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、周手術期にある患者の看護について臨地実習を通じて指導する。

到達目標

【B3410a】

1. 周手術期にある患者とその家族の状況を、身体的、心理的、社会的側面からとらえることができる。
2. 周手術期にある患者の健康障害の改善および生活の質（QOL）の向上を図り、その人らしい生活を送るための看護過程が展開できる。
3. カンファレンスを通じて学びを共有し、多角的・総合的な視点で看護を考察することができる。
4. 病棟の看護業務の流れを捉えることができる。

成績評価方法

実習記録
事前学習
課題レポート
実習評価表

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：実習指導要綱参照	
授業外学習	
成人看護学 の講義にて事前学習課題を出します。自分で実習で活用しやすいように工夫して作成する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
成人看護学 の講義で使用したテキスト 基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院 情報収集・アセスメント ガッケン 看護技術の患者への適用 メヂカルフレンド社 フィジカルアセスメントガイドブック 医学書院	成人看護学 疾病論 成人看護学 成人看護学総論

課題に対するフィードバック

対象者の個人情報を省いた実習レポートを評価終了後返却します。

備考

科目名	小児看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	川崎 幹子、山崎 啓子	関連する資格	養護教諭一種 保健師 看護師	

授業概要

小児の成長発達過程とさまざまな健康レベルにある小児を理解するとともに、健康障害をきたした小児とその家族への看護実践方法について学ぶ。

小児病棟、小児科外来、幼稚園にて以下の内容で実習を行う

1. 小児とのかかわりを通して、成長発達の特徴を捉え、発達段階に応じたコミュニケーションと援助ができる。
2. 健康障害や入院加療が小児と家族に及ぼす影響について理解し、健康障害をもつ小児および家族に対する看護を考え実践する。
3. 小児と家族の尊厳と権利を守り、倫理的に配慮した援助を実践する。
4. 実習を通して、小児看護の役割を考えることができる。

詳細は、実習要綱参照

到達目標

No. B3411a

1. 健康障害をもった子どもと家族に対して、事例を受け持ちながら看護過程を展開できる。

2. 健康な幼児の成長発達の特徴が理解できる。

詳細は、実習要綱参照

成績評価方法

実習目標達成状況、実習に対する取り組み、出席状況等から総合的に評価する。

宿題、授業外レポート40%

実習60%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		60

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)(実習)	アクティブラーニング
<p>2週間の実習期間、病棟実習4日間、原則として患児1名を持ち、受け持ち患児の状態と病棟の状況に即して講義・演習で学んだ知識や方法を基に実践する。外来実習2日または、外来実習1.5日間、GCU見学実習0.5日間、講義・演習で学んだ知識や方法を基に実践する。幼稚園実習2日間実施する。具体的な方法及び実習内容については、実習要綱で説明する。</p> <p>担当教員：川崎幹子・山崎啓子・渡部由美子</p>	<p>実習前に事前学習として提示する。</p>
授業外学習	
<p>事前学習課題を必ず行って臨むこと 既習科目はすべて復習して臨むこと 記録類については、日々行うこと 学習時間として毎日180分程度</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 発達段階からみた小児看護過程第3版 医学書院 その他、実習中に適宜紹介します。</p>	<p>小児看護学 小児看護学 看護過程</p>

課題に対するフィードバック

実習記録は、担当教員が確認し、指導する。

備考

学生は教員及び実習指導者の指導・助言を受けながら主体的に実習に取り組むようにしてください。

3年前期までの知識・技術、特に小児に関連した科目は、復習して実習に臨んでください。

実習前に、実習要綱をよく読んでください。
実習中は、自分自身の健康管理に十分注意してください。

科目名	母性看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	安成 智子、伊藤 美穂	関連する資格	看護師 保健師	

授業概要

妊産褥婦および胎児/新生児とその家族の特徴を包括的に理解し、援助するための看護実践方法について学ぶ。
産科病棟・産科外来において、2週間の実習を行う。
安成智子は、助産師としての実務経験をもとに、学生の技術習得ならびに看護過程の展開を指導する。
伊藤美穂は、助産師としての実務経験をもとに、学生の技術習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標

B3412a
1．妊婦/胎児とその家族のアセスメントを通して、対象者の全体像を理解することができる。
2．産褥期の母子のよりよい適応や成長発達を促すようなウェルネス型の看護過程を展開することができる。
3．生命の尊厳、生命倫理について考察し、自分の生命観・母性観への影響を述べるすることができる。
4．母子保健医療チームの一員としての看護師の役割や、他職種との連携について理解することができる。

成績評価方法

実習に臨む態度や、知識・技術を用いて看護を展開しようとする意欲・判断力を、本人の行動と記録から総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				60
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度					○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック参照	
授業外学習	
受け持ち対象者の看護に必要な知識は、確実に事前学習しておくこと。 実際に行う看護技術を実習前のオリエンテーションで確認するため、実習室の開放時間を利用して繰り返し練習すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
各自で母性看護学 のテキスト・配布資料を活用すること。 その他、教員が施設ごとに参考書を持参する。	看護過程論 母性看護学 母性看護学

課題に対するフィードバック

前日の実習内容の記録は、次の日の実習開始前に提出すること。教員は必要部分について指導ならびに再提出の指示を行い、返却する。

備考

科目名	老年看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	2年	後期
担当者名	和氣 さち、原田 博子、江口 恵里	関連する資格	保健師	

授業概要

病院で療養している高齢者および通所サービスを利用している高齢者を通して、老年期の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、高齢者の抱える日常生活や健康に関する課題について考察する。また高齢者の個性を尊重した基本的態度を養う。
 原田は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。
 和気は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。
 江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。

到達目標

- 【B2410a】
1. 病院で療養している高齢者の特徴をふまえてケアを実施することができる
 2. 通所サービスを利用している高齢者の特徴を知ることができる
 3. 通所サービスを利用している高齢者の特徴を知ることが出来る
 4. 看護学生としての基本的態度を養う

成績評価方法

臨地実習病院の評価・自己評価・教員評価、実習レポート、実習記録、事前学習をふまえて評価する。
 。欠席や遅刻については減点対象となる。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>老年看護学実習ガイドブックの内容に準ずる。</p>	
授業外学習	
<p>実習ガイドブックに明記しているように、実習に向け事前課題に取り組むこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>授業「老年」のテキスト。授業配布資料</p>	<p>基礎看護学実習 老年看護学実習 成人看護学実習 老年看護学</p>

課題に対するフィードバック

実習レポートは評価後学生に返却します。

備考

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>別冊：看護学臨地実習ガイドブック（老年看護学実習）参照</p>	
授業外学習	
<p>実習ガイドブックに明記しているように、実習に向け事前課題に取り組むこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：老年看護学（医学書院） 老年看護 病態・疾病論（医学書院） ・参考書：生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図（医学書院） 	<p>基礎看護学、成人看護学、老年看護学 ・ 、老年看護学実習、総合看護実習 ・</p>

課題に対するフィードバック

提出した事前課題については、実習前に返却します。

備考

科目名	精神看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	4年	前期			
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子		関連する資格	看護師国家試験受験資格			
授業概要 B4402a 精神の健康に障害をもつ対象を、身体的・精神的・社会的側面から理解するとともに、対象への日常生活または治療的援助の方法や社会復帰に向けての働きかけについて、実践を通して修得する。 実習は、精神科病院および社会復帰施設で行う（2週間）。							
到達目標 B4402a 精神障害者とかかわることができる 精神科の治療やケアを説明できる 院内で行われている様々な活動に参加し、患者と関わりを持つことにより、精神障害を体験的に理解できる 病棟に入院中の患者や病院・施設の利用者とのコミュニケーションを通じて、自己の対人関係を振り返る			成績評価方法 実習記録、実習態度、出席状況を総合判断する（別途要項に示す）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック参照	
授業外学習	
事前学習課題を必ず行って臨むこと 既習科目はすべて復習して臨むこと 記録類については、日々行うこと 学習時間として毎日180分程度	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	精神看護学、 看護学すべて

課題に対するフィードバック

実習を通じてコメントする

備考

科目名	基礎ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	2	1年	通年(前期)			
担当者名	安成 智子、名尾 朋子、原田 博子、立川 美香、江口 恵里、宮本 心貴 子	関連する資格	看護師 保健師				
授業概要 少人数でのグループ学習を通じて、大学生として必要な基本的態度や学習技術、学習習慣を身につけ、大学生活への動機付けとする。また、自ら考え・学ぶ姿勢、相手の意見を聴く姿勢を身につけることから、コミュニケーション能力を獲得する。ディスカッションに必要なコミュニケーション技術を身につけるとともに、グループワークを通じて、自らの考えをまとめ、他者に伝える能力を身に付ける。さらに、医療人として人々の健康を学ぶ。 各教員は、大学教員としての実務経験をもとに、大学生としての学習技術やコミュニケーションスキル、グループワークのファシリテーションを行う。また、看護職・医師としての実務経験をもとに、学生が自分自身の健康を考える姿勢が持てるよう指導する。							
到達目標 B1115 1．大学生として、学習に向けての基礎的な学習態度・習慣を身に付ける。 2．自分自身の生活を見直すことにより、健康な生活を理解し、健康の維持に必要な日常生活を身に付ける 3．看護学生として人命救助の技術を習得する。			成績評価方法 定期試験、宿題/授業外レポート・プレゼンテーション、演習・グループワーク参加状況などを総合判断する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 学士課程におけるコアコンピテンシー(安成) 【予習】キャンパスガイドを読む(20分) 【復習】生活目標・行動計画を完成させる(20分)	
2) 宇部フロンティア大学の歴史、教育理念(相原理事長)(原田) 【予習】配布資料を読む(15分) 【復習】理事長講義レポート作成(60分)	
3) 文章の読み方・学び続けるための「文章の読み方・まとめ方」 GW:講義ノート の取り方(準備;各自の工夫の意見交換) 図書館ツアー(安成)【予習】配布資料 を読む(15分) 【復習】GWの学びをもとに講義ノートを作成する(90分)	指定科目のノートづくり グループワーク
4) GW:講義ノートの評価 Eメールの送り方(安成) 【予習】配布資料を読む(15分) 【復習】文書を添付してチューターにEメールを送る(30分)	指定科目のノートづくり グループワーク
5) 看護大学増加の歴史的背景と看護学学士を目指す意義 健康日本21(立川) 【予習】配布資料を読む(15分) 【復習】講義内容の振り返り(20分)	
6) GW:総合医療論「第1章 医療と看護の原点 B・C」 GW:総合医療論「第3章 A」(原田) 【予習】テキストの該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の振 り返り(20分)	グループワーク
7) GW:総合医療論「第3章 C・D」(江口) 【予習】テキストの該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の振り返り(20分)	グループワーク
8) GW:総合医療論「第3章 E・F」(90分)(宮本) 【予習】テキストの該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の振り返り(20分)	グループワーク
9) GW:総合医療論「第5章 D・G」(90分)(名尾) 【予習】テキストの該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の振り返り(20分)	グループワーク
10) GW:総合医療論「第7章 B・C」 グループワークのテーマ決定・準備(安成) 【予習】テキストの該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の振り返り(20分)	グループワーク
11) 宇部市消防局による「普通救命講習」(abcd)/GW発表準備(上記以外の学生) (安成)【予習】テキストの該当部分を読む/ポスター発表の準備(30分)【復習 】講義内容の振り返り/ポスター発表準備を継続する(20分)	BLS講習
12) 宇部市消防局による「普通救命講習」(abcd)/GW発表準備(上記以外の学生) (安成)【予習】テキストの該当部分を読む/ポスター発表の準備(30分)【復習 】講義内容の振り返り/ポスター発表準備を継続する(20分)	BLS講習
13) 宇部市消防局による「普通救命講習」(abcd)/GW発表準備(上記以外の学生) (安成)【予習】テキストの該当部分を読む/ポスター発表の準備(30分)【復習 】講義内容の振り返り/ポスター発表準備を継続する(20分)	BLS講習
14) 講義:臨床疫学 GW:総合医療論「第6章 B」(名尾) 【予習】テキストの該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の振り返り(20分)	グループワーク
15) GW発表(実習室でポスターセッション) 4月に設けた目標・行動計画の見直し(安成) 【予習】各グループの抄録を読む(15分)	実習室でポスターセッション形式で 課題を発表する
授業外学習	
必要に応じて課題を課す。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
小泉俊三、系統看護学講座 専門基礎分野 総合医療論、医学 書院	

課題に対するフィードバック

課題は確認後返却する。

備考

この科目は通年授業科目です。主に1年生のチューターが担当します。非常勤講師の講義もありますので、講義内容および日程は変更することがあります。

科目名	基礎ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	2	1年	通年(後期)			
担当者名	安成 智子、名尾 朋子、原田 博子、立川 美香、江口 恵里、宮本 心貴	関連する資格	看護師				
授業概要 少人数でのグループ学習を通じて、大学生として必要な基本的態度や学習技術、学習習慣を身につけ、大学生活への動機付けとする。また、自ら考え・学ぶ姿勢、相手の意見を聴く姿勢を身につけることから、コミュニケーション能力を獲得する。ディスカッションに必要なコミュニケーション技術を身につけるとともに、グループワークを通じて、自らの考えをまとめ、他者に伝える能力を身に付ける。さらに、将来の目指す方向を見据え、キャリア・デザインを明確にする。 各教員は、大学教員としての実務経験をもとに、グループワークのファシリテーションを行う。また、看護職・医師としての実務経験をもとに、学生が自分自身の健康を考える姿勢が持てるよう指導する。							
到達目標 B1115 1．大学生としての学習態度・習慣を維持し、専門性の高い学びへの準備ができる。 2．より広範囲の人々とのコミュニケーション技術が身につく。 3．自分自身の生活を見直すことができる。 4．情報管理の重要性がわかる 5．自らの役割を果たし、グループワークを有意義に進めることができる 6．将来に向けた具体的な行動目標を立てることができる。			成績評価方法 講義レポート、最終レポート(定期試験)、出席状況、ゼミナール参加状況、課題などを総合判断する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○	○	○				20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 前期の行動計画の振り返り/後期授業の進め方(安成) 【予習】夏休みの生活の振り返り 【復習】後期の行動計画・目標を立てる(20分)	課題レポート(行動計画)
2) 大学生としての生活(学生生活実態調査;大学生協参照)(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	
3) E-mailの送り方/SNSの使い方(江口・宮本) 【予習】配布資料を読む(10分) 【復習】指定されたメール送信の課題を行う(20分)	指定されたE-mailを送信する
4) 防火指導(原田) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	
5) 防火訓練(安成・名尾・立川) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	
6) 医療従事者の健康管理(名尾) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	
7) 難病患者の体験(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	課題レポート
8) B型肝炎感染の歴史とその知識(原田) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	課題レポート
9) 健康支援と社会保障制度(安成・名尾・原田・立川・江口・宮本) 【予習】選んだテーマについて深く調べる(40分) 【復習】発表のための原稿を考える(30分)	グループワーク
10) 健康支援と社会保障制度(安成・名尾・原田・立川・江口・宮本) 【予習】選んだテーマについて深く調べる(40分) 【復習】発表のための原稿を考える(30分)	グループワーク
11) 健康支援と社会保障制度(安成・名尾・原田・立川・江口・宮本) 【予習】発表準備(30分) 【復習】各発表を評価する(10分)	グループワーク・発表
12) 健康支援と社会保障制度(安成・名尾・原田・立川・江口・宮本) 【予習】グループ発表内容の振り返り(10分) 【復習】テキストの該当部分を読む(20分)	発表
13) 先輩の里帰り後援会・懇談会(原田・立川) 【予習】看護職のキャリアアップについて調べる(20分) 【復習】後援会・懇談会についてレポートにまとめる(40分)	課題レポート
14) 海外で活動する看護師(江口・宮本) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)	課題レポート
15) 2年生に向けての目標・行動計画の見直し(安成・名尾・原田・立川・江口・宮本) 【予習】行動計画案をまとめる(20分) 【復習】最終レポートをまとめる(60分)	課題レポート
授業外学習	
<p>内容に合わせて資料を配布する。第9回～第12回は、社会に見られる健康支援のための施策や技術、医療の課題等より関心のあるものについて調べ、発表を行う。</p> <p>日頃より、将来自分自身も責務を果たす医療・保健・看護に関するニュースに関心を持ち、問題意識をもって過ごしてほしい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
ベッドまわりの環境学 医学書院	基礎看護技術、看護学概論、成人看護学総論

課題に対するフィードバック

グループワーク・演習レポート等は確認後返却します。

備考

科目名	総合ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	4年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子、滝川 洋子、木元 卓也		関連する資格	保健師国家試験受験資格 看護師国家試験受験資格			
授業概要 保健・医療・福祉の現場において看護活動を実践するにあたっては、他職種との連携・協働が求められる。総合ゼミナールにおいては、本学で養成する看護職、福祉職、心理職等を学ぶ学生が各部門に共通する問題を抱えた事例についてカンファレンスを行い、各自の立場から検証するとともに、他職種との連携を体験し、その必要性を学ぶ。また、多職種間のコミュニケーション技術を身につけ、実践に強い看護職を目指す。							
到達目標 B4501 <ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉の連携を説明できる ・多職種間でのコミュニケーションの重要性を体験する ・多職種間での連携の方法を述べるができる ・他の医療・福祉職の役割と立場を尊重した行動ができる ・他の医療・福祉職と協働できる ・多職種の協働における自分の役割を理解し、それに応じた言動ができる 			成績評価方法 レポート、ゼミナール参加状況、グループワーク				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション				○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 保健・医療・福祉の現場における看護活動（佐藤） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り	
2) 看護師・保健師の立場から見た他職種との連携（柿並、滝川） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り	
3) 福祉/心理の立場から見た他職種との連携（木元） 【予習】既習科目の復習を行う（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り	
4) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、滝川、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
5) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、滝川、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
6) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、滝川、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
7) 事例に基づく合同カンファレンス（佐藤、滝川、柿並） 【予習】カンファレンスの準備を行う（30分） 【復習】発表、レポートの準備（60分）	グループワーク
8) 保健・医療・福祉の役割と課題（発表・まとめ）（佐藤、滝川、柿並） 【予習】発表の準備を行う（30分） 【復習】レポートの作成（60分）	グループワーク
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
グループワークに必要な情報、知識は各自で集めてグループワークに臨むこと 総合的な知識を用いての演習のため、既習科目の復習を十分に行っておく	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

講義中にコメントする

備考

科目名	看護管理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	1	3年	前期			
担当者名	原田 博子		関連する資格	看護師			
授業概要 ・看護管理は、患者・看護師の一つ一つの「ケア」を組織的な看護サービスとしてマネジメントすることであることを理解する。 ・看護専門職としての質の高い看護サービス提供に対する責務の観点から、看護の組織に属するメンバー一人ひとりが看護管理の知識を持ち、あらゆる場でそれらの知識を活用することが必要であることを理解する。 ・看護を取り巻く諸制度や看護の国際協力にはどのような組織、仕組みが関わっているかを理解する。 臨床でのトップマネージャーとしての実務経験をもとに、看護管理について授業を行う							
到達目標 【B3413】 1看護管理の定義を述べる 2看護の目的を達成するための組織運営について述べる 3看護を取り巻く諸制度について説明する 4マネジメントに必要な知識と技術を列挙する 5看護管理の視点からその取り組みを工夫する 6病院における看護管理の実際を分かち合う 7看護師として連携・調整・協働の視点で他職種に配慮する			成績評価方法 小テスト、課題レポート、グループワーク、定期試験				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) シラバスの説明、第1章看護とマネジメント 【予習】第1章を読んでくる【復習】マネジメントの変遷レポート課題45分	管理という言葉のイメージについて話し合い ナイチンゲール小管理資料レポート
2) 第2章A B看護サービスのマネジメント 医療制度 【予習】2章のA Bを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	まとめのノート作成方法
3) 第2章C看護サービス提供方式 看護提供方式 【予習】2章Cをよんでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
4) 第2章D人材マネジメント人材活用 労務管理 ワーク・ライフ・バランス 【予習】2章Dを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
5) 第2章E人材マネジメント人材活用 看護業務の実践 【予習】2章Eを読んでくる【復習】1 - 5回のまとめのテスト準備45分	
6) 第5章 A B組織とマネジメント リーダーシップ 1 - 5回のまとめの小テスト 【予習】第5章 A B Cを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
7) 第4章看護サービスのマネジメント A B 【予習】第4章 A Bを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
8) 第4章看護サービスの提供の仕組み 【予習】第4章Cを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
9) 第4章D 人材のマネジメント 【予習】第4章を読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
10) 第4章 労働環境 6 - 10回まとめの小テスト 【予習】第4章を読んでくる【復習】小テストの振り返り45分	はたさぼを見て話し合おう
11) 第4章施設・設備環境のマネジメント、物品のマネジメント 【予習】第4章E Fを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
12) 第4章組織のリスクマネジメント サービスの評価 【予習】第4章H Iを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	自分たちの受けた看護について話し合い発表
13) 第5章D組織の調整 【予習】第5章Dを読んでくる【復習】本日のまとめのノート作成45分	
14) 第6章 看護を取り巻く諸制度 【予習】第6章A Bを読んでくる【復習】11回から14回までのまとめ45分	ナイチンゲールレポート提出
15) 第6章看護を取り巻く諸制度 看護の専門性 医療制度、小テスト 【予習】第6章を読んでくる【復習】全体のまとめノートの確認45分	なりた看護管理者像について話し合おう
授業外学習	
<p>授業前後には、必ず予習45分と復習レポート課題45分をして出席するようにしてください。 この授業は、4年生の統合実習につながる教科目です。 遅刻・早退・中抜け15分以上は欠席とします。欠席が3分の2以上ある場合は、未履修となります。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト・系統看護学講座 看護管理 医学書院 参考書・基礎看護学 看護管理 メディカ出版・ナイチンゲールの覚書</p>	<p>看護学概論、医療経済論、医療安全管理学、看護情報論、統合看護実習</p>

課題に対するフィードバック

3回のテスト結果は、採点后返却します。
14回目のレポートは、最終日にコメントをつけて返します。

備考

科目名	看護教育学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	4年	前期
担当者名	佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

B4403

看護教育制度と看護教育方法の現状と課題を理解し、看護学への関心を深め、質の高い看護のための学ぶ姿勢を身につける。

到達目標

看護学の歴史と教育制度の変遷を理解する
 看護教育制度の現状を理解し、課題について考える
 看護専門職者としての継続教育を理解する
 質の高い看護実践のために必要な看護教育について自らの考えを述べる
 ことができる

成績評価方法

課題レポート (80%)
 グループワーク (20%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				80
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション			○	○	○		
グループワーク		○	○	○	○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護教育とは 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	個人・グループワーク
2) 看護教育の歴史と教育制度の変遷 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
3) 看護教育制度 1 看護基礎教育（看護師、保健師、助産師の教育システム） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
4) 看護教育制度 2 看護基礎教育（大学における教育） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
5) 看護教育制度 3 継続教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
6) 看護教育制度 4 卒後教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
7) 看護教育の実際 1 看護学科の教育課程を見よう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	グループワーク
8) 看護教育の実際 1 自分の希望する病院の卒後教育を見よう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	グループワーク
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
グループワークの際には、事前課題を課す	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

授業時間内でコメントする

備考

科目名	看護情報論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	原田 博子	関連する資格		

授業概要

看護活動に必要な看護情報に焦点を当てて、看護情報とは何か、看護と情報科学の関連や医療情報システムおよび看護情報システムの概要、看護過程や看護記録との関連について学ぶ。また、看護記録等からの看護情報の検索、蓄積、伝達について基本的な事柄を学び、医療情報システムの在り方をする。
臨床での看護管理者としての実務経験をもとに、看護情報論について授業を行う

到達目標

- 【B3414】
1. 看護活動に必要な情報の特徴を説明する
 2. 医療情報システムと看護
 3. 情報収集や情報提供のあり方を倫理的視点から説明する
 4. 看護実践場面での看護情報の具体的活用方法について説明する。

成績評価方法

小テスト、課題レポートと看護記録演習参画によって評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート							40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							5
グループワーク							5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 第1章看護情報学とは、第2章情報化社会【予習】情報リテラシーについて調べてくる45分【復習】配布資料のノート整理45分	小テスト
2) 第6章情報と倫理 第8章個人情報の保護グループワーク個人情報と守秘義務プライバシーの違いについて話し合い発表する【予習】情報倫理について調べてくる45分【復習】配布資料のノート整理45分	小テスト
3) 患者の権利と情報 第7章 医療面接【予習】実習の中で体験したコミュニケーションについてレポートを作成する45分【復習】配布資料のノート整理45分	レポート 小テスト
4) 医療における情報システム第5章 A 医療における情報の記録【予習】情報リテラシーについて調べてくる45分【復習】配布資料のノート整理45分	小テスト
5) 医療における情報システム第5章 B 病院情報システムと記録の仕方【予習】電子カルテのメリットとデメリットについて調べてくる45分【復習】配布資料のノート整理45分	小テスト
6) 看護と情報 第4章【予習】看護記録の目的と課題を調べてくる45分【復習】配布資料のノート整理45分	小テスト
7) 看護記録の実際、看護記録と法的根拠 3つの看護記録の方法事例に基づく記録を作成し提出する【予習】3つの看護記録の方法について調べてくる45分【復習】配布資料のノート整理45分	小テスト
8) 臨床における看護記録の課題 電子カルテの運用、看護実践用語、看護必要度に基づく看護記録【予習】看護必要度について調べてくる45分【復習】配布資料のノート整理45分	小テスト 課題レポート
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
最終回まで受講した後、自分が定めたテーマにもとづいて課題レポートを提示された日時までに提出する。事前学習45分次回授業内容を予習する。事後学習45分：授業後自分でインターネット等を使用してわからなかったことや興味あることを調べて報告する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書：看護情報学、医学書院 基本から学ぶ看護過程と看護診断、医学書院 看護観察判断基準マニュアル、メディカ出版	成人看護学実習 総合実習

課題に対するフィードバック

レポート・小テストはその都度コメントして返却します

備考

科目名	身体コミュニケーション論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	3年	前期			
担当者名	佐藤 美幸、和氣 さち		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格			
授業概要 コミュニケーションの重要性をふまえて、様々な看護場面において対象に応じた方法を用いて対象者と接することができるよう、知識と技術を実践的に学ぶ。具体的には、コミュニケーションスキル、レクリエーション、アロマセラピー、タッチングなどの技術を通して、それらを実践に活用するための基礎的能力を養う。							
到達目標 B3415 1. 医療現場におけるコミュニケーションの重要性について理解できる 2. 様々なコミュニケーション技法について知ることができる 3. 音楽療法、レクリエーション、アロマセラピーの看護への応用の方法が理解できる 4. 対象に応じたレクリエーションの企画・運営ができる 5. コミュニケーションの技術を用いて対象との良好な関係を持つことができる			成績評価方法 最終課題レポート(60%)、授業内レポート(20%)、グループワーク、演習等(20%)にて評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション		○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	医療の現場におけるコミュニケーション1 コミュニケーションとは（佐藤） 【予習】シラバスを確認する（15分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	グループワーク
2)	医療の現場におけるコミュニケーション2 コミュニケーションのズレ（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	グループワーク
3)	医療の現場におけるコミュニケーション3 多様性を理解する（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	グループワーク
4)	アロマセラピーの看護への活用（和氣） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	グループワーク
5)	効果的なタッチング（和氣） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	グループワーク
6)	身体を使ったコミュニケーションスキル（レクリエーション）（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	レクリエーションの体験をする 小レポート
7)	レクリエーションを考えてみよう1 （佐藤） 【予習】グループワークのための材料を集める（30分） 【復習】グループで考えたレクリエーションが行えるよう準備する（60分）	グループワーク
8)	レクリエーションを考えてみよう2 （佐藤） 【予習】グループワークの発表のための準備を行う（30分） 【復習】実際に行ったレクリエーションについて、振り返る（60分）	グループワーク、レクリエーション に参加する
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料配付		

課題に対するフィードバック

授業内でコメントする。

備考

演習・グループワークが多い科目です。自ら学ぶ姿勢で臨んで下さい。

科目名	公衆衛生看護学概論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	2年	後期			
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴代、新開 奏恵		関連する資格	看護師 保健師			
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護活動を理解するため、公衆衛生看護およびヘルスプロモーションの概念に基づいた活動原則と方法を学ぶ。 ・公衆衛生看護の対象となるすべてのライフステージにおける個人・家族・集団・地域社会の視点からの看護活動の意義、目的、役割を探究する。 ・授業内容により、学生相互でディスカッションやグループ学習を通して、公衆衛生看護活動の理解を深める。 <p>『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに、公衆衛生看護活動全般の授業を行う。 新開奏恵は養護教諭実務経験をもとに、学校保健の授業を行う。</p>							
到達目標 『B2502』 1．公衆衛生看護の基本的な考え方（エビデンス含む）と活動の場、役割・活動方法を理解し説明できる。			成績評価方法 授業態度・授業参加度 レポート内容 小テスト結果 定期試験結果 上記を基準として総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	保健師と公衆衛生看護活動 滝川洋子 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	レポート
2)	公衆衛生看護の理念 滝川洋子 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
3)	社会の変化と健康課題 立川美香 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
4)	公衆衛生看護学の歴史 立川美香 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
5)	公衆衛生看護の対象と場 山崎千鶴代 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
6)	公衆衛生看護活動の展開の基盤 立川美香 「予習」テキスト5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
7)	公衆衛生看護活動の展開方法 立川美香 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
8)	行政（保健所）における公衆衛生看護活動 山崎千鶴代 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	小テスト
9)	学校（学校保健）における公衆衛生看護活動 新開奏恵 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	小テスト
10)	行政（保健センター）における公衆衛生看護活動 滝川洋子 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	小テスト
11)	職域（産業保健）における公衆衛生看護活動 立川美香 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	小テスト
12)	保健施策の計画・実施・施策化 滝川 洋子 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
13)	公衆衛生看護管理 滝川 洋子 「予習」テキスト第8章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
14)	健康危機管理 山崎千鶴代 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
15)	公衆衛生看護活動の実際 まとめ 滝川 洋子 「予習」今までのテキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分） 「復習」レポート作成(60分)	授業外レポート
授業外学習		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。 ・ レポートは提示された形式に沿ってまとめ、提出日時は守ること。 ・ 地域のボランティア活動に積極的に参加すること。 		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
公衆衛生看護学概論 医学書院		人間・地域社会・環境関連基礎科目、公衆衛生学、社会福祉論、家族論・家族関係論、コミュニケーション論、災害看護論、人間関係論

課題に対するフィードバック

課題レポートは授業最終日にコメントをつけて返却する。

備考

科目名	在宅看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	清水 佑子、梁元 陽子	関連する資格		

授業概要

在宅看護論の概論として、在宅看護論 および在宅看護論実習の基礎となる理念や問題を学習する。ここでは、在宅看護を支える法律やシステム・理論を理解し、それらを使用して看護師として在宅で暮らす療養者とその家族を支援していく方法を理解する。疾病や障害、虚弱のために看護ニーズをもつ在宅療養者とその家族の特徴について理解し、療養者や家族を支える方法を学習するとともに、社会情勢の変化に即した在宅看護のあり方について学習する。
 清水佑子は、介護老人保健施設の実務経験をもとに、在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険、他職種との連携とケアマネジメントについて授業を行う。
 梁元陽子は、訪問看護の実務経験をもとに病院と家庭をつなぐ退院支援、在宅療養における住宅改修・福祉用具の活用、在宅リハビリテーションについて授業を行う。

到達目標

B3501

1. 在宅看護の歴史、背景、目的、対象について述べることができる。
2. 在宅看護における活動の場の特徴について述べるができる。
3. 在宅療養を支える他職種や他機関の連携、ケアマネジメントの必要性について述べるができる。
4. 在宅療養を支える制度、ケアシステム、社会資源および保健・医療・福祉専門職の役割について述べるができる。
5. 在宅看護の課題と展望について自己の意見を述べ、グループで協力して発表できる。

成績評価方法

期末定期試験
 小テスト
 授業内レポート
 授業への意欲・態度

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							70	
小テスト、授業内レポート							20	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅看護の概念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
2) 在宅看護の倫理と基本理念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
3) 在宅療養者と家族の支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	小テスト
4) 訪問看護の特徴、役割と機能（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
5) 在宅ケアを支える訪問看護ステーション（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
6) 訪問看護の実際（学外講師）【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	
7) 在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
8) 地域包括ケアシステムと在宅ケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
9) 他職種との連携とケアマネジメント（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
10) 在宅ケアシステムの実際（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
11) 病院と家庭をつなぐ退院支援（梁元）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
12) 高齢者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
13) 要介護高齢者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでもくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
14) 障害者の在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
15) 障害者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでもくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
16) 在宅難病療養者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
17) 難病療養者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでもくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
18) 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
19) 子どもに対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでもくる。40分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
20) 在宅看護の対象者の理解（学外講師）【予習】これまでの療養者に対する制度と看護を振り返っておく。30分【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	

21)	在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
22)	認知症に対する在宅看護と高齢者虐待（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
23)	在宅療養における住宅改修・福祉機器の活用（梁元）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
24)	在宅リハビリテーション（梁元）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
25)	在宅ターミナルケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
26)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】在宅看護の課題と展望について調べてくる。30分【復習】テーマに沿って内容を調べる。30分	授業内レポート課題
27)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	小テスト グループワーク
28)	在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	グループワーク
29)	在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分	プレゼンテーション
30)	在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分 講義のまとめ（清水）	プレゼンテーション

授業外学習

授業計画に沿って、教科書を熟読してきてください。

奇数回の授業開始時、小テスト（前回講義内容）があります。講義資料、教科書を復習してください。

在宅看護の展望と課題について個人で調べ、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 櫻井尚子他編；ナーシンググラフィカ 在宅看護論地域療養を支えるケア第6版，メディカ出版 <参考書> ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術，メディカ出版．	公衆衛生看護学概論，社会保障論，社会福祉論，看護学概論，看護理論，家族論・家族関係論，緩和ケア論，成人看護学総論，成人看護学・，小児看護学・，老年看護学・，精神看護学・

課題に対するフィードバック

小テストは採点后返却します。プレゼンテーション後は、内容について講義中にコメントします。

備考

科目名	在宅看護論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	3年	後期			
担当者名	清水 佑子、梁元 陽子		関連する資格				
授業概要 在宅療養者とその家族に対する看護実践のために必要な生活ケアと医療的ケアについて、知識・技術を理解する。 在宅看護論実習の基盤となる科目として、技術内容とその根拠を理解する。また在宅療養者を援助する方法をイメージできるように、事例を通して療養者と家族の問題をアセスメントし、問題を抽出し、問題解決のために必要と考えられる方法、社会資源を考える。 梁元陽子は、訪問看護の実務経験をもとに在宅における援助技術（服薬管理）についての授業を行う。							
到達目標 B3502 1. 療養者や家族と信頼関係を形成するための方法について述べるができる。 2. 在宅における生活ケアについて具体的に述べるができる。 3. 在宅における医療的ケアについて具体的に述べるができる。 4. 在宅におけるリスクマネジメントの必要性について理解できる。 5. 在宅看護過程を展開し、事例に応じた対象の問題や課題を明確にできる。			成績評価方法 期末定期試験 小テスト 授業内レポート 授業・グループワークへの意欲・態度				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅におけるコミュニケーション（清水）【予習】基礎・老年看護学で学んだコミュニケーションに関する資料を見る。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。ロールプレイングの準備。30分	グループワーク
2) 初回訪問時の面接技術（清水）【予習】ロールプレイングの準備。30分【復習】ロールプレイングをふまえて、在宅へ訪問する際の留意点をまとめる。30分	ロールプレイング
3) 在宅における生活ケアと医療的ケア/在宅における援助技術 食と栄養のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	
4) 在宅における援助技術 排泄のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	小テスト
5) 在宅における援助技術 清潔 移動のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
6) 在宅における援助技術 呼吸のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
7) 在宅における援助技術 服薬管理（梁元）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
8) 在宅における援助技術 感染予防の援助（清水）【予習】基礎看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
9) 在宅における援助技術 良肢位の保持と褥瘡予防（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
10) 在宅看護過程の考え方（清水）【予習】基礎看護学で学んだ看護過程の方法の振り返り。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト
11) 看護過程の展開(1)在宅看護過程の考え方（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
12) 看護過程の展開(2)（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
13) 看護過程の展開(3)（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク・グループワーク
14) 看護過程の展開(4)（清水）【予習】グループワークで発言できるよう準備する。30分【復習】グループワークで行った看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 グループワーク
15) 看護過程の展開(5)まとめ（清水）【予習】グループでプレゼンテーションの準備をする。30分【復習】プレゼンテーションをふまえて事例の療養の課題を明確にし、全授業の振り返りをする。30分	プレゼンテーション
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストを熟読してきてください。授業開始時、小テスト（前回講義内容）があります。講義資料、教科書を復習してください。	
13)までにレポートを作成し、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト>櫻井尚子他編；ナースンググラフィカ 在宅看護論地域療養を支えるケア第6版，メディカ出版</p> <p><参考書>ナースンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術，メディカ出版．正野逸子他編；在宅看護過程第2版，メヂカルフレンド社．</p>	<p>在宅看護論 ，看護過程論，基礎看護方法論 ，基礎看護方法論演習 ，成人看護学 ，老年看護学 ．</p>

課題に対するフィードバック

小テストは、採点后返却します。
授業内レポート課題については、コメントを記載して返却します。

備考

科目名	緩和ケア論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	3年	前期			
担当者名	原田 博子、江口 恵里		関連する資格	看護師 保健師			
授業概要 死の意味は個々の生きてきた過程やその中で培われた人生観、死生観によって異なる。人生の大切な最期の短い時期を患者は、どのように過ごし、家族はどのように支えるか。医療者はこの患者・家族に心身の援助をどのように実践していくのか。尊厳のある人間の生命を完結できるように援助するために必要な看護を学ぶ。 原田は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、緩和ケアについて授業を行う 江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、緩和ケアについて授業を行う							
到達目標 【B3416】 1 緩和ケアに類似した用語について説明できる 2 緩和ケアの基盤となる看護ケアの意義を説明できる 3 症状がもたらす生活への影響に配慮し、症状緩和につながるケア・治療が説明できる 4 がん以外の疾患でも緩和ケアが必要とされていることが説明できる 上記の目標を通して、人生において必ず迎える「死」を考え、生活の質や尊厳、全人的苦痛、喪失・悲嘆、病、老いなどの理解を深め、医療人に求められる態度を育む。			成績評価方法 定期試験（中間・期末） 宿題、授業外レポート グループワーク				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 緩和ケアとは：担当原田 予習：教科書 p1～49までをよんでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	
2) 緩和ケアの基盤となる考え方：江口 予習：教科書 p52～76までを読み学習課題をする（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
3) 緩和ケアの基盤となる考え方：江口 予習：教科書 p77～98までを読み学習課題をする（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
4) がんと緩和ケア・痛みのマネジメント：がん専門看護師（外部講師） 予習：教科書第 章痛みのマネジメントを読み p125の課題をレポート提出（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	レポート
5) 見取りのケア：江口 予習：教科書 p178～201までを読み学習課題をする（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
6) 心不全とともに生きる人と家族へのエンド・オブ・ライフケア：原田 予習：配付された事例・病の軌跡を読み課題レポートをする（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	レポート
7) 認知症とともに生きる人と家族へのエンド・オブ・ライフケア：江口 予習：配付された事例・病の軌跡を読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	グループワーク
8) 緩和ケアの今後の展望：原田 予習：教科書 p276～288までを読んでおく（80分） 復習：教科書・プリントなどを活用し学習を深める（60分）	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
梅田恵・射場典子（編）「緩和ケア」尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐ技と心 改訂第2版 南江堂,2019	成人看護学 小児看護学 在宅看護論 基礎看護学

課題に対するフィードバック

授業シートに書かれた質問について、次回の授業時間に補足説明をします。
提出されたレポートについては、コメントをつけて返却します。

備考

科目名	災害看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	後期
担当者名	滝川 洋子、伊藤 美穂	関連する資格	看護師 保健師	

授業概要

- ・災害及び災害看護に必要な基礎的知識を学び、災害が人々の生命や健康、生活に影響を及ぼすことについて理解を深める。
- ・災害発生時の社会の対応やしきみについて学習し、災害サカ外における看護の果たす役割について学ぶ。
- ・内容に応じ専門分野の特別講師の講義も含む。また災害復旧復興期および準備期の活動に関しては課題を提示し、グループワークを実施する。

『実務経験』滝川洋は保健師実務経験をもとに災害各期の対応について授業を行う。
伊藤美穂は看護師実務経験をもとに災害時の基本的知識及び必要な看護技術等について授業を行う。
尾家重治は薬剤師実務経験をもとに災害時の感染看護について授業を行う。

到達目標

『B2503』

1. 災害および災害看護に関する基礎的知識を理解し説明できる。
2. 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響について理解し説明できる。
3. 災害に対する個人の備えや災害発生時の社会の対応について理解し説明できる。
4. 災害時の看護師・保健師が果たす役割と災害各期における各々の活動を理解し説明できる。

成績評価方法

授業態度・授業参加度
レポート内容
グループワーク
定期試験結果
等を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 災害に関する基本的知識 災害発生時の社会の対応やしきみ [予習]テキストp1~102を読んでおく(60分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 伊藤美穂	
2) 災害各期における看護活動～災害急性期から亜急性期への対応～ [予習]テキストp103~123を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 滝川洋子	グループワーク
3) 災害各期における看護活動～災害後中長期的な健康問題への対応～災害と感染看護 [予習]テキストp314~330、p126~130を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 尾家重治	グループワーク
4) 在宅療養、避難所、仮設・復興住宅における看護 課題提示しレポート作成 [予習]テキストp131~150を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 滝川洋子	グループワーク 授業内レポート提出
5) 災害時の備え・個人及び地域の備え 宇部市の防災危機管理体制 [予習]テキストp68~102を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 滝川洋子	グループワーク
6) 公衆衛生看護と災害 災害に対する保健師の役割 [予習]テキストp214~227を読んでおくこと(30分) [復習]課題レポートの作成(30分) 滝川洋子	授業外レポート課題提示
7) 災害時に必要な看護技術 体系的対応の基本原則とTIA-ジ 応急処置・搬送 [予習]テキストp151~172を読んでおくこと(30分) [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分) 伊藤美穂	グループワーク
8) 医療機関における災害看護 医療機関における災害への備え、初動体制・災害訓練 [予習]テキストp173~190を読んでおくこと(30分) [復習]課題レポートの作成(30分) 伊藤美穂	授業外レポート提出 グループワーク
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業計画に沿って、テキストの該当ページを予習し、授業終了後復習しておくこと。 レポートは提示された形式に沿ってまとめ、提出日時は守ること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
災害看護論 南江堂	既習の看護学科目、公衆衛生看護学、疫学・保健統計、公衆衛生学、保健医療福祉行政論、身体とコミュニケーション、社会保障論、社会福祉論等

課題に対するフィードバック

課題レポートは授業最終日にコメントをつけて返却する。

備考

科目名	国際看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	前期
担当者名	梁元 陽子	関連する資格		

授業概要

看護の対象は「人間」であり、看護という概念には、国境も人種も、文化も越えた国際看護という考え方が備わっている。本講義では、すべての看護師職者に必要な国際看護に関する知識の基礎を学ぶ。

到達目標

B2504

1. 国際看護で学んだ対象を理解するための視点を述べることができる。
2. グローバルな視点で世界の人々の健康や生活課題を述べるができる。
3. 国際看護活動の実際を述べるができる。
4. 国際協力を支える国際機関について述べるができる。

成績評価方法

定期試験（記述式・紙媒体の持ち込み可能）
小テスト（5回）
課題レポート（授業内5回・授業外3回）
プレゼンテーション（1回）

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)	○	○					60	
小テスト、授業内レポート	○	○					20	
宿題、授業外レポート	○	○	○				10	
授業態度・授業参加度			○		○			
プレゼンテーション		○		○	○		5	
グループワーク	○		○		○		5	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 国際看護のすすめ、異文化への理解（梁元陽子） 【予習】教科書P2～P19を読んでおく（30分） 【復習】小テストに向けて講義内容の復習、課題レポートの作成（60分）	授業内レポート 授業外レポート
2) 国際移動する看護師、性の多様性（梁元陽子） 【予習】教科書P46～P57を読んでおく（30分） 【復習】講義内容の復習（60分）	小テスト 授業内レポート
3) 日本の国際協力、「人間の安全保障」と国際機関（田中和子） 【予習】教科書P20～P37を読んでおく（30分） 【復習】課題レポートの作成、講義内容の復習（60分）	授業外レポート
4) 健康格差と世界の貧困、プライマリヘルスケア（梁元陽子） 【予習】教科書P90～P96、P38～P44を読んでおく（30分） 【復習】小テストに向けて講義内容の復習（60分）	小テスト 授業内レポート
5) 紛争と難民、災害と看護（梁元陽子） 【予習】教科書P58～P66、P77～P89を読んでおく（30分） 【復習】小テストに向けて講義内容の復習（60分）	小テスト 授業内レポート
6) 感染症とスティグマ（梁元陽子） 【予習】教科書P67～P76を読んでおく（30分） 【復習】プレゼンテーションの準備	小テスト グループワーク 授業外レポート
7) 国際協力への理解を深める。（梁元陽子） 【予習】教科書P98～P121を読んでおく（30分） 【復習】課題レポートの作成、小テストに向けて3,4コマの講義を復習する（60分）	小テスト グループワーク
8) これからの私たちの選択（梁元陽子） 【予習】プレゼンテーションの準備（30分） 【復習】定期試験に向けてノートの整理・復習をする（60分）	プレゼンテーション 授業内レポート
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
1. 授業計画に記載されているテキストの該当単元を読み、分からない用語を調べてください。 2. 小テストは講義済みの内容から出題します。復習を欠かさずに行ってください。 3. 授業外レポートは講義内容に即したテーマです。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 近藤麻里 2018 『知って考えて実践する 国際看護 第2版』 医学書院 <参考図書> 講義内で提示します。	看護学概論、災害看護

課題に対するフィードバック

小テストの正誤と解説をします。
課題レポートはコメントを付けて返却します。

備考

15分以上の遅刻・早退・中座は欠席扱いとします。
試験の受験資格は全講義の3分の2以上の出席で付与されます。出席・欠席の管理は各自で行ってください。教員より欠席回数
の通知はありません。

科目名	在宅看護論実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	4年	前期
担当者名	清水 佑子、梁元 陽子	関連する資格		

授業概要

何らかの支援を必要とする人に向けた在宅ケアシステムの概要を学ぶとともに、在宅で療養している対象者とその家族に対して、生活を尊重しながら生活の質(QOL)向上の視点から看護援助が実践できる基礎的能力を養う。

到達目標

B4502a

1. 在宅療養者とその家族について、生活状況をふまえた療養上の課題について説明できる。
2. 在宅療養者とその家族がもつ療養上の課題に対する訪問看護師の役割と、その活動について説明できる。
3. 保健・医療・福祉に携わる関連職種との連携・協働について理解できる。
4. 私生活の場に第三者が介入することの意味を考え、療養者および家族に配慮した行動がとれる。
5. 療養者が在宅で生活し続けるための在宅看護のあり方と在宅ケアシステムや社会資源について考察できる。

成績評価方法

提出物
実習記録
授業外レポート

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							75

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>2週間のうち訪問看護ステーション4日，地域連携室半日，居宅介護支援事業所半日，通所リハビリテーション1日の実習を行う。</p>	<p>知識確認テスト 関連図を基にした事例検討</p>
<p>授業外学習</p>	
<p>実習開始前に知識確認テストがあります。講義資料、テキストを復習してください。 実習事前準備として学習をし、積極的に実習に取り組んでください。 課題に沿ってレポートを作成し、実習の振り返りを行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習ガイドブック在宅看護論実習2020年度</p>	<p>在宅看護論、在宅看護論</p>

課題に対するフィードバック

備考

科目名		総合看護実習					
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	必修	1		4年	前期		
担当者名	坂井 浩美、原田 博子、狩野 京子、 、安成 智子、川崎 幹子、金子 真弓、 、山崎 啓子、清水 佑子、柿並 洋子、 磯村 中美、和氣 幸子、伊藤 美穂	関連する資格					
授業概要 これまでの病院や施設または行政での実習を通して見出した自らの課題を明確にした上で、主体的に実習をすすめ、さらに実践能力を高める。 看護業務に携わった経験を持つ教員（坂井・原田・狩野・安成・川崎・金子・清水・山崎啓子・柿並・磯村・和氣・伊藤・江口・梁元・宮本・烏谷）が引率し、指導を行います。							
到達目標 【B4302a】 1．これまでの臨地実習での自己の課題を明確にし、課題解決に向けて意図的・計画的に実習に臨むことができる。 2．患者のアセスメントを行い、ニーズを把握することができる。 3．患者のニーズを充足するための看護計画を立案できる。				成績評価方法 臨地実習100点、技術試験100点で評価する。各々60%以上の得点で単位を認定する。 臨地実習は、目標達成状況、実習記録、実習態度などを総合して評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>8月6日（木）に技術試験を行います。 別冊：看護学臨地実習ガイドブック 総合看護実習 ・ 参照</p>	
授業外学習	
<p>事前に技術試験を実施するため今まで学習した内容から本実習 必要な技術を復習し習熟しておくこと、 実習内容については、別途オリエンテーションを設ける 実習終了後記録のまとめを要する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護管理、医学書院</p>	<p>看護管理、各領域臨地実習、総合看護実習</p>

課題に対するフィードバック

備考

科目名		総合看護実習					
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	必修	1		4年	後期		
担当者名	坂井 浩美、原田 博子、狩野 京子、金子 真弓、山崎 啓子、清水 佑子、柿並 洋子、磯村 中美、和氣 幸子、伊藤 美穂	関連する資格					
授業概要 総合看護実習 での学びをさらに深め、看護の対象（患者）を多角的・統合的に把握し、対象の健康上・看護上のニーズを充足させるための援助を展開する。1年次から学んだ看護の集大成として、看護技術や知識を再確認し、実践に応用できる能力を養うとともに自らの看護観をまとめる。 看護業務に携わった経験を持つ教員（坂井・原田・狩野・安成・川崎・金子・清水・山崎啓子・柿並・磯村・和氣・伊藤・江口・梁元・宮本・烏谷）が引率し、指導を行います。							
到達目標 【B4302a】 1．複数患者のニーズを充足するための看護計画に基づき、優先順位を考えた看護実践ができる。 2．チームでの看護実践と医療安全への取り組みが理解できる。 3．看護職の役割や責任、倫理について考察し、自己の看護観をまとめる。				成績評価方法 臨地実習100点、知識試験100点として、各々60点以上で合格とする。 臨地実習は、実習目標の達成状況、レポート、実習態度を総合して評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック 総合看護実習 ・ 参照 実習の最終はまとめとして、グループワークをします。		
授業外学習		
臨地実習に必要な学習を行うこと。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
看護管理 医学書院	各領域臨地実習 総合看護実習	

課題に対するフィードバック

備考

科目名	研究			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	後期
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、山崎 啓子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭1種免許状	

授業概要

看護における研究の意義、研究の倫理、ならびに研究方法論について、実践を通して理解を深めるとともに、これまでの学習を通して芽生えた問題意識を研究テーマへと発展させる。また課題の究明に求められる研究的な学習の進め方、研究に重要な科学的かつ論理的な思考方法を学ぶ。

到達目標

B3301

- 1) 看護における研究の意義、必要性を理解できる。
- 2) 研究を通して、科学的・論理的思考を修得する。
- 3) 研究の展開方法について理解できる。
- 4) 各研究方法論の概要について理解できる。
- 5) 研究論文のクリティークを行うことができる。
- 6) 研究計画書の書き方について理解できる。
- 7) 研究における倫理的配慮の重要性について理解できる。

成績評価方法

試験およびレポートで評価する

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○		○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	全体オリエンテーション/研究とは（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
2)	看護研究のはじめ方 - リサーチクエスチョンをたてる 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
3)	文献レビューとその方法（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
4)	研究における倫理的配慮（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
5)	研究デザインとデータの収集 1 研究デザインの選択、整理（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
6)	研究デザインとデータの収集 2 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
7)	研究デザインとデータの収集 3 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
8)	研究デザインとデータの収集 4 量的研究（山崎） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
9)	研究デザインとデータの収集 5 量的研究（山崎） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
10)	データ分析（山崎） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
11)	研究計画書の作成（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
12)	研究を伝える - 学会発表・論文作成（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
13)	文献検討（佐藤、安成、山崎） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	グループワーク
14)	文献検討（佐藤、安成、山崎） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	グループワーク
15)	まとめ（佐藤、安成、山崎） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）	
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
坂下玲子ほか 系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院		既習科目すべて

課題に対するフィードバック

授業内でコメントする

備考

科目名	研究						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
演習	必修	2		4年	通年(前期)		
担当者名	佐藤 美幸、原田 博子、安成 智子、坂井 浩美、川崎 幹子、新開 奏恵、金子 真弓、清水 佑子、立川 美香、山崎 啓子、楠並 洋子、伊藤 美穂	関連する資格		看護師国家試験受験資格			
授業概要 研究計画書の作成を通して、各自の課題に対して問題解決を図る方法を身につけるとともに、科学的な思考や論理的表現方法を学ぶ。また、その過程を通して、倫理的配慮の重要性、研究フィールドを得るための方法など研究に必要な知識を身につける。							
到達目標 B4301 1) 研究計画書を作成することができる。 (1) 研究課題を明確にすることができる。 (2) 研究目的を設定することができる。 (3) 文献検索を行い、研究の背景を明確にすることができる。 (4) 研究の意義を明らかにすることができる。 (5) 研究方法を記述することができる。 (6) 研究デザインを記述することができる。 2) 論理的・科学的思考を修得することができる。 3) 看護上の問題解決能力を養うとともに、看護実践の根拠を考えることができる。 4) 研究における倫理的配慮の重要性を修得できる。 5) 看護における科学的根拠を示す方法としての研究の必要性および重要性が理解できる。				成績評価方法 評価表(要項に添付)による。 評価は、指導教員が行い、科目責任者が認定する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		100
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 指導教員による個別・グループ指導（別紙、研究要項による） 自己学習・作業時間を各回60分程度確保する必要がある。	ゼミ形式による個別指導を毎回行う
2)	
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

指導教員より授業内でコメントを受ける

備考

科目名	研究						
授業形態	履修形態		単位数		年次	開講期	
演習	必修		2		4年	通年(後期)	
担当者名	佐藤美幸、坂井浩美、金子真弓、山崎啓子	原田博子、川崎幹子、清水桂並	安成智子、新開奏恵、立川美香	伊藤美穂	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭1種免許状	
授業概要 研究計画書の作成を通して、各自の課題に対して問題解決を図る方法を身につけるとともに、科学的な思考や論理的表現方法を学ぶ。また、その過程を通して、倫理的配慮の重要性、研究フィールドを得るための方法など研究に必要な知識を身につける。							
到達目標 B4301 1) 研究計画書を作成することができる。 (1) 研究課題を明確にすることができる。 (2) 研究目的を設定することができる。 (3) 文献検索を行い、研究の背景を明確にすることができる。 (4) 研究の意義を明らかにすることができる。 (5) 研究方法を記述することができる。 (6) 研究デザインを記述することができる。 2) 論理的・科学的思考を修得することができる。 3) 看護上の問題解決能力を養うとともに、看護実践の根拠を考えることができる。 4) 研究における倫理的配慮の重要性を修得できる。 5) 看護における科学的根拠を示す方法としての研究の必要性および重要性が理解できる。					成績評価方法 評価表(要項に添付)による。 評価は、指導教員が行い、科目責任者が認定する。		
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		100
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 指導教員による個別・グループ指導（別紙、研究要項による） 自己学習・作業時間を各回60分程度確保する必要がある。	ゼミ形式による個別指導を毎回行う
2)	
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	
8)	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

指導教員より授業内でコメントを受ける

備考

科目名	公衆衛生看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	4	3年	前期			
担当者名	立川 美香、滝川 洋子、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師 看護師				
授業概要 ・人びとが自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図ること（セルフケア力の向上）を支援するための保健指導方法の基本的考え方と実践方法について演習等を通して学ぶ。 ・集団における教育方法の基本的考え方と実践方法についてグループワーク等を通して学ぶ。 ・地域の人びとや医療、福祉などの他職種、機関との協働のあり方とその実践方法を学ぶ。 【実務経験】 立川美香、滝川洋子、山崎千鶴代は、保健師としての実務経験をもとに、公衆衛生看護学 の授業を行う。							
到達目標 【B3503】 ・地域住民に対する個別的指導方法を理解し、説明できる。 ・対象別に必要な集団保健指導方法を理解し、説明できる。 ・対象が必要とする健康教育を実践するためのプロセスを理解し、演習としてグループワークを経てプレゼンテーションができる。 ・地域の人びと、関係者・機関との協働について理解し、説明できる。			成績評価方法 授業態度・授業参加度（10%） グループワーク・プレゼン（20%） レポート内容（10%） 定期試験結果（60%） 上記を基準として総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 地域で展開される公衆衛生看護活動の実際（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	レポート
2) 健康の概念とプライマリヘルス・ヘルスプロモーション（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
3) 保健指導（目的・対象・技術）（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
4) 保健指導（目的・対象・技術）（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
5) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
6) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
7) 健康診査の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
8) 健康診査の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
9) 家庭訪問の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
10) 家庭訪問における家族の捉え方とエコマップ（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
11) 庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
12) 家庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
13) 家庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
14) 家庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
15) 家庭訪問 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
16) 家庭訪問 演習（まとめ） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
17) 健康教育の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
18) 健康教育の理論と実践（立川） 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
19) 健康教育 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
20) 健康教育 演習（立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代） 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク

21)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
22)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
23)	健康教育 演習(中間)(立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
24)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
25)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
26)	健康教育 演習 (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク
27)	健康教育 プレゼンテーション (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
28)	健康教育 プレゼンテーション (立川美香・滝川洋子・山崎千鶴代) 【予習】テキストをと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分) 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする(30分)	グループワーク プレゼンテーション
29)	地域組織活動の展開(滝川洋子) 【予習】テキストを読む(30分) 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分)	
30)	セルフヘルプグループ活動とその支援(滝川洋子) 【予習】テキストを読む(30分) 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る(30分)	

授業外学習

- ・保健師選択科目で使用するテキスト以外でも、必要に応じ他の科目のテキストを読むこと。
- ・図書館の本や雑誌、新聞、視聴覚教材など、テキスト以外のものを活用し予習・復習をすること。
- ・復習する際には、授業の内容に該当する保健師国家試験問題を解き、不明な所は授業中必ず質問をすること。

テキスト、参考書、教材

関連する科目

- ・「保健師業務要覧」第4版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会
- ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会
- ・「公衆衛生看護学概論」第5版医学書院
- ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2018/2019

公衆衛生学、公衆衛生看護概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、憲法・人権論、地域社会学、生涯発達心理学、人間関係論、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じコメントを記入したり授業の中で説明します。課題は前期終了までに返却しますので、公衆衛生看護学実習 に活用できるように整理をしておいてください。

備考

- 保健師ノートについて
- ・自己学習した内容を保健師ノートにファイルしてください。
- ・このノートは4年生まで活用します。

授業の心得

- ・授業中や演習では積極的に発言・参加すること。
- ・授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。

- ・授業の出席日数は各自で管理してください。
- ・授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。

科目名	公衆衛生看護学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	4	3年	前期
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴 代、新開 奏恵	関連する資格	保健師	

授業概要

・ライフサイクル（母子・成人・高齢者）に応じた保健活動、健康問題（精神・感染症・難病・障害児者等）に対する保健活動、社会集団（学校・産業）を対象とした保健活動を法的根拠や政策をもとに、それぞれの対象への保健指導の基本や実践について講義、グループ学習（学生相互の学び合い）・プレゼンなどを通して理解する。

『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに、公衆衛生看護活動全般の授業を行う。
新開奏恵は養護教諭実務経験をもとに学校保健の授業を行う。

到達目標

『B3504』

1. 対象別保健の動向・施策や制度を理解し説明できる。
2. 対象別の健康課題と保健指導の内容を理解し説明できる。
3. 産業保健の職域の特徴と対象者の健康課題を理解し説明できる。
4. 産業保健における保健師の職務と役割を理解し説明できる。
5. 学校保健の対象と健康課題を理解し説明できる。
6. 学校保健における養護教諭の職務と役割を理解し説明できる。
7. 住民の健康の保持増進の為に保健師の役割や職域との連携・協働が理解し説明できる。

成績評価方法

授業態度・授業参加度
プレゼンテーション
グループワーク
演習、
定期試験結果
等を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							10
グループワーク							5
演習							5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 母子保健活動；母子保健指導の動向 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
2) 母子保健活動；母性各期の健康課題と保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
3) 母子保健活動；乳幼児期の成長発達と保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
4) 母子保健活動；ハイリスクの母子への保健指導 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
5) 成人保健活動；成人保健の動向 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
6) 成人保健活動；成人期の保健活動・保健指導 「予習」テキスト第2章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
7) 高齢者保健活動；高齢者保健の動向 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
8) 高齢者保健活動；高齢者の生活と保健指導 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
9) 高齢者保健活動；在宅要介護高齢者と家族への保健指導 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	プレゼンテーション グループワーク
10) 精神保健活動；精神保健の動向 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
11) 精神保健活動；精神障害者の生活上の障害と保健指導 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	プレゼンテーション グループワーク
12) 精神保健活動；社会病理を背景とする主な疾患 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
13) 障害者（児）保健活動；障害者保健の動向 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	プレゼンテーション グループワーク
14) 障害者（児）保健活動；障害者保健施策と保健活動 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
15) 難病保健活動；難病対策の動向 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	プレゼンテーション グループワーク
16) 難病保健活動；難難病患者の生活と保健指導 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
17) 感染症保健活動；感染症保健の動向 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
18) 感染症保健活動；感染症保健施策と保健活動 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
19) 感染症保健活動；疾病管理 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	
20) 感染症保健活動；感染症集団発生 「予習」テキスト第12章Bを読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること(30分)山崎千鶴代	演習

21)	歯科保健活動；歯科保健の動向と保健活動の実際 「予習」テキスト第8章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）滝川洋子	
22)	産業保健活動；産業保健の動向 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
23)	産業保健活動；産業保健の制度とシステム 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
24)	産業保健活動；産業保健における健康課題 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
25)	産業保健活動；産業保健の展開 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分）立川美香 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）立川美香	
26)	学校保健活動；学校保健の動向 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	
27)	学校保健活動；学校保健の制度とシステム 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	
28)	学校保健活動；学校保健・看護の現状と健康課題 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	
29)	学校保健活動；養護教諭の職務と保健室の機能 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）新開奏声	
30)	総括 滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代・新開奏声	レポート

授業外学習

- ・事業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。
- ・第2回にプレゼンテーションの課題をいくつか提示、その中から自ら選択し、レポート作成すること。レポートに沿って、授業開始時発表、その後発表内容についてグループ討議を行う。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
対象別公衆衛生看護活動 医学書院	保健医療福祉行政論、疫学保健統計、公衆衛生学、社会保障論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、栄養と運動

課題に対するフィードバック

課題レポートは授業最終日にコメントをつけて返却する。

備考

科目名	公衆衛生看護学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	3年	後期			
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に顕在あるいは潜在している健康問題の把握方法、地域看護診断に基づく活動計画と評価、さらに住民ニーズの施策化など、組織的に解決する方法について理解する。 ・地域の人々が自ら健康問題を意識し、主体的に問題解決ができるようにするための方法や地域ケアシステムづくりについて理解する。 ・公衆衛生看護管理活動及び地域の健康危機に対する活動について理解する。 ・学習手段として、グループワークや学生間での意見交換等を積極的に導入する。 <p>『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験にもとに、公衆衛生看護活動全般及び看護診断について授業を行う。</p>							
到達目標 『B3505』 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域看護診断の方法を理解し、地域の健康課題をアセスメントできる。 2. 看護活動の計画・実践・評価について理解し説明できる。 3. 事業計画の策定、進行管理、評価の方法を理解し説明できる。 4. 公衆衛生看護管理の目的およびその機能を理解し説明できる。 5. 健康危機管理・リスクマネジメントについて理解し説明できる。 			成績評価方法 授業態度・授業参加度 グループワーク・プレゼンテーション レポート 定期試験 上記を基準として総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							5
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							15
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公衆衛生看護活動とは 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
2) 地区活動の基本と対象のとらえ方 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
3) 地区活動の展開 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
4) 公衆衛生看護学での看護過程の使い方 立川美香 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
5) 地域看護診断の概念と理論 立川美香 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
6) 地域看護診断の考え方、地域のとらえ方 立川美香 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
7) 地域看護診断 演習の進め方 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
8) 地域看護診断 演習 立川美香 山崎千鶴代 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	グループワーク
9) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
10) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
11) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
12) 地域看護診断 演習中間プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク
13) ヘルスケアシステムの概要 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
14) 保健計画と実践（福祉施策を含む） 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
15) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること(30分) 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
16) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
17) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
18) 地域看護診断 演習 立川美香・山崎千鶴代 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
19) 地域看護診断 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク
20) 地域看護診断 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備（30分） 「復習」プレゼンテーションの内容の確認（30分）	グループワーク

21)	地域看護診断 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
22)	地域看護診断 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
23)	公衆衛生看護管理の概念・目的・機能 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
24)	地区視診 演習プレゼンテーション準備 立川美香・山崎千鶴代 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	グループワーク
25)	地区視診 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
26)	地区視診 演習プレゼンテーション 立川美香・山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」プレゼンテーションの準備(30分) 「復習」プレゼンテーションの内容の確認(30分)	プレゼンテーション
27)	地域看護診断・地区視診のまとめ 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」地域看護診断・地区視診の演習の振り返り(30分) 「復習」地域看護診断・地区視診についてレポート提出(60分)	グループワーク レポート
28)	公衆衛生看護管理 業務管理と情報管理 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
29)	公衆衛生看護管理 予算管理・人材管理・人材育成 滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
30)	公衆衛生看護管理 健康危機管理 山崎千鶴代・滝川洋子 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	

授業外学習

- ・授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読すること。また、授業後はテキスト該当単元を復習すること。
- ・グループワークに必要な知識の強化を図ること。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
授業開講時に示す。	公衆衛生学、疫学、保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方

課題に対するフィードバック

課題レポートは授業最終日にコメントをつけて返却する。

備考

科目名	公衆衛生看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	3年	後期
担当者名	立川 美香、滝川 洋子、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師 看護師	

授業概要

- ・公衆衛生看護学実習 では、市町村保健センターを中心に実習を展開する。
- ・既習及び学習中の公衆衛生看護学の知識・技術・態度を統合し、地域における看護の実際を体験する。
- ・保健活動を通して行政における看護活動に方法を理解する。

【実務経験】

立川美香、滝川洋子、山崎千鶴代は保健師としての実務経験のもとに、公衆衛生看護学実習 の授業を行う。

到達目標

【B3506a】

- ・地域保健法に基づいた市町村の役割を理解する。
- ・対象者の健康と生活を多角的にアセスメントし、顕在的・潜在的な健康課題を明らかにする。また健康課題解決の為の展開方法を思案する。
- ・対象者が自尊心、自己効力感、意欲を持ち、持てる力を発揮する支援を理解する。
- ・公衆衛生看護技術を通して、地域の社会的、文化的特性を踏まえて、地域の看護診断必要性や活用方法を理解する。
- ・必要な社会資源の理解と利用、関係者・関係機関との連携のあり方を理解する。また、地域保健医療チームの一員としての看護職の役割と機能を理解する。
- ・実習に関わる多職種や地域で生活する人々の意見を聴き、そのことに対して専門職としての自分の考えを述べるができる。

成績評価方法

宿題、授業外レポート：事前学習への取り組み
小テスト、授業内レポート：実習後のレポート
授業態度・授業参加度：実習前後を含めての積極的な態度
プレゼンテーション：実習前後を含めて、自己を表現する態度
グループワーク：グループへの参加の態度
実習：実習前後を含めての積極的な態度

上記を基準として総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート	○			○	○		10
授業態度・授業参加度				○			50
プレゼンテーション							10
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護学実習 ガイドブック参照	実習前後を含めて、グループ全体で協力し合って実習に臨む。その際には、グループでディスカッションをし、自身の課題とグループの課題を抽出し、修正点や不十分な点を明らかにする。課題に対する解決方法を計画し、積極的に実施する。実施した内容については、グループ間で評価しあう。
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な知識をテキスト等で予習してきてください。 ・実習先の市の概要について事前に調べてください。 ・授業後は実習で学んだ事をテキスト等で復習してください。 ・グループワークに必要な知識の強化と資料収集をしてください。 ・グループワークの時間内に円滑な学習経過が辿れない場合は、次回のグループワークまでに遅延を取り戻してください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	公衆衛生学、公衆衛生看護概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、憲法・人権論、地域社会学、生涯発達心理学、人間関係論、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する、「看護学臨地実習ガイドブック」および「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み内容を理解し、遵守してください。

科目名	公衆衛生看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	3	4年	前期
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師	

授業概要

- ・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。
- ・市保健センターにおいて、地域の健康課題およびヘルスニーズ、活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。
- ・地域の健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を習得する。
- ・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。

『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標

『B4503a』

1. 市における保健・医療・福祉のシステムを学び、保健師の役割と活動内容を理解し説明できる。
2. 市における健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。
3. 直接的な支援（訪問指導、健康教育等）を学習し実践できる。
4. 保健師としての態度を身につける。

成績評価方法

実習態度・実習参加度
 実習前学習への取組状況
 （地域診断・家庭訪問計画・健康教育実践準備等）
 実習記録等の記録物
 実習終了後の自己評価
 等で総合評価をする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護学実習 ガイドブック参照	ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 健康教育の実践 家庭訪問に実践 健康相談の実践 健康診査の実践等
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域での健康教育実践のための事前準備はグループで協力して行う。 ・家庭訪問実習は前もって情報収集し訪問計画を立てる。 ・実習先の地域診断は実習前からグループで取り組み、実習終了するまでに完成させる。 ・実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	公衆衛生学、疫学・保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方、公衆衛生看護学実習

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

科目名	公衆衛生看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	4年	前期			
担当者名	滝川 洋子、立川 美香、山崎 千鶴 代		関連する資格	保健師			
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。 ・保健所の活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。更に、健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を理解する。 ・保健所における健康危機管理の現状と保健師の活動と役割について学ぶ。 ・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。 <p>『実務経験』滝川洋子・立川美香・山崎千鶴代は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。</p>							
到達目標 『B4504a』 <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所の機能及び役割を理解し説明できる。 2. 保健所保健師の役割と、保健所で働く他職種の活動内容を理解し説明できる。 3. 保健所管轄地域の健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。 4. 地域の健康問題に対して、保健所で実施している対人サービスを理解し説明できる。 5. 保健師としての態度を身につける。 			成績評価方法 実習態度・実習参加度 実習前学習への態取組状況（地域診断・家庭訪問計画等） 実習記録等記録物 実習終了後の自己評価 等で総合評価をする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護実習 ガイドブック参照	ディスカッション グループワーク 家庭訪問の実践 健康相談に実践 健康診査の実践等
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・実習先の地域診断は実習前からグループで取り組む。 ・実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	公衆衛生学、疫学・保健統計、保健福祉行政論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、公衆衛生看護学、データの科学的な見方、公衆衛生看護学実習、公衆衛生看護学実習

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

科目名	教育社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教育社会学の理論および方法、また具体的な研究成果の現状について、受講者によるテキスト概要に関連したトピックの報告と質疑応答により知識の定着をはかる。
 様々な教育活動は社会全体の動きと無関係ではない。本講義では、教育社会学という学問領域の特徴を学ぶことにより、教育と社会の関わりについて考えることのできる素養を養う。受講者が各人の学校体験を無責任に「熱く」語るのではなく、報告の分担を通じて、冷静な事実認識ができるように、社会学的な「目」を培うことを目的とする。

到達目標

D2405

1. 社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる問題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解できる。
2. 学校と地域の連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解できる。
3. 学校の管理下で起きる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取り組みを理解できる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（10％）、宿題、授業外レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						評価割合（％）
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 学校と社会をめぐる様々な状況の変化 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 高学歴社会における教育機会と費用負担 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 子どもの貧困について考える 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 新学習指導要領にみる学校教育の変化 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 国際化と小学校英語必修化について考える 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 諸外国の教育制度（我が国との違い） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 少子高齢社会における学校の変化 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 教育から職業への移行と就職活動 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 少年犯罪といじめ問題について考える 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学校と地域との連携の意義と協働の仕方 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 開かれた学校づくりへの取り組み 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 学校における事件・事故の現状と課題 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) 学校における安全管理と安全教育の取り組み 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 予習：テキストの指定したページを読む（30分） 復習：最終課題を作成する（180分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト 半径5メートルからの教育社会学（片山悠樹ほか編、大月書店） 参考書・参考資料等 ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。</p>	<p>現代社会の教育、教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談・カウンセリング、教育方法・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、学校体験活動、ボランティアと社会</p>

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	教育原理						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	1年	後期			
担当者名	白石 義孝		関連する資格	養護教諭一種免許状			
授業概要 教育の意義と目的を理解し、教育に携わるものとしての基本的な教育学の考え方や態度を身につけるとともに、現代の教育が抱える教育問題について考察し、主体的に問題解決に取り組めるよう深い見識を養う。そのため子どもを見る視点、学力やジェンダーなどの課題、学校の在り方などの多様なトピックを扱う。これらを通して、教育への関心を高め、将来の目指すべき教師像の形成の足掛かりとする。							
到達目標 D1402 1．教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因との相互関係を理解できる。 2．教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関りや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解できる。 3．教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関りを理解できる。			成績評価方法 定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（10％）、宿題、授業外レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション - 子どもの発達と教育の目的 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 教育とは何か 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 学校の歴史 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 古代ギリシアの教育思想 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 近代の教育思想 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 近代教育学の成立～新教育運動 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 日本の教育史 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 教育課程と授業の計画 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 教育課程と授業の実践 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 教育評価 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学校・学級の経営 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 学び続ける教師となるために 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 社会教育と生涯学習 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) 地域社会と学校 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（現代日本の教育課題、レポート作成） 予習：テキストの指定したページを読む（120分） 復習：最終課題を作成する（180分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
テキストの中に出てくる重要事項について事前に調べておく	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト ・教育原理（島田和幸・高宮正貴編著、ミネルヴァ書房） 参考書・参考資料等 ・問いからはじめる教育学（勝野正章・庄井良信著、有斐閣） ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。	現代社会の教育、教職概論、教育課程論、教育相談・カウンセリング、教育方法・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、教育社会学、学校体験活動、ボランティアと社会

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	教職概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	前期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

社会情勢の変化もあって、現代の学校教育においては教職の役割の多様性、重要性の高まりが著しい。そうした中での教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について概説し、それらの基本的な理解をすすめる。また、法令等で定められる「教育職員（教員）」の責務を踏まえ、教職に携わる者に相応しい資質や知識・技能の獲得を図り、教職に携わる者としてふさわしい教育観を有し、力量の形成を行うことができるようになる。そのうえで、教職という職業について、自分の適性、能力等について考え、進路選択について考える。

到達目標

" 教育職に就くにあたって必要となる基本的な内容を理解する。
 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。
 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解し、適切な子ども観、教育観を持つ。
 学校内外での連携・協働をすることで現代の学校を取り巻く状況に対応することの重要性を理解する。
 教職に関して得た技能や知識を活用して、教育に関して考えることができる。 "

成績評価方法

提出物、受講態度、試験等を総合して評価する。
 試験60%、提出物20%、ワーク20%を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：受講に際しての留意事項 / 本講義の目指すところ	
2) 学校教育の位置づけ：公教育としての学校教育	適宜、対話形式ですすめる
3) 職業としての教員：仕事をするということ / 教員の職業的特性	適宜、対話形式ですすめる
4) 教員を取り巻く制度（１）：学校教育の法制度上の位置と教員	適宜、対話形式ですすめる
5) 教員を取り巻く制度（２）：教員に関する法制度	適宜、対話形式ですすめる
6) 教員の職務と服務（１）：教員としての職務の概要 / 服務上・身分上の義務及び身分保障	適宜、対話形式ですすめる
7) 教員の職務と服務（２）：児童・生徒の指導・支援 / 学校組織と職務 / 校務分掌	適宜、対話形式ですすめる
8) 教員としての職能向上：研修の位置づけ・重要性 / 職務階梯と職能	適宜、対話形式ですすめる
9) 子ども理解や教育相談における連携・協働：教員間SCやSSW等の専門家との連携	適宜、対話形式ですすめる
10) 児童生徒の健康・安全への対応：学校運営協議会（コミュニティスクール）やNPO、地域組織等との連携	適宜、対話形式ですすめる
11) 学校現場における養護教諭の職務・役割：ラウンドテーブル 現職養護教諭に聞く	適宜、対話形式ですすめる
12) 教職観と教員の力量（１）：教師文化と倫理 / 使命感・責任感、教育的愛情 / 社会性や対人関係能力 / 生徒理解や学級経営	適宜、対話形式ですすめる
13) 教職観と教員の力量（２）：授業を創る力量 / 教科の理解 / 保健授業案	適宜、対話形式ですすめる
14) 学校教育の現状と教職：学校評価・教員評価の現状 / 教員研修 / 教育改革	適宜、対話形式ですすめる
15) まとめ～教職への道、教職としての道：求められる教員像 / 教員採用と教職としての人生	適宜、対話形式ですすめる
授業外学習	
<p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。（20時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育職の在り方について考えたり、他者と論じたりする時間を持つこと（10時間） ・教職や学校をめぐる最新の法制度について、関係省庁のウェブサイト等で確認しておくこと（15時間） ・適宜、「学習指導要領」、「教育小六法」等の参考図書において、講義と関連する事項について確認すること（15時間） 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>「テキスト 「現代の教師論」ミネルヴァ書房（予定） 参考資料 講義中で配布する資料のほか、適宜紹介する。」</p>	<p>教職科目 養護教諭専門科目 教職実践演習</p>

課題に対するフィードバック

課題を出した場合、ピックアップして講義中にコメントする。

備考

外部講師による講義や現場観察等を行う場合もあります。

科目名	子どもの発達と学習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	2年	前期			
担当者名	三島 瑞穂		関連する資格				
授業概要 保健師や養護教諭，教師が児童期・思春期の子どもと関わる際に必要な知識の習得を目的とする。幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程と学習の過程を、学習心理学や教育心理学の知見を取り入れながら学ぶ。現場で学習の援助や発達の理解をその発達の背景や環境を踏まえて対処する力を身につける。発達障害、学習障害へ支援の工夫を考えることができるよう、その特徴と対処について学ぶ。							
到達目標 ナンバリング(D2406) 1. 幼児児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。 2. 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。 3. 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 4. 主体的学習を支える動機づけ・集団作り・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連づけて理解している。 5. 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。 6. 加えて発達障害、学習障害の幼児、及び生徒の発達の特徴を理解し、学校における支援の在り方を考えることができる。			成績評価方法 毎回の授業の最後に提出するレポート（100％） 。1回目は授業に対する意欲、2回目～15回目は授業内容の理解と自分なりの考察が求められる。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							15
プレゼンテーション							15
グループワーク							15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 発達メカニズムの理解 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
2) 知性と認知の発達、知能の発達 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
3) 社会性の発達 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
4) 児童期の発達 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	映像を用いた学習
5) 思春期・青年期の発達 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
6) 認知と学習 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
7) 学習の理論 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
8) 教育における学習理論の応用 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
9) 動機づけ 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
10) 教育評価 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
11) 学校現場で学習障害を背景とした学習の困難さの理解と教育支援 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
12) 学校現場で発達障害（自閉症スペクトラム）を背景とした学習の困難さの理解と教育支援 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
13) 学校現場で発達障害（ADHD）を背景とした学習に対する理解と教育支援 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
14) 学校の集団生活が子どもの心的発達に与える影響 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
15) 教員との関わりが子どもの心的発達に与える影響 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（30分）	小レポートの作成
授業外学習	
小児看護学、障害発達心理学等、他の科目との関連を検討しておく。子どもを対象にしたボランティア活動等、子どもと積極的に触れ、子どもと学習支援への関心を高めておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書・参考資料の内容を元に、独自のテキストを作成する。 発達と学習（Next教科書シリーズ）内藤 佳津雄（編集）、北村世都（編集）、市川 優一郎（編集） 弘文堂 発達と学習（教職教養講座）子安 増生（著）、明和 政子（著）、稲垣恭子（監修）、高見茂・田中耕治 協同出版	生涯発達心理学 小児看護学

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週、授業の中でコメントをする。授業外レポートについては、最後の授業で資料配布とコメントを行う。

備考

科目名	特別支援教育論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	2年	後期			
担当者名	脇 貴典		関連する資格	養護教諭一種免許状			
授業概要 通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が学校生活に適應して参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。							
実務経験 東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー 埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員 所沢市教育委員会 就学支援相談員 埼玉県戸田市教育委員会 スーパーバイザー							
到達目標 ナンバリング(D1404) 1. 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解できる。 2. 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解できる。 3. 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解できる。			成績評価方法 小テスト、授業内レポート(20%)、定期試験(60%)、授業態度・授業参加度(10%)、グループワーク(10%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 【予習】「特別支援教育」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 特別支援教育の制度の理念や仕組み（インクルーシブ教育システムを含む） 【予習】「特別支援教育の理念や仕組み」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 特別支援教育と学校づくり（体制整備と地域資源） 【予習】「特別支援教育の体制整備」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
4) 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性、学習の過程【予習】「特別な支援」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) ASDの理解と指導・支援 【予習】「ASD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) ADHDの理解と指導・支援 【予習】「ADHD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) LDの理解と指導・支援 【予習】「LD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) 知的障害の理解と指導・支援 【予習】「知的障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) 視覚障害・聴覚障害の理解と指導・支援 【予習】「視覚・聴覚障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
10) 肢体不自由・病弱・身体虚弱・重複障害の理解と指導・支援 【予習】「肢体不自由等」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 個別の指導計画と教育支援計画 指導・支援計画作成の意義と方法 【予習】「個別の指導計画」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 個別の指導計画と教育支援計画 作成・活用の実際と配慮 【予習】「支援計画の活用」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
13) 「通級による指導」及び「自立活動」の内容 【予習】「通級による指導等」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
14) 特別な教育的ニーズに対する保護者・家庭との連携 【予習】「保護者のニーズ」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： 必要に応じて資料を配布する 参考書・参考資料等 柘植雅義 はじめての特別支援教育 有斐閣アルマ 2014年 特別支援学校学習指導要領（最新版）小学校学習指導要領（最新版） 中学校学習指導要領（最新版）	

課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

科目名	教育課程論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	後期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解する。また、各学校や地域の実情に合わせて教育課程の編成を含むカリキュラム・マネジメントを行うことの意義・方法について学習する。

到達目標

" 学習指導要領を中心として、学校教育の動向を理解し、教育課程の位置づけ、役割、編成の意義について理解する。
 教育課程の編成方針を理解し、現代の教育課題に対応した教育課程の編成の実際についての知見を得る。
 カリキュラム・マネジメントの重要性・意義を理解し、教育課程の設計・改善ができる。 "

成績評価方法

試験70%、提出課題等20%、授業内ワーク等10%

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							60	
小テスト、授業内レポート							10	
宿題、授業外レポート							10	
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク							20	
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション??授業の概要・受講に際する留意事項、教育課程を学ぶ意義	
2) 学習指導要領の性格と教育課程の位置づけ	適宜、対話形式ですすめる
3) 教育課程の意義と社会・生活	適宜、対話形式ですすめる
4) 教育課程の編成原理	適宜、対話形式ですすめる
5) 教育内容の選択と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
6) 教育課程と教育環境	適宜、対話形式ですすめる
7) カリキュラム・マネジメント	適宜、対話形式ですすめる
8) 教育課程と評価	適宜、対話形式ですすめる
9) 各学校種の教育課程	適宜、対話形式ですすめる
10) 効果的な教育活動と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
11) 地域や学校の特性と教育課程の実際	適宜、対話形式ですすめる
12) 教育課程の歴史	適宜、対話形式ですすめる
13) 学習指導要領の変遷	適宜、対話形式ですすめる
14) 教育課程改革の動向	適宜、対話形式ですすめる
15) まとめ これからの教育と教育課程	適宜、対話形式ですすめる
授業外学習	
<p>【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。（20時間）</p> <p>【その他】最新の教育制度および施策について、関係省庁のウェブサイト等で確認しておくこと（10時間）</p> <p>学習指導要領及びその解説の類、「教育小六法」等の参考図書において、講義と関連する事項について確認すること（10時間）</p> <p>教育課程の編成について実際に試作したり、他者と論じたりする時間を持つこと（10時間）"</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p><テキスト>「基礎からわかる教育課程論」大学図書出版（予定）</p> <p><参考書>文部科学省「幼稚園教育要領解説（最新版）」「小学校学習指導要領解説（最新版）」「中学校学習指導要領解説（最新版）」「高等学校学習指導要領解説（最新版）」</p> <p>その他 適宜、講義中において紹介する。"</p>	教育方法の研究

課題に対するフィードバック

課題を出した場合、ピックアップして講義中にコメントする。

備考

科目名	特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	吉岡 一志	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

自身の過去の経験を踏まえながら、特別活動と総合的な学習の時間、また道徳教育の意義と内容及びこれらと教科等との関連を理論的に理解し、そのうえで実践に向けた方法的視点を深める。特別活動、総合的な学習の時間、道徳教育を教科との関連を踏まえながら、統合的に理解していくことを目指す。

到達目標

ナンバリング(D2401)

特別活動と総合的な学習の時間の意義と内容及びこれらと教科等との関連を理論的に理解するとともに、実践化のための方法的視点や具体的手立てを深める。合わせて、道徳教育について概観し、現代の子どもをめぐる諸課題との関係性について理解する。

成績評価方法

授業態度、レポート、プレゼンテーション等の成績を総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							40
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 ガイダンス、特活の概説 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
2) 現代社会の今日的課題と特別活動（道徳及び総合的な学習を含む） 現代社会の課題から特活の意義を考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
3) 特別活動の内容と方法 学習指導要領から特活の内容と方法を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
4) いじめから考える現代の子どもたち いじめを事例に子ども集団の課題について考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
5) 小括（現代の子どもに求められる力、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
6) 道徳教育の歴史と現在 道徳教育の歴史を振り返り、道徳教育の意義を考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
7) 総合的な学習の時間の意義と原理 学習指導要領から総合学習の意義と原理を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
8) 主体的な学びの意義とその実践 映画を見ながら、主体性に関する理論を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
9) 自己と他者の理解を通じた将来設計 個性形成の理論を踏まえたキャリア教育の方法を検討する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
10) 小括（考えることの意味、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
11) 特別活動（道徳及び総合的な学習を含む）における子どもと教師の関係性 教師が登場する漫画を分析し、あるべき教師像を模索する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
12) 子どもの心と学校生活 漫画題材として、子どもの心に向き合う教師像を模索する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
13) 総合的な学習の時間の事例と学習指導計画の作成（ワーク） 学習指導要領から教育目標を定めて、指導案を作成する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク
14) 学習指導計画の発表（プレゼンテーション） 学習の成果を発表し、評価する視点を養う 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	グループワーク プレゼンテーション
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)	レポート作成
授業外学習	
特別活動に関する様々な理論を講義中に紹介する予定です。難解な理論も多いので、必ず復習すること。また、適宜参考文献を紹介するので、興味がある理論については文献を読むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：小学校学習指導要領（最新版）、中学校学習指導要領（最新版） 参考書・参考資料等 小学校学習指導要領解説・特別活動編（最新版）、中学校学習指導要領解説・特別活動編（最新版） 必要に応じて資料を配布予定	

課題に対するフィードバック

授業内に個別にコメントを行う。

備考

科目名	教育方法・技術論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

子どもや学校を取巻く環境の大きな変化にともない、学校教育の内容・方法も問われている。これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付けるために、学校教育における教える・学ぶ活動を中心に据え、そこで展開されるさまざまな形態や方法・技術・手法について事例紹介とワークを踏まえて学んでいく。さらに、今日における教育目的・内容と教育方法を考察し、アクティブラーニング、学習環境のデザイン、ICTの活用、教育の質的評価などといった小中学校から大学まで、今日の教育者に必要とされる最新の教育技術を理解する。

到達目標

D2402

1. これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解できる。
2. 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けることができる。
3. 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付けることができる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（10％）、宿題、授業外レポート（30％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							40
小テスト、授業内レポート							10
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：これからの子どもたちに育みたい資質・能力 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 教師に求められる授業力とは 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 授業をつくるということ 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 評価をデザインする 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 学習環境をデザインする 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 授業を支える指導技術（教師編） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 学びを引き出す指導技術（児童・生徒編） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 学習目標の設定 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 深い学びを導く教材研究 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 主体的・対話的な学習過程 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学びが見える評価方法 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 授業の魅力・効果・効率を高めるICT 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 情報活用能力を育てる 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) これからの学習環境とテクノロジーの役割 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（模擬授業・研究授業の実施と改善、レポート作成） 予習：テキストの指定したページを読む（30分） 復習：最終課題を作成する（180分）	グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習	
発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト： ・稲垣忠 編著『教育の方法と技術』北大路書房、2019年 参考書・参考資料等 ・稲垣忠ほか著『授業設計マニュアルVer.2』北大路書房 ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。	現代社会の教育、教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談 ・カウンセリング、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む） ・特別支援教育論、生徒指導論、教育社会学、学校体験活動 ・ボランティアと社会

課題に対するフィードバック

プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。

備考

科目名	生徒指導論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	2年	前期			
担当者名	脇 貴典		関連する資格	養護教諭一種免許状			
授業概要 学校においていじめ、不登校など多くの問題が起こっており、学校教育において生徒指導の果たす役割の重要性が増している。生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。生徒指導の意義、原理、方法についての理解を深め、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることを目的とする。							
実務経験 東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー 埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員 所沢市教育委員会 就学支援相談員 埼玉県戸田市教育委員会 スーパーバイザー							
到達目標 ナンバリング(D2403) 生徒指導の意義や原理を理解する。 すべての児童生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解する。 児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。			成績評価方法 小テスト、授業内レポート(20%)、定期試験(60%)、授業態度・授業参加度(10%)、グループワーク(10%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 生徒指導とは 【予習】「生徒指導」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 生徒指導の原理・基本的な考え方 【予習】「生徒指導の原理」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 児童生徒の問題行動の理解 【予習】生徒指導の対象となる「問題行動」について調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
4) 児童生徒の問題行動への対応 【予習】生徒指導の対象となる「問題行動」について調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) 児童生徒理解の考え方と生徒指導の方法 【予習】問題行動を示す児童生徒の背景について調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) 「いじめ」問題の理解 【予習】「いじめ」の問題について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) 「いじめ」問題への取り組み 【予習】「いじめ」の問題について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) 「いじめ」への対応 【予習】「いじめ」の問題について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) 児童生徒の示す様々な問題行動の理解と対応 【予習】生徒指導の対象となる「問題行動」について調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
10) 「不登校」問題の理解 【予習】「不登校」の問題について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 「不登校」問題への取り組み 【予習】「不登校」の問題について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 「不登校」への対応 【予習】「不登校」の問題について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
13) 生徒指導体制の確立と運営 Positive Behavior Supportの紹介 【予習】学校の生徒指導体制について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
14) 生徒指導体制の確立と運営 校内連携による支援の実際 【予習】学校の生徒指導体制について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
15) 総括 【復習】これまでの授業内容についてまとめ統括する（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト 必要に応じて資料を配布する。 参考書・参考資料等 石黒康夫・三田地真実 参画型マネジメントで生徒指導が変わる 図書文化 2015年 文部科学省 生徒指導提要 2010年	

課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

科目名	教育相談・カウンセリング						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	自由	2	1年	後期			
担当者名	脇 貴典		関連する資格	養護教諭一種免許状			
授業概要 教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。 幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせで学習する。							
実務経験 東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー 埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員 所沢市教育委員会 就学支援相談員 埼玉県戸田市教育委員会 スーパーバイザー							
到達目標 ナンバリング(D1405) 学校における教育相談の意義と理論を理解し説明できる。 教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解し説明できる。 教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解し説明できる。 専門職としてかかわる中で必要なコミュニケーション技術とカウンセリングの基本がわかる。			成績評価方法 小テスト、授業内レポート（20%）、定期試験（60%）、授業態度・授業参加度（10%）、グループワーク（10%）				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							60
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方・教育相談とは 【予習】「教育相談」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2) 教育相談の基本的な考え方とその意義 【予習】「教育相談」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3) 教育相談に関わる基礎的な理論とカウンセリングマインド 【予習】「教育相談とカウンセリング」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
4) 児童生徒への支援 アセスメント 【予習】「アセスメント」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5) 児童生徒への支援 ケースフォーミュレーション 【予習】「ケースフォーミュレーション」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6) 児童生徒への支援 心理教育プログラム 【予習】「心理教育プログラム」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 受容・傾聴 【予習】「スクールカウンセリング」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 共感的理解 【予習】「スクールカウンセリング」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 問題解決 【予習】「スクールカウンセリング」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
10) スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 動機づけ面接 【予習】「スクールカウンセリング」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11) 校内連携による教育相談的対応（学校コンサルテーション） 【予習】「コンサルテーション」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12) 教育相談システムの構築と組織的取り組み 【予習】学校内の支援システムについて参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
13) 児童生徒の諸問題への対応（危機介入） 【予習】「学校危機介入」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
14) 地域における専門家との連携による相談体制と教師のメンタルヘルス 【予習】地域の支援機関についてネット等を用いて調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
15) 統括（学校における教育相談活動の在り方） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめ総括する（90分）	授業内レポート
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト 大石幸二 監修 先生のための保護者相談ハンドブック 学苑社 2020年 参考書・参考資料等 岩壁 茂 編集 カウンセリングテクニック入門 金剛出版 2015年	

課題に対するフィードバック

授業内レポートはコメントをつけて返す。

備考

科目名	健康相談活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

学校教育の現場で児童・生徒の抱えるストレスや悩み等から起こる心身の健康問題、不登校等の現状について理解し、その対応について理論と事例検討を通して学ぶ。
 新開奏恵が、養護教諭の実務経験をもとに、健康相談活動について授業を行う。
 佐伯里英子が、養護教諭の実務経験をもとに、健康相談活動について授業を行う。

到達目標

D2407

1. 養護教諭が行う健康相談の意義について理解する。
2. 健康相談の理論を学び、方法について考える。

成績評価方法

授業態度 (15%)
 グループワーク (15%)
 演習 (15%)
 レポート (30%)
 定期試験 (25%)

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	5	15		5			25
小テスト、授業内レポート		10	5				15
宿題、授業外レポート		10	5				15
授業態度・授業参加度			10		5		15
プレゼンテーション							0
グループワーク			5	5	5		15
演習		5	5	5			15
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 健康相談の目的と意義(新開奏恵) 【予習】配布した文献を読んでおくこと(15分) 【復習】健康相談の目的についてまとめておくこと(10分)	グループワーク
2) 社会の変化と子どもの健康問題の変遷(新開奏恵) 【予習】子どものヘルスニーズについて文献を読んでおくこと(15分) 【復習】子どもの健康課題について整理しておくこと(10分)	グループワーク
3) 心身の健康問題における発達段階別の特徴(新開奏恵) 【予習】健康相談の実践事例を読んでおくこと(15分) 【復習】実践記録を読み養護教諭の対応をまとめておくこと(60分)	グループワーク 演習
4) 頭痛・腹痛に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】頭痛・腹痛のアセスメントについて確認しておくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク 演習
5) 体調不良による頻回来室に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
6) 喘息に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】喘息の症状やアセスメントについて確認しておくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
7) けがやスポーツ障害に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】スポーツ障害について確認しておくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
8) 保健室登校に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読み養護教諭の対応をまとめておくこと(60分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
9) 友だち関係のトラブルやいじめに対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
10) 障がいをもつ子どもに対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
11) アレルギーや慢性疾患に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
12) いじめ・虐待に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
13) 摂食障害や自傷行為に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
14) 性の問題に対する健康相談(外部講師) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	グループワーク
15) 履修カルテへの記録・授業の振り返り(新開奏恵) 【予習】健康相談活動での配布資料を整理しておくこと(15分) 【復習】健康相談における養護教諭の役割について整理しておくこと(15分)	
授業外学習	
<p>授業外学習は、予習として授業で使用する資料を読み、内容を理解する。 復習では、配布資料を整理し健康相談活動における養護教諭の役割について振り返りをする。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>参考書: 文部科学省 「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引き」 教材: 本の泉社 機関誌「保健室」</p>	<p>学校保健、養護概論、精神保健、小児看護学、教職科目</p>

課題に対するフィードバック

毎回の授業の気づきについては、一人ひとりコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生の気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	学校保健			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

学校教育における学校保健の目的、意義、実際の活動について学習し、学校保健安全法等に定められる学校保健管理及び学校環境衛生の概略を理解する。児童・生徒及び教職員の健康と安全の保持増進を図るため、また、児童・生徒の健康に生きる力を育むための保健管理、保健教育、保健実践活動の進め方や実際について、主としてグループワークを通して学ぶ。養護教諭の実務経験をもとに、学校保健について授業を行う。

到達目標

D2404

1. 学校教育における学校保健の概略を理解する。
2. 学校保健活動を実践していくうえで必要な各論的知識を身につける。

成績評価方法

- 定期試験(30%)
- レポート(20%)
- 授業態度(10%)
- プレゼンテーション(20%)
- グループワーク(20%)

評価項目	評価基準						評価割合(%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	20	10					30
小テスト、授業内レポート	10						10
宿題、授業外レポート		10					10
授業態度・授業参加度			10				10
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク	10		10				20
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 学校保健の活動(事項・内容・方法等) 【予習】学校体験活動の資料を読んでおくこと(15分) 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理すること(15分)	グループワーク
2) わが国の学校保健制度 【予習】学校保健制度・学校看護婦制度について調べておくこと(15分) 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理すること(15分)	グループワーク
3) 学校保健安全法 【予習】学校保健安全法について調べておくこと(30分) 【復習】学校保健安全法の確認問題を復習すること(15分)	
4) 児童生徒に多い疾病異常、事故傷害、体力の実態 【予習】学校保健統計資料を読んでおくこと(15分) 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理すること(15分)	グループワーク
5) 児童生徒の心身の健康状態の把握と対応 【予習】学校保健統計資料を読んでおくこと(15分) 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理すること(15分)	グループワーク
6) 学校環境・安全管理の内容と方法 【予習】学校環境衛生に関する資料を読んでおくこと(10分) 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理すること(15分)	グループワーク
7) 学校における危機管理 【予習】学校での事件や事故に関する記事を準備すること(15分) 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理すること(15分)	グループワーク
8) 子どもの健康、発達の現状に対する学校保健における取組(組織活動) 【予習】実践記録資料を読んでおくこと(15分) 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理すること(15分)	グループワーク
9) 学習指導要領に基づく保健教育 【予習】小学校、中学校、高等学校の保健体育の教科書を読んでおくこと(15分) 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理すること(15分)	グループワーク
10) 養護教諭の専門性を生かした保健教育 【予習】「養護実習の学び2019」を読んでおくこと(15分) 【復習】指導案を完成させること(30分)	グループワーク
11) 養護教諭の専門性を生かした保健教育 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておくこと(15分) 【復習】指導案を修正すること(30分)	ディスカッション
12) 模擬授業の実施と評価 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておくこと(15分) 【復習】指導内容を修正すること(30分)	プレゼンテーション
13) 模擬授業の実施と評価 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておくこと(15分) 【復習】指導案を修正すること(30分)	プレゼンテーション
14) 学校保健組織活動・異業種連携教育 【予習】ほけんだよりを準備しておくこと(30分) 【復習】ほけんだよりを作成すること(30分)	グループワーク
15) 履修カルテへの記録・授業の振り返り 【予習】学校保健での配布資料を整理しておくこと(15分) 【復習】確認問題について復習し定着させること(20分)	ディスカッション
授業外学習	
授業外学習は、予習として学校保健に関する法令や学校保健活動について資料を読みワークシートに整理しておく。復習では、配布資料を整理し学習の振り返りを行うこと。また、法令等は確認問題で定着させる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書:新訂版「学校保健実務必携」 プリント資料	小児看護学、養護概論、養護実習指導、教職実践演習

課題に対するフィードバック

確認問題については、授業で解答とポイントの解説をする。
毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人ひとりにコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	養護概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

児童・生徒の心身の健康を保持・増進させるために求められる、養護教諭の専門性と役割及び保健室の機能について学ぶ。また、学校保健活動においては、学校内外の関係者や関係機関との連携、ネットワークづくりが重要であり、関係職員、関係機関の特性と役割について正しく理解し、養護教諭の専門性について深く考える。さらに養護教諭の職務内容を学び、資質・能力を向上させるために必要な知識や理論、実践的な力量の内容について明らかにする。
養護教諭の実務経験をもとに養護概論について授業を行う。

到達目標

D2408

1. 養護教諭の職務内容と専門性を理解する。
2. 実際の養護活動場面を想定した指導計画を立てることができる。

成績評価方法

- 授業態度(20%)
- レポート(20%)
- プレゼンテーション(20%)
- グループワーク(20%)
- 定期試験(20%)

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)	15	5					20
小テスト、授業内レポート		10					10
宿題、授業外レポート		10					10
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10		10		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) オリエンテーション 「養護教諭とは」 【予習】学校保健における養護教諭の職務についての資料を読んでおくこと(15分) 【復習】「養護教諭観」をまとめておくこと(15分)	グループワーク
2) オリエンテーション 「養護教諭観」 【予習】「養護教諭観」の発表練習をしておくこと(15分) 【復習】教員として求められる資質についてまとめておくこと(15分)	プレゼンテーション
3) 養護教諭の歴史と役割・現在の養護教諭の職務 【予習】「養護教諭観」の発表練習をしておくこと(15分) 【復習】教員として求められる資質についてまとめておくこと(15分)	
4) けがのアセスメントや救急処置 【予習】学校で起こるけがの処置方法について調べておくこと(15分) 【復習】救急処置方法について整理しておくこと(15分)	グループワーク
5) 健康診断 【予習】法的根拠、目的、内容について調べておくこと(15分) 【復習】健康診断計画をグループで完成させること(20分)	グループワーク
6) 保健室実践(外部講師) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】子どもの健康課題解決のための取組についてレポートを書くこと(60分)	
7) 健康診断 【予習】測定や検査方法について調べておくこと(15分) 【復習】健康診断実施の際の留意点について確認しておくこと(15分)	グループワーク 健康診断実施計画作成
8) 学校環境衛生活動 【予習】法的根拠、目的、内容、方法等を調べておくこと(20分) 【復習】環境衛生活動における留意点について確認しておくこと(15分)	グループワーク プレゼンテーション
9) 保健室経営や保健計画立案 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】保健室経営案をグループで完成させること(20分)	グループワーク 保健室経営案作成
10) 感染症の予防 【予習】児童生徒が罹患しやすい病気を調べておくこと(20分) 【復習】感染症対策についてまとめておくこと(15分)	グループワーク
11) 保健教育 【予習】保健教育の題材を調べておくこと(20分) 【復習】養護教諭の行う保健教育の意義をまとめておくこと(15分)	グループワーク 保健指導案作成(冬休み課題)
12) 保健教育 【予習】保健教育で行いたいテーマを決め、教材を準備しておくこと(30分) 【復習】指導案を修正しておくこと(15分)	プレゼンテーション 指導案説明
13) 保健教育 【予習】模擬授業の練習をしておくこと(30分) 【復習】指導案を修正しておくこと(15分)	プレゼンテーション 模擬授業
14) 保健室実践(外部講師) 【予習】実践記録を読んでおくこと(15分) 【復習】子どもの健康課題解決のための取組についてレポートを書くこと(60分)	
15) 履修カルテへの記録・授業の振り返り 【予習】養護概論での配布資料を整理しておくこと(15分) 【復習】確認問題について復習し、定着させておくこと(15分)	
授業外学習	
授業外学習は、予習として授業内容に関する法令や内容について実務必携を参考に調べておくこと(事前ワークシート)復習では、配布資料を整理し授業内容の振り返りを行うこと。また、法令等は確認問題で定着させること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
参考書:「学校保健実務必携」 教材:中村富美子編著「養護教諭のスキルラダー」	小児看護学 教職科目

課題に対するフィードバック

確認問題については、授業で解答とポイントの解説をする。
毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人ひとりにコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	養護実習指導						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講・演	選択	1	3年	前期			
担当者名	新開 奏恵		関連する資格	養護教諭一種免許状			
授業概要 養護実習の目的、意義の理解を深めるとともに、実習に必要な知識、技術について、総合的に学び、充実した実習になるよう準備をする。また、児童・生徒の健康問題について考え、そこから課題を明らかにし、課題解決に向けてどのように取り組むか、学校現場の実践から学ぶとともに、授業づくり、模擬授業を行う。 新開奏恵が、養護教諭の実務経験をもとに、養護実習指導を行う。 佐伯里英子が、養護教諭の実務経験をもとに、養護実習指導を行う。							
到達目標 D3401 1. 養護実習の目的や意義を理解し、実習に必要な技術を習得する。 2. 実習目標、実習計画を立てることができる。 3. 演習や模擬授業を通して、相互に学び合うことができる。			成績評価方法 小テスト・レポート(30%) 授業態度(20%) プレゼンテーション(20%) グループワーク・演習(30%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート	10	10					20
宿題、授業外レポート		10					10
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			5		5		10
演習		10		10			20
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 養護実習の目的・意義(佐伯里英子) 【予習】保健指導の資料を準備しておくこと(60分) 【復習】実習のガイドブックを読んでおくこと(30分)	グループワーク
2) 保健室における養護教諭の執務(新開奏恵) 【予習】実習調査書の下書きをしておくこと(30分) 【復習】実習のガイドブックを読んでおくこと(30分)	グループワーク
3) 保健室における養護教諭の執務(新開奏恵) 【予習】実習調査書の清書をしておくこと(30分) 【復習】実習のガイドブックを読んでおくこと(30分)	グループワーク
4) 外科的な救急処置(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておくこと(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行っておくこと(30分)	演習
5) 内科的な救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておくこと(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行っておくこと(30分)	演習
6) 緊急性の高い救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておくこと(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行っておくこと(30分)	演習
7) 健康診断(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておくこと(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行っておくこと(30分)	演習
8) 環境衛生検査(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておくこと(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行っておくこと(30分)	演習
9) 保健教育(新開奏恵) 【予習】養護概論で作成した保健指導の修正をしておくこと(30分) 【復習】指導の流れを覚えておくこと(30分)	グループワーク
10) 保健教育(佐伯里英子) 【予習】模擬授業の練習をしておくこと(30分) 【復習】他者評価を参考に指導案や教材を改善しておくこと(30分)	プレゼンテーション
11) 保健教育(新開奏恵) 【予習】9月に配布するほけんだよりの資料を準備しておくこと(30分) 【復習】ほけんだよりを完成させておくこと(30分)	プレゼンテーション
12) 統計処理(新開奏恵) 【予習】実習校との連絡調整についてガイドブックを読んでおくこと(30分) 【復習】法令に関する小テストの学習をしておくこと(30分)	演習
13) 保健室経営(佐伯里英子) 【予習】法令に関する小テストの学習をしておくこと(30分) 【復習】授業に関する疑問点を整理しておくこと(30分)	グループワーク 演習
14) 保健室経営(新開奏恵) 【予習】法令に関する小テストの学習をしておくこと(30分) 【復習】授業に関する疑問点を整理しておくこと(30分)	グループワーク
15) 実習の振り返り(新開奏恵) 【予習】実習日誌や資料を整理しておくこと(30分) 【復習】他の学生の発表を聞いて学んだ内容をまとめておくこと(30分)	プレゼンテーション
授業外学習	
<p>授業外学習は、予習として養護概論で学んだ養護教諭の執務内容を確認する。 復習では、演習を振り返り、養護実習で正確に実践できるように練習する。指導案や教材を作成する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト: 本学作成「実習のガイドブック」 「養護実習の学び2019」報告集 参考書: 第一法規 「学校保健実務必携」 山口県養護教諭会「養護教諭の職務ハンドブック2010」</p>	<p>養護実習、小児看護学 教職科目</p>

課題に対するフィードバック

毎回の授業の自己評価については、一人ひとりコメントをつけて次の授業時に返却する。

備考

科目名	養護実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	4	3年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

小・中・高のいずれかの学校において、養護教諭の指導のもとに、実際に学校での児童・生徒の健康管理や保健指導を行い、養護教諭としての実践力を養う。具体的には、児童・生徒の理解を深めるとともに、保健室の実習を中心として、学級運営や学習指導の観察・参加、保健指導等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ応用できる能力を習得する。養護教諭の実務経験をもとに、養護実習を行う。

到達目標

D3402

1. 児童・生徒の学校生活の実態や心身の健康問題・発達課題を理解する。
2. 場面に応じて適切な判断・処置・指導を行うことができる。

成績評価方法

- 実習評価表(50%)
実習日誌・レポート(50%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>実習校で作成した「実習計画」にしたがって実施すること 予習として、指導案及び教材を作成すること 復習として、実習記録や資料の整理を行い、実習の振り返りを作成すること</p>	<p>実習</p>
授業外学習	
<p>実習校で作成された実習計画を確認する。保健指導や保健だより作成の準備をしておく。特に 指導案作成や教材づくりについて、事前に準備をしておく。学校保健安全法に基づく養護教諭の職務内容について確認する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>テキスト: 本学作成「実習のガイドブック」 「養護実習の学び2019」 参考書: 第一法規 「学校保健実務必携」 山口県養護教諭会「養護教諭の職務ハンドブック 2010」</p>	<p>養護実習指導、学校保健、養護概論、健康相談活動、小児看護学、教職科目</p>

課題に対するフィードバック

備考

科目名	学校体験活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	1	1年	通年(前期)
担当者名	新開 奏恵、白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教職員の姿から教師としての姿勢や職務を学び、児童・生徒の理解を深める。学級運営や学習指導の観察・参加等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、応用できる能力を養い、教員(養護教諭)としての自覚を高める。
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、学校体験活動について授業を行う。

到達目標

- D1406
 1. 児童・生徒の学校生活の実態に対して、学校運営や教員の資質を理解する。
 2. 教員としての適切な判断・指導についての理解を深める。
 3. 教員を目指す上での自分の課題を知る。

成績評価方法

- レポート(20%)
 授業態度(20%)
 グループワーク(10%)
 プレゼンテーション(20%)
 学校体験活動(30%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10				10
演習							0
実習		10	10	10			30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>事前指導計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員としての資質 2. 養護教諭の仕事 3. 社会人としてのマナー 4. 学校体験の目的 	<p>グループワーク</p>
授業外学習	
<p>「教職を目指す学生の学校体験制度」「山口県教育推進の手引き」を山口県教育委員会ホームページで確認する。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	<p>学校保健、養護概論、健康相談活動、養護実習指導、養護実習、小児看護、教職科目</p>

課題に対するフィードバック

備考

科目名	学校体験活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	1	1年	通年(後期)
担当者名	新開 奏恵、白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教職員の姿から教師としての姿勢や職務を学び、児童・生徒の理解を深める。学級運営や学習指導の観察・参加等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、応用できる能力を養い、教員(養護教諭)としての自覚を高める。
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、学校体験活動について授業を行う。

到達目標

- D1406
 1. 児童・生徒の学校生活の実態に対して、学校運営や教師の資質を理解する。
 2. 教員としての適切な判断・指導についての理解を深める。
 3. 教員をめざすための自分の課題を知る。

成績評価方法

- レポート(20%)
 授業態度(20%)
 グループワーク(10%)
 プレゼンテーション(20%)
 学校体験活動(30%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10				10
演習							0
実習		○	○	○			30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
事後指導 1. 学校体験活動振り返り	プレゼンテーション
授業外学習	
「教員をめざす学生の学校体験制度」「山口県教育推進の手引き」を山口県教育委員会ホームページで確認する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
	学校保健、養護概論、健康相談活動、養護実習指導、養護実習 小児看護学、教職科目

課題に対するフィードバック

備考

科目名	教職実践演習（養護教諭）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講・演	選択	2	4年	後期			
担当者名	新開 奏恵		関連する資格	養護教諭一種免許状			
授業概要 教育実習や学部における教職・教科専門科目についての学びを振り返り、自己の実践的課題を明らかにする。社会が変化の中で多様な健康課題、児童・生徒の心身の発達課題に対応するために、養護教諭の仕事内容や役割等についての実践事例をもとに、グループ討論を通して理解を深める。また、自らの社会人としての自覚、人間関係能力等について深く考え、教職への適性を含め、卒業後のキャリアを考える契機とする。 新開奏恵が、養護教諭の実務経験をもとに、教職実践演習(養護教諭)について授業を行う。 佐伯里英子が、養護教諭の実務経験をもとに、教職実践演習(養護教諭)について授業を行う。							
到達目標 D4401 1.教職課程ならびに学部教育の学びを振り返り、養護教諭の様々な場面での活動について理解を深める。 2.自らの学習活動を振り返り、今後の仕事や生き方にどう活かすか、展望をもつ。			成績評価方法 レポート(40%) 授業態度(20%) プレゼンテーション(10%) グループワーク(20%) 演習(10%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート		10	10				20
授業態度・授業参加度					20		20
プレゼンテーション		10					10
グループワーク		10	10				20
演習				10			10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) オリエンテーション(新開奏恵) 【予習】履修カルテの確認をしておくこと(15分) 【復習】自己評価を行い課題点を明確にしておくこと(15分)	
2) 教職科目や養護実習の評価(新開奏恵) 【予習】教材資料を読んでおくこと(15分) 【復習】養護実習日誌を読んでおくこと(15分)	
3) 養護教諭のスキル(知識・技術)における振り返り(新開奏恵) 【予習】養護実習日誌を読んでおくこと(15分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	グループワーク 演習
4) 救急処置(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
5) 救急処置(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
6) 健康相談(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
7) 生徒指導・特別支援教育・ケースマネジメント(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
8) 疾病予防管理・環境管理(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
9) 安全管理(佐伯里英子) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
10) 健康診断(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
11) 保健教育(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
12) 保健室経営(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
13) 保健組織活動(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておくこと(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理しておくこと(15分)	プレゼンテーション グループワーク
14) 自己研鑽(友定保博) 【予習】学習資料を整理しておくこと(20分) 【復習】今後の自分の課題をまとめておくこと(15分)	
15) 「チーム学校」における養護教諭の専門性と役割(新開奏恵) 【予習】自分の課題に対して課題解決のための取組について考えておくこと(20分) 【復習】履修カルテの自己評価を行っておくこと(15分)	
授業外学習	
<p>授業外学習は、予習として授業に関連する内容を養護実習記録から抽出し、整理する。 復習では、他者の意見や配布資料を参考に、今後の仕事や生き方にどう活かすかをまとめる。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
教材資料；養護教諭のスキルラダー（スキルラダー研究会『健康教室』東山書房 2016年4月～2017年3月 連載） 本学作成「養護実習の学び2019」 実習記録	学校保健、養護概論、健康相談活動

課題に対するフィードバック

毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人ひとりにコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	生物学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	祐村 稔子	関連する資格		

授業概要

高校生物の学習内容から、専門科目の学習に必要な生物学の基礎知識をピックアップし、復習と演習問題で知識の確認と定着をめざします。

到達目標

ナンバリング(B1116)

看護に関連する生物学の基礎学力を身につける。

成績評価方法

期末試験結果に加え、宿題、演習問題の学習状況を加点して総合評価を行います。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 人体のなりたち（細胞・組織） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
2) 人体のしくみ（循環系・呼吸系） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
3) 人体のしくみ（排出系） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
4) 人体のしくみ（消化系と代謝） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
5) 人体のしくみ（感覚器官と神経系） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
6) 人体のしくみ（骨格・筋肉系） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
7) 人体のしくみ（内分泌、免疫） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
8) 遺伝、生化学の基礎 復習】演習問題（30分）	【	演習問題
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
講義で扱った項目に関する演習問題を宿題とします。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
プリント配布	生物学、いのちの科学、人体の構造と機能	

課題に対するフィードバック

演習問題の採点結果を返却

備考

科目名	化学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	山城 安啓	関連する資格		

授業概要

1年生後期に開講される化学や生化学を学ぶ上で必要となる化学の基礎を学ぶ。高校で学んだ化学の知識を定着させる。看護師として、正しい医学・栄養学を知ることには大変重要です。正しい医学・栄養学を学ぶためには、この世に存在する色々な物質の性質の正しい知識、すなわち化学知識を得る必要があります。例えば、アルコールにはエタノール（エチルアルコール）やメタノール（メチルアルコール）などがあります。名称が異なるので、物質が異なることは想像がつくと思います。エタノールはお酒の成分であったり、殺菌消毒薬として使われています。一方、メタノールは、アルコールランプなどの燃料に使われたりしますが、これを飲むと失明したり、死んだりします。この違いは何によるのでしょうか？まずは、原子・元素の構造や機能など、無機化学を中心に化学の基礎を学習します。

到達目標

ナンバリング B1117

化学の基礎知識を習得する

- 1) 元素記号と分子の構造の表し方が説明できる。
- 2) 浸透圧、沸点上昇、凝固点降下等の現象を説明できる。
- 3) 酸・塩基の違いを説明できる。
- 4) 酸化還元を説明できる。
- 5) 様々な濃度の計算法ができる。

成績評価方法

出席回数を満たしていることと期末試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							90
小テスト、授業内レポート							5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 身のまわりの化学 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
2) 原子の構造 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
3) 物質の三態 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
4) 液体・溶液の性質 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
5) 化学反応 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
6) 酸と塩基 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
7) 化学結合 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
8) 総括 【復習】過去の小テストを復習しておいてください(90分)。	
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業計画に沿って、講義を進めて行きます。 授業開始時、毎回小テスト(前回講義内容)を行います。講義資料や参考書等を利用して復習しておいてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
PowerPointで作成した講義資料 参考書 高校の化学の教科書 「系統看護学講座 基礎 化学 医学書院」	化学や生化学

課題に対するフィードバック

各人が授業内課題で作成した問題は、次の週の小テストに活用し、試験後に解説を行う。

備考

科目名	物理学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

後期の「物理学」の授業を理解するために必要な基本的な物理の事柄を学ぶ。
特に、看護の物理で最も必要となる「圧力」を重点的に学ぶ。
グループ討議を設定。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B1117
看護師、保健師で必要となる物理の基本的な事柄がわかる。

成績評価方法

毎回行う小テスト、レポート、グループ討議の態度、定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その1 予習；物理の基礎の資料全体を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	
2) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その2 予習；運動全般を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	
3) 物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その3 と小テスト 予習；運動全般を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	小テスト
4) 熱と気体の運動、比熱計算 予習；熱と気体の運動について調べておく（30分）。復習；熱、比熱などの計算問題を解いてみる（30分）	
5) 圧力 その1 予習；圧力全般について調べておく（30分）。復習；圧力の基本単位を理解する（30分）。	
6) 圧力 その2 予習；動圧、静圧について調べておく（30分）。復習；表面張力と濡れ現象について確認すること（30分）。	
7) 濃度計算と音 予習；濃度と音について調べておくこと（30分）。復習；濃度計算をやってみる（30分）。	
8) 確認テストと解答の解説 予習；物理の基礎資料の全体を読み返して、計算問題が解けるようになっておくこと（1時間）。	確認テスト
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
授業計画に沿って、テキスト・資料の該当単元を熟読してきてください。 テキスト・講義資料を復習して下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
看護に必要な 「やりなおし数学・物理」照林社。 資料はウェブ上よりダウンロードしてください	数学の基礎、物理学、地球の現在・過去・未来

課題に対するフィードバック

小テストを実施する。その結果、問題となったことを次回の講義で詳細に説明する。

備考

科目名	数学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

看護に必要な数学の知識として、基本的な数の概念、計算のルール・式のルールを確認する。また、看護師国家試験に出題されている問題をもとに、解くために必要な基本的な知識を学ぶ。毎回、グループ討議の時間を設定。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B1118
看護の専門科目の理解を容易にし、看護師国家試験に出る数学の問題を解く。

成績評価方法

毎回行うテスト、レポート、グループ討議の態度、定期試験で総合的評価する。

評価項目	評価基準							評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他		
定期試験(中間・期末)							50	
小テスト、授業内レポート							40	
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度							10	
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 基本ルール（範囲、計算順序、倍数、単位数）、小テスト 予習；数学の基礎資料、全般を概する（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	
2) 分数の計算1（分数 少数、通分、約分）、小テスト 予習；分数の計算全般を概観する（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
3) 分数の計算2（分数種類、帯分数、掛け算等）、小テスト 予習；分数の計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
4) 比例（比、比例、比例の性質）、小テスト 予習；比例計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
5) 割合（百分率、歩合、割合、基準にする量）、小テスト 予習；割合の計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
6) 速さ（求め方、単位変換、道のり、時間等）、小テスト 予習；速さの計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
7) 調査（全数・標本調査、母集団、推定等）小テスト 予習；調査全般について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の實力を知る。
8) 看護に必要な計算の確認テスト 予習；看護国家試験の過去問を調べておく（1時間）。復習；テストの内容を完全に理解する（30分）。	確認テストの結果で自分の現在の實力を知る。
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
<p>授業時間内に疑問点を克服できない人は、オフィスアワーに解決する。授業計画に沿って、テキスト・資料の該当単元を熟読してきてください。テキスト・講義資料を復習する。 テスト結果を見て、間違った箇所をの確認する。看護師国家試験の計算問題（過去問）が確実に解けるように自宅でも筆算を中心とした復習をする。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「やりなおし数学・物理」照林社	物理の基礎、物理学、データの科学的な見方、保健統計

課題に対するフィードバック

毎回、実施するテストで問題となった個所を、次回の講義で詳細に説明する。

備考

科目名	英語の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

4 技能の運用に必要な基礎的文法知識を身に着けるための授業を展開する。また、日常生活や地域の問題を取り上げた英文を読み、速読直読の習慣を身に付ける。さらに、パラグラフ・リーディングおよびライティングを行い、英語の文章構成を理解する。

到達目標

B2202

- 1 英語の基礎的文法を理解することが出来る。
- 2 異文化を理解し、英語で簡易なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							50
小テスト、授業内レポート							20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							10
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 英語の文法事項についての概要的説明 文法事項 1 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2) 英語の学習法についての助言 文法事項 2 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3) 英語リーディングについての説明 文法事項 3 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4) 英語ライティングについての説明 文法事項 4 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5) 英語リスニングについての説明 文法事項 5 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6) 英語スピーキングについての説明 文法事項 6 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7) 英語プレゼンテーションについての説明 文法事項 7 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8) 文法事項 8 総括およびテスト テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『English Aid 基礎から学べる大学英文法総合演習』 白倉美里 金星堂	エッセンシャルイングリッシュ

課題に対するフィードバック

課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。

備考

未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	ナーシングスタディ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	4年	後期
担当者名	川崎 幹子、佐藤 美幸、山崎 千鶴 代、梁元 陽子、和氣 さち、伊藤 美穂	関連する資格	看護師 保健師 養護教諭一種	

授業概要

基礎看護学・母性看護学・小児看護学・成人看護学・老年看護学・精神看護学・在宅看護論及び公衆衛生看護学の担当で、4年間の看護学における学びの総まとめを行う。国家試験に向けて、重要な内容を理解し、学生自身が総まとめとしての知識の再確認を行う。

到達目標

No. B4404

1. 4年間で学んだ看護学の知識をまとめることができる。
2. 4年間で学んだ看護学の知識において自身の課題を見つけ、苦手な科目を克服することができる。
3. 卒業後に職業人としての心構えを養う。

成績評価方法

- 宿題、授業外レポート (50%)
授業態度・授業参加度 (50%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○		○	50
授業態度・授業参加度	○		○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) オリエンテーション・学習計画の進捗について(担当:川崎幹子、佐藤美幸) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
2) 人体の構造と機能(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
3) 疾病の成り立ちと回復の促進(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
4) 必修科目(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
5) 基礎看護学(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
6) 成人看護学(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
7) 成人看護学(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
8) 老年看護学(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
9) 在宅看護論(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
10) 精神看護学(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
11) 小児看護学(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
12) 母性看護学(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
13) 公衆衛生看護学(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
14) 国際看護論・災害看護論・看護管理(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
15) まとめ(担当:科目担当教員) 【予習】事前学習(60分) 【復習】授業で行った内容を復習(30分)	確認問題
授業外学習	
事前学習(60分) 授業で行った内容を復習(30分)	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
既習科目すべて 講義中に適宜紹介します。	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

個人面談でフィードバックします。

備考